



HIC-SP200X25 HIC-SP200TX32

取扱説明書

HYTEC INTER Co., Ltd.

第 1.1 版

ご注意

- 本書の中に含まれる情報は、当社（ハイテクインター株式会社）の所有するものであり、当社の同意なしに、全体または一部を複写または転載することは禁止されています。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一、ご不審な点や誤り、記載漏れなどのお気づきの点がありましたらご連絡ください。

改版履歴

第 1 版	2023 年 6 月 5 日	新規作成
第 1.1 版	2023 年 7 月 11 日	OSD 注意事項追記

ご注意

- 本製品及び付属品をご使用の際は、取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本製品及び付属品を分解したり改造したりすることは絶対に行わないでください。
- 本製品及び付属品の故障、誤動作、不具合、あるいは天災、停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品及び付属品は、改良のため予告なしに仕様が変更される可能性があります。あらかじめご了承ください。
- 本製品を掃除する時は、柔らかい乾いた布で汚れをふき取ってください。汚れがひどい場合は、中性洗剤をご使用ください。
- 太陽光などの非常に明るい被写体にカメラを向けるのは避けてください。イメージセンサが損傷する可能性があります。
- 本製品を使用する場合、Microsoft、Apple、Googleの関連コンテンツが含まれます。本ユーザーマニュアルの写真とスクリーンショットは、当社製品の使用方法を説明するためだけに使用しています。Microsoft、Apple、Googleに関連する商標、ロゴおよびその他知的財産の所有権は、上記の企業に帰属するものとします。
- 本ユーザーマニュアルは多くのモデルに対応しています。一部のモデルでは機能がなく、使用できないメニューや表示されないメニューがあります。また、本ユーザーマニュアルで使用されている例と画像はHIC-SP200X25を元に作成しており、ご利用のモデルの画面とは異なる場合があります。

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために

ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。

お読みになった後はいつでも見られる所に保管してください。

尚、本書は HIC-SP200X25 と HIC-SP200TX32 2機種をまとめたマニュアルとなっています。メニュー画面は基本的に HIC-SP200X25 の画面を採用し、ファームウェアバージョンは、5.0.1.0 (44387) で作成しています。HIC-SP200TX32 のファームウェアバージョンは 5.0.1.0 (25263) です。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

お買い上げになった機器に当てはまらない注意事項もありますが、ご了承ください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

使用上の注意



警告



●本機に乗らない！

倒れたり、こわれたりしてけがの原因になることがあります。



●本機の上に重いものを置かない！

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因になることがあります。



●移動させる場合は、必ず電源スイッチを切り、プラグを抜き、機器間の接続ケーブルをはずす！

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



●長期間使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く！

火災の原因となることがあります。



●専用 AC アダプタ以外は使用しない！

定格外の AC アダプタを使用すると、火災・感電の原因になることがあります。

●電源コードを傷つけない！ 加工しない！ 無理に曲げない！ ねじらない！
引っ張らない！ 加熱しない！

コードが破損して火災・感電の原因となります。



●雷が鳴り出したら、同軸コネクタ/ケーブルや電源プラグに触れない！

感電の原因になります。



●指定された消費電力（W）を越える装置は接続しない！

火災の原因となります。本機の AC アウトレットが供給できる電力（W）は AC アウトレット付近または取扱説明書に表示してあります。



●レンズで太陽・照明などをのぞかない！

強い光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。

● **本機のケース・裏パネル等はずさない!**

内部には高圧の部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店または営業マンにご依頼ください。

● **本機の上に水などの入った容器を置かない!**

こぼれて中に入ると、火災・感電の原因になります。

● **風呂、シャワー室などの水場では使用しない!**

火災・感電の原因となります。

● **本機の上に小さな金属物を置かない!**

中に入ると、火災・感電の原因となります。

● **表示された電源電圧以外は使用しない!**

火災・感電の原因となります。

● **本機に水を入れたり、濡らしたりしない!**

火災・感電の原因になります。
雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。

● **本機の開口部から金属物や燃えやすいものなどの異物を差し込まない! 落とし込まない!**

火災・感電の原因となります。

● **本機を改造しない!**

火災・感電の原因となります。

設置について



警告

● **不安定な場所に置かない!**

落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

● **電源コードの上に重いものを置かない! 本機の下敷きにしない!**

コードが傷ついて、火災・感電の原因になります。コードの上を敷物などで覆うと、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。



- **水場に設置しない！**
火災・感電の原因となります。



- **指定された機器以外とは接続しない！**
火災・感電の原因となります。



- **本機の固定は工事専門業者に依頼を！**
本機を固定する場合は、指定された方法できちんと固定しないと、落ちたり、倒れたりして、火災・感電・けがの原因になります。特に、壁や天井に固定する場合は、必ず工事専門業者にご依頼ください。なお、取付け費用については、販売店または営業マンにご相談ください。



- **湿気やほこりの多い場所に置かない！**
火災・感電の原因となることがあります。



- **調理台や加湿器のそばなど油煙や湿気が当たる場所に置かない！**
火災・感電の原因となることがあります。



- **本機の通風孔をふさがない！**
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。
・本機を仰向けや横倒し、逆さまにする。風通しの悪い狭い所に押し込む。
・じゅうたんや布団の上に置く。テーブルやクロスなどを掛ける。



- **電源コードを熱器具に近づけない！**
コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



- **電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない！**
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



- **濡れた手で電源プラグを抜き差ししない！**
感電の原因となることがあります。

異常時の処理について



警告



- 煙が出ている、変なにおいや音をするなどの異常状態の場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

煙が出なくなるのを確認して、販売店または営業マンに修理をご依頼ください。

お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



- 本機の内部に水などが入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

販売店または営業マンにご連絡ください。



- 本機の内部に異物が入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

販売店または営業マンにご連絡ください。



- 本機が故障した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

販売店または営業マンに修理をご依頼ください。



- 本機を落としたり、ケースが破損した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

販売店または営業マンにご連絡ください。



- 電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）場合は、交換を依頼する！

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

販売店または営業マンに交換をご依頼ください。

お手入れについて



注意



●**お手入れの際は安全のため、スイッチを切り電源プラグを抜く！**

感電の原因となることがあります。



●**一年に一度くらいは、販売店または営業マンに内部の掃除の相談を！**

本機の内部にほこりがたまったまま使用し続けると、火災・故障の原因になることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。

なお、掃除費用については販売店または営業マンにご相談ください。



注意

本パッケージに含まれる内容に損傷、不足、不適當なものがあつた場合、お住まいの地域の販売店までご連絡ください。本製品の不正改造を行うと保証の対象外となります。

その他



通知

- 本書に記載された情報は予告なしに変更される場合があります。
- 本書に含まれる情報は、あくまで参考用とみなされます。



通知

- インターネットを経由する機能については、お客様のインターネット環境に合わせた設定が必要です。
- お客様のインターネット環境の変更が必要となる場合もあります。

目次

1. はじめに	13
1.1 製品概要	13
1.2 特徴	13
1.3 監視アプリケーション	14
1.4 梱包物一覧	15
1.5 製品外観	16
1.6 カメラの設置	18
2. ネットワーク接続	19
2.1 LAN	19
2.1.1 IP-Tool によるアクセス	19
2.1.2 IE へ直接アクセス	22
2.2 WAN	23
2.2.1 ルータまたは仮想サーバを介したアクセス	23
2.2.2 静的 IP によるアクセス	24
3. ライブ画面	25
4. 設定ホーム	29
4.1 システム設定	30
4.1.1 基本情報	31
4.1.2 日付と時間	32
4.1.3 ローカル設定	34
4.1.4 ストレージ	35
4.2 画像設定	42
4.2.1 画質調整	43
4.2.2 映像/音声	47
4.2.3 OSD	49
4.2.4 プライバシーマスク (HIC-SP200X25 のみ)	50
4.3 PTZ コントロール	51
4.3.1 PTZ 設定 (工場メンテナンス用)	52
4.3.2 PTZ 設定の復元 (工場メンテナンス用)	53
4.3.3 PTZ 機能	54

4.4	アラーム設定	63
4.4.1	モーション検出	64
4.4.2	異常	70
4.4.3	アラーム入力	74
4.4.4	アラーム接点出力	75
4.4.5	アラームサーバ	78
4.4.6	Smart Tracking	79
4.5	イベント設定	80
4.5.1	妨害検知	81
4.5.2	ラインクロス（ライン越え検知）	83
4.5.3	領域に入る（エリア侵入検知）	87
4.5.4	領域を出る（エリア退出検知）	91
4.5.5	ターゲットカウント（ライン通過カウント）	95
4.5.6	エリア侵入検知（エリア内活動検知）	100
4.5.7	顔の比較	104
4.6	ネットワーク	114
4.6.1	TCP/IP	115
4.6.2	ポート	118
4.6.3	サーバ	119
4.6.4	DDNS	120
4.6.5	SNMP	123
4.6.6	802.1X	126
4.6.7	RTSP	127
4.6.8	RTMP	128
4.6.9	UPnP	129
4.6.10	Email	130
4.6.11	FTP	133
4.6.12	HTTPS	135
4.6.13	QoS	138
4.7	セキュリティ設定	139
4.7.1	ユーザー	139
4.7.2	オンラインユーザ	142
4.7.3	ブロックと許可リスト	143
4.7.4	セキュリティ管理	144
4.8	メンテナンス	145
4.8.1	バックアップと復元	146

4.8.2	再起動	148
4.8.3	アップグレード	149
4.8.4	操作ログ	150
5.	顔検出ログ	151
6.	検索	152
6.1	録画検索	153
6.1.1	ローカル録画（動画）	153
6.1.2	SD カード録画（動画）	154
6.2	画像検索	156
6.2.1	ローカル画像（静止画）	156
6.2.2	SD カード画像（静止画）	157
7.	製品仕様	158
8.	困ったときには	161
9.	製品保証	169

1. はじめに

1.1 製品概要

本モデルは、1/2.8"2 メガピクセル CMOS センサーを搭載し、フルハイビジョン解像度：1920X1080 で撮影することができる、高解像度・高ダイナミックレンジ・高感度を実現したネットワークスピードドームカメラです。STARVIS 技術を搭載した高感度イメージセンサーを採用することにより、夜間でも鮮明な画像で撮影することができます。

H.264/H.265 の画像圧縮方式に対応しており、高画質および高データ圧縮率を実現しています。

ディープラーニング推論エンジンによる「人間」「車両」「顔」の検出に対応し、顔データベースの顔との比較や、検出した人間/車両ターゲットの自動追尾が可能です。

ホワイトバランス機能、逆光補正、自動絞り機能、自動電子シャッター機能など、豊富な機能を装備し、屋外・屋内に関わらず、あらゆるシーンで使用できるスピードドームカメラです。

1.2 特徴

- 1/2.8"2 メガピクセル CMOS センサーを搭載し、高解像度、高画質、高感度を実現
- 光学 25 倍レンズを搭載しています。焦点距離 最大 120mm (HIC-SP200X25 の場合)
- 光学 32 倍レンズを搭載しています。焦点距離 最大 144mm (HIC-SP200TX32 の場合)
- ディープラーニング推論エンジンによる「人間」「車両」「顔」の検出、これらの認識機能とライン越え、エリア侵入/退出、エリア内活動の各検知機能を組み合わせることで、正確な検知が可能
- 赤外線 LED を装備し、夜間の照明のない環境でも撮影可能
- 顔認識及び顔比較機能を搭載
- 検出したターゲットの自動追尾が可能
- PoE+ 給電対応
- H.264/H.265/MJPEG 対応
- WDR 機能(2 フレーム加算)、BLC 機能により、逆光等の明暗差が大きな被写体でも、最適な画像に調整
- MicroSD カードへの録画対応(動画及び静止画)・録画スケジュール設定も可能
- 豊富なネットワーク機能
- YouTube Live に配信が可能な、RTMP プロトコルに対応
- アラーム入出力端子を装備 (HIC-SP200TX32 のみ)
- 音声入出力端子を装備 (HIC-SP200TX32 のみ)
- IP66 規格対応の防水防塵構造
- モーション検知、妨害検知、プライバシーマスク機能、メール送信機能、DDNS 等、豊富な機能を搭載

1.3 監視アプリケーション

カメラとコンピュータを LAN で接続



カメラと NVR などの録画装置を接続



カメラと CMS など監視ソフトウェアと接続



1.4 梱包物一覧

ご使用いただく前に本体と付属品を確認してください。万一、不足の品がありましたら、お手数ですがお買い上げの販売店までご連絡ください。

● HIC-SP200X25

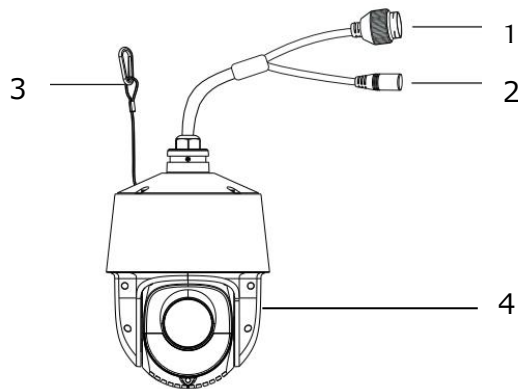
名 称	数 量
本体	1 台
壁面取付けアーム	1 台
ネジ、アンカー（各 4 本）	1 式
六角ネジ（5mm）	3 本
ドリルテンプレート	1 枚
AC アダプタ(+12V)	1 式
AC アダプタ用ケーブル	1 本
クイックガイド	1 枚

● HIC-SP200TX32

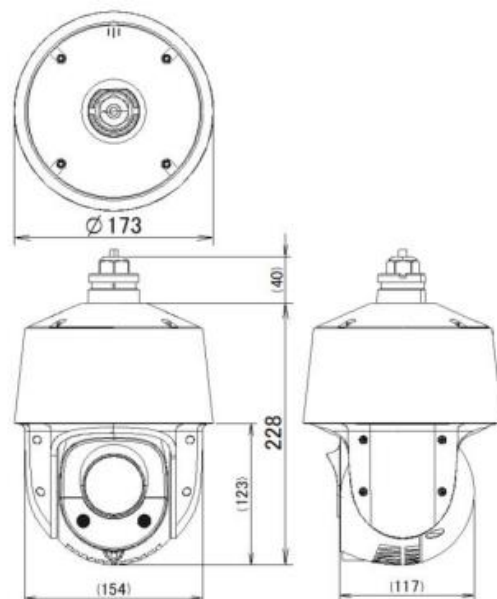
名 称	数 量
本体	1 台
壁面取付けアーム	1 台
ネジ、アンカー（各 4 本）	1 式
六角ネジ(5mm)	3 本
六角レンチ	1 本
ドリルテンプレート	1 枚
AC アダプタ(+24V)	1 式
AC アダプタ用ケーブル	1 本
クイックガイド	1 枚

1.5 製品外観

● スピードドームカメラ HIC-SP200X25

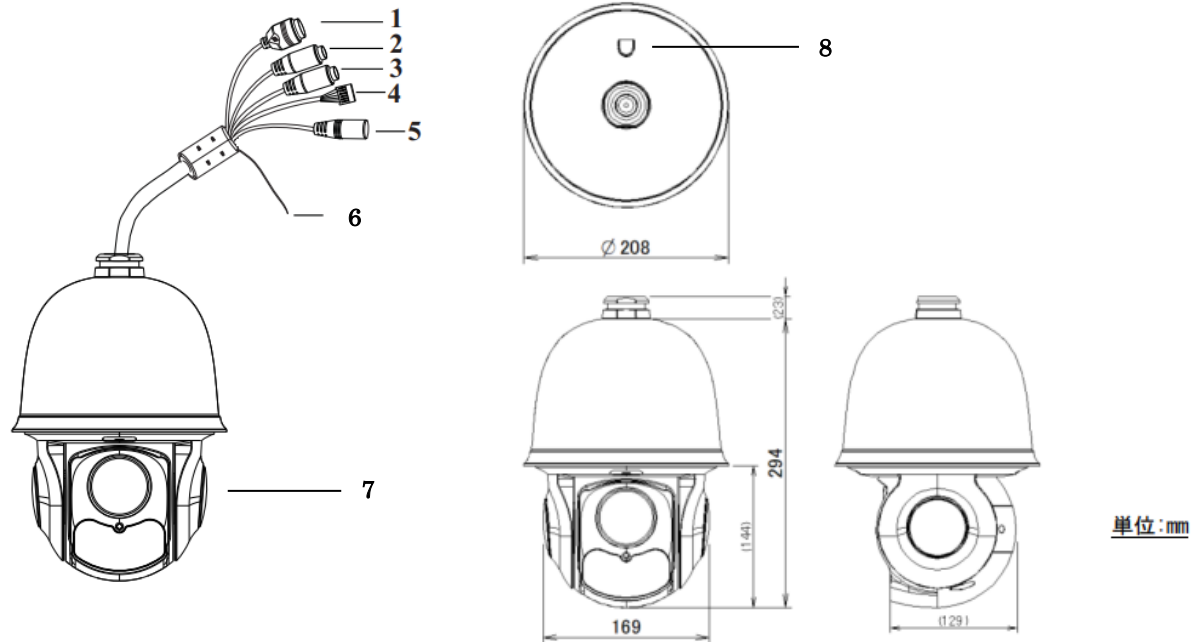


#	表 示	説 明
1	Ethernet	LAN ケーブル接続(10Mbps/100Mbps) ※PoE 対応
2	POWER	DC12V 入力
3	セーフティワイヤー	壁面取付けアーム（標準付属）に落下防止のためセーフティワイヤーを必ず取付けます。
4	SD カードスロット	レンズ裏の蓋（ネジ 4 本）を外してメモリカード（Micro SD/SDHC/SDXC）をスロットに挿入します。SD カードに録画、スナップショットの保存を行います。



単位:mm

● スピードドームカメラ HIC-SP200TX32



#	表 示	説 明
1	Ethernet	LAN ケーブル接続(10Mbps/100Mbps) ※PoE 対応
2	HP	オーディオ出力
3	MIC	オーディオ入力 (LINE)
4	アラーム	アラーム入力/出力
5	POWER	DC24V 入力
6	グラウンド	雷や誘導雷対策のためアースに接続します。
7	SD カードスロット	レンズ裏の蓋 (ネジ 2 本) を外してメモ리카ード (Micro SD/SDHC/SDXC) をスロットに挿入します。SD カードに録画、スナップショットの保存を行います。
8	セーフティワイヤー用フック	壁面取付けアーム (標準付属) に落下防止のためセーフティワイヤーを必ず取付けます。

1.6 カメラの設置

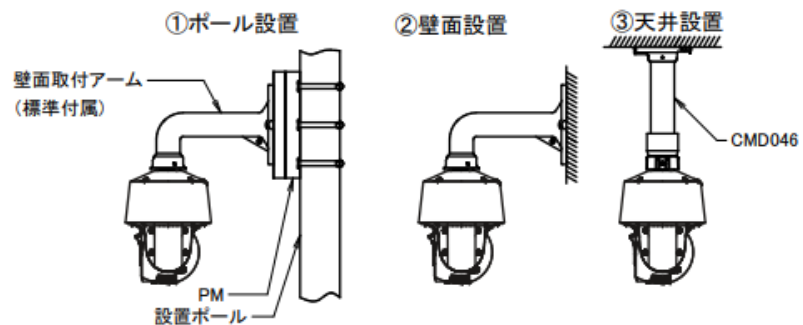
本製品の設置方法について説明します。以下の注意点をご確認の上、設置してください。

- 注 1** 壁または天井がカメラの 3 倍の重量に耐えられる強度であることを確認してください。
- 注 2** カメラは乾燥した場所に設置してください。下部ドームまたはカバーを取り外してから 4 時間以内に元に戻してください。
- 注 3** 取り付けが完了するまで保護フィルムを剥がさないでください。
- 注 4** 出荷時はドーム部分が粘着テープやスポンジで固定されています。電源を入れるとドーム部分が初期動作で動きますので、必ず粘着テープやスポンジを取り除いてください。故障の原因となります。
※本体が個装箱に入った状態で電源を繋げないでください。

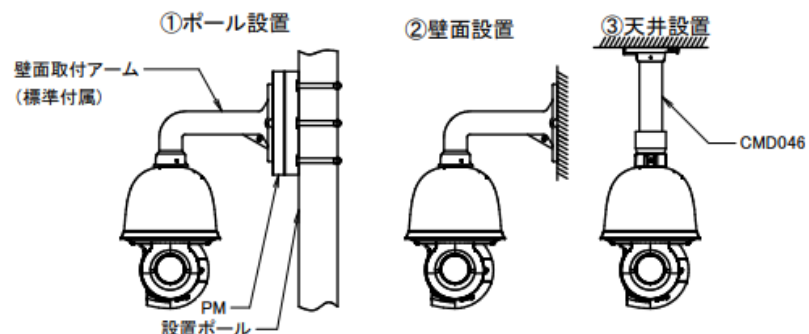
● スピードドームカメラ HIC-SP200X25/ HIC-SP200TX32

- ① 壁面などに設置する場合は、付属の壁面取り付けアームまたはオプション金具を使用します。
- ② ドリルテンプレートなどを使い、壁面にネジ穴 4 つと、ケーブル穴 1 つ（壁面にケーブルを通す場合）を開けます。付属の取付けねじで固定します。

HIC-SP200X25



HIC-SP200TX32



2. ネットワーク接続

LAN または WAN 経由で IP カメラを接続します。詳細は次のとおりです。

2.1 LAN

LAN では、IP カメラへのアクセス方法は 2 つあります。

2.1.1 IP-Tool によるアクセス

ネットワーク接続：




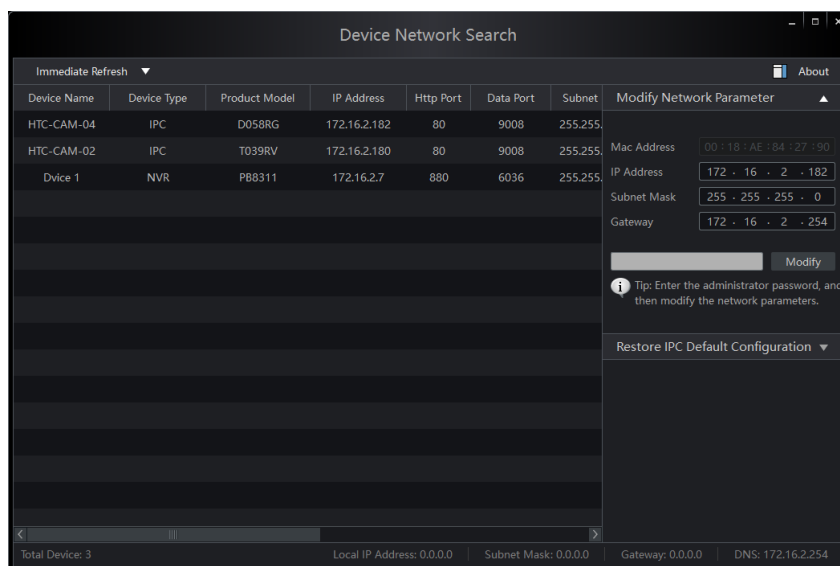
以下の手順で行います。

- ① IP-Tool を CD から PC(コンピュータ)にインストールしておきます。

IP-Tool のダウンロードは以下 URL からお願いします。（他のカメラのリンク先の IP-Tool でも使えます。）

<https://hytec.co.jp/products/video/sb200n.html>

- ② PC と IP カメラが LAN で接続されていることを確認します。
- ③ デスクトップ上にある IP-Tool アイコン  をダブルクリックすると、以下のように動作します。



- ④ IP アドレスを変更します。本機のデフォルト IP アドレスは 192.168.226.201 です。リストのカメラをクリックすると、右手にネットワーク情報を表示します。ネットワークアドレスがコンピュータのローカルネットワークセグメントと同じであることを確認します。同じでない場合は、カメラの IP アドレスとゲートウェイを変更する必要があります。

例：コンピュータの IP アドレスが 172.16.2.4 である場合、カメラの IP アドレスを 172.16.2.X に設定します。変更後、管理者のパスワードを入力し、[Modify] ボタンをクリックして変更します。

管理者のデフォルトパスワードは “**123456**” です。（カメラの管理者パスワードです。）

- ⑤ リスト内のカメラをダブルクリックすると、IE ブラウザ（または Edge）がポップアップして IP カメラに接続します。指示に従い、該当するプラグインをインストールして実行します。※プラグインを自動的にダウンロード後、インストールする直前で IE ブラウザを閉じてからインストールします。閉じないでインストールするとプラグインのインストールに失敗する場合があります。失敗したときは再度インストールを試みてください。

名前とパスワードを入力して、言語は日本語を選択し、ログインします。

デフォルトの名前は “**admin**”、デフォルトパスワードは “**123456**” です。

Edge の IE モードでもアクセスができます。

- ⑥ デフォルトのパスワード変更を要求されます。セキュリティのために、デフォルトパスワードの変更をお勧めします。パスワードを変更する場合は、[パスワードの変更]にチェックを入れ、新しいパスワードを入力します。変更しない場合は、そのまま[OK]をクリックします。[もう表示しません]にチェックを入れると、次回からこのメッセージは表示されません。

ログインが成功しプラグインのインストールに成功しているとカメラのライブ画像を表示することができます。※画像表示するときプラグインのインストールは必須です。

Edge の IE モードでもアクセスができます。

2.1.2 IE へ直接アクセス

デフォルトネットワーク設定を表示します。カメラに初めてログインするときは、下記のデフォルト設定を使用してください。

IP アドレス : 192.168.226.201	サブネットマスク : 255.255.255.0
ゲートウェイ : 192.168.226.1	HTTP ポート : 80
データポート : 9008	

LAN ケーブルを使用して、カメラとコンピュータを直接接続します。



- ① PC の IP アドレスを手動で設定し、IP カメラのデフォルト設定と同じネットワークセグメントにする必要があります。コントロールパネルを開き、ネットワークと共有センター ⇒ アダプタの設定の変更 ⇒ イーサネットを開きます。（例 : Windows10）
- ② イーサネットのプロパティから[インターネット プロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)]を開きます。PC の IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS サーバを入力し、[OK]をクリックします。
- ③ IE ブラウザを開き、IP カメラのデフォルト IP アドレスを入力します。
- ④ 指示に従い、該当するプラグインをインストールして実行します。※プラグインを自動的にダウンロード後、インストールする直前で IE ブラウザを閉じてからインストールします。閉じないでインストールするとプラグインのインストールに失敗する場合があります。失敗したときは再度インストールを試みてください。
- ⑤ ログイン画面で名前とパスワードを入力します。言語は日本語を選択し、ログインします。

デフォルトの名前は **"admin"** 、デフォルトパスワードは **"123456"** です。

Edge の IE モードでもアクセスができます。

2.2 WAN

WAN では、IP カメラへのアクセス方法は 2 つあります。

2.2.1 ルータまたは仮想サーバを介したアクセス

ネットワーク接続：



- ① カメラがローカルネットワークで接続されていることを確認し、LAN 経由でカメラにログインします。
- ② 設定>ネットワーク>ポートメニュー(4.6.2 **ポート**)に移動して、ポート番号を設定します。

HTTPポート	<input type="text" value="80"/>
HTTPSポート	<input type="text" value="443"/>
データポート	<input type="text" value="9008"/>
RTSPポート	<input type="text" value="554"/>
<input type="button" value="保存"/>	

- ③ 設定>ネットワーク>TCP/IP メニュー(4.6.1 **TCP/IP**)に移動して、IP アドレスを設定します。
[以下の IP アドレスを使う]を選択し、IP アドレスなどのパラメータを入力します。

IPv4 IPv6 PPPoE設定 IP変更通知設定	
<input type="radio"/> 自動的にIPアドレスを取得する	
<input checked="" type="radio"/> 以下のIPアドレスを使う	
IPアドレス	<input type="text" value="192.168.226.201"/> <input type="button" value="テスト"/>
サブネットマスク	<input type="text" value="255.255.255.0"/>
ゲートウェイ	<input type="text" value="192.168.226.1"/>
優先DNSサーバ	<input type="text" value="192.168.226.1"/>
代替DNSサーバ	<input type="text" value="8.8.8.8"/>
<input type="button" value="保存"/>	

WAN 経由で通信する場合は、ルータでポートフォワーディングの設定をする必要があります。

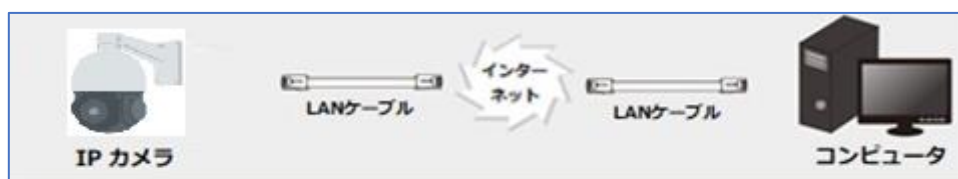
HTTP ポートとデータポートをフォワーディングしてください。Onvif 接続の時は、HTTP ポートと RTSP ポートをフォワーディングします。

- ④ IE ブラウザを開き、アクセスする WAN IP と HTTP ポートを入力します。

例 : <http://192.168.226.180:880>

2.2.2 静的 IP によるアクセス

ネットワーク接続 :



- ① 設定>ネットワーク>ポートメニュー(4.6.2 ポート)に移動して、ポート番号を設定します。

HTTPポート	<input type="text" value="80"/>
HTTPSポート	<input type="text" value="443"/>
データポート	<input type="text" value="9008"/>
RTSPポート	<input type="text" value="554"/>
<input type="button" value="保存"/>	

- ② 設定>ネットワーク>TCP/IP メニュー(4.6.1 **TCP/IP**)に移動して、IP アドレスを設定します。
[以下の IP アドレスを使う]を選択し、IP アドレスなどのパラメータを入力します。

IPv4 IPv6 PPPoE設定 IP変更通知設定	
<input type="radio"/> 自動的にIPアドレスを取得する	
<input checked="" type="radio"/> 以下のIPアドレスを使う	
IPアドレス	<input type="text" value="192.168.226.201"/> <input type="button" value="テスト"/>
サブネットマスク	<input type="text" value="255.255.255.0"/>
ゲートウェイ	<input type="text" value="192.168.226.1"/>
優先DNSサーバ	<input type="text" value="192.168.226.1"/>
代替DNSサーバ	<input type="text" value="8.8.8.8"/>
<input type="button" value="保存"/>	

- ③ IE ブラウザを開き、アクセスする WAN IP と HTTP ポートを入力します。

例 : <http://192.168.226.180:880>

3. ライブ画面

右上の[ライブ]タブを開きます。



ライブ画面(左上)の説明

再生するライブ画面の画質を、第 1 ストリーム / 第 2 ストリーム / 第 3 ストリーム からを選択します。
各ストリームの設定は、「4.2.2 映像/音声」で行います。

ライブ画面(左下)のアイコン説明

アイコン	説明	アイコン	説明
	等倍表示 (1 : 1)		オリジナルアスペクト比
	ウィンドウに合わせる		フルスクリーン※1

※1 フルスクリーンモードの終了方法は、マウスでダブルクリックするか、キーボードの Esc キーを押します。

ライブ画面(右上)のアイコン説明 ※2

アイコン	説明	アイコン	説明
	モーション検出のアラーム表示		アラーム入力のアラーム表示
	急激なシーン変化のアラーム表示		不鮮明画像（ピンボケ）のアラーム表示
	映像妨害（隠す、塞ぐ）のアラーム表示		ラインクロスのアラーム表示
	領域に入るのアラーム表示		領域を出るのアラーム表示
	ターゲットカウントのアラーム表示		エリア侵入検知のアラーム表示
	顔検出のアラーム表示		SD カードの有無を表示※3

※2 各検出アラームが有効になっている場合のみアイコンを表示し、無効時は表示されません。検出された場合、アイコンが赤く点滅します。

※3 SD カードは挿入されるとアイコンが表示され、録画・画像保存時に赤く点灯します。

ライブ画面(右下)のアイコン説明

アイコン	説明	アイコン	説明
	ライブビューのオン/オフ		双方向音声のオン/オフ
	スピーカのオン/オフ		スナップショット※4
	手動録画のオン/オフ※5		3D ズームのオン/オフ※6
	ズームイン/ズームアウト		PTZ 制御のオン/オフ※7
	顔検出※8		

※4 スナップショットは、「4.1.3 ローカル設定」の「静止画保存のパス」のフォルダに保存されます。

《 静止画保存のパス > picture > IP アドレス 》

 << Program Files > NetAllIPCamera > picture > 172.16.2.180

※5 録画は、「4.1.3 ローカル設定」の「録画保存のパス」のフォルダに保存されます。

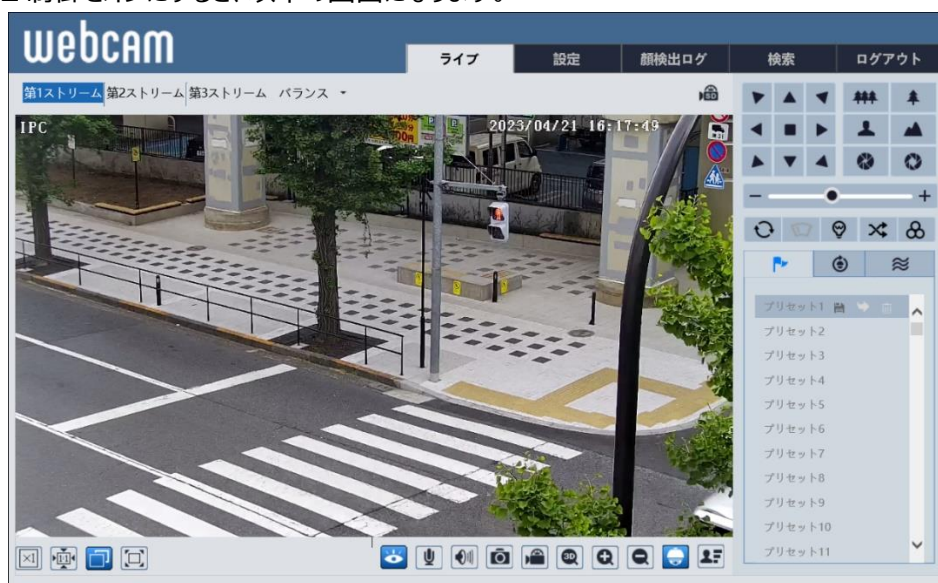
《 録画保存のパス > video > IP アドレス 》

 << Program Files > NetAllIPCamera > video > 172.16.2.180

※6 3D ズームをオンにして画面をクリックすると、クリックしたところが画面中心になるようパンチルト動作をします。但し、ズームはしません。

**イベント設定の中のエリア設定でロックを設定した場合、PTZ 制御が出来ません。
ロックを解除する必要があります。**

※7 PTZ 制御をオンにすると、以下の画面になります。

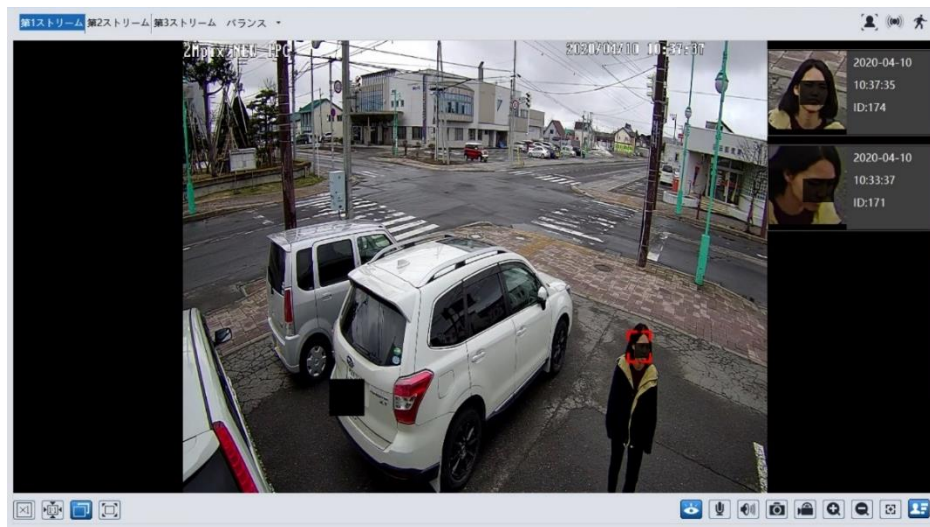


PTZ 制御画面のアイコンを説明します。

アイコン	説明	アイコン	説明
	カメラの向きを左上へ移動		カメラの向きを右上へ移動
	カメラの向きを上へ移動		カメラの向きを下へ移動
	カメラの向きを左へ移動		カメラの向きを右へ移動
	カメラの向きを左下へ移動		カメラの向きを右下へ移動
	カメラの移動を停止		移動速度調整
	ズームアウト（広角）		ズームイン（望遠）
	フォーカスを近く		フォーカスを遠く
	絞り+		絞り-
	自動スキャン		ワイパー（対応してません）
	ライト（赤外線）		ランダムスキャン
	グループスキャン		プリセット
	クルーズ		トレース

※8 顔が検出されると、顔写真を右側に表示します。日付・時刻・ID 情報が表示されます。

「4.5.7 顔の比較」で、事前に顔の検出を有効にしてください。



4. 設定ホーム

右上の[設定]タブを開きます。



HIC-SP200X25 の画面です。

4.1 システム設定

基本情報、日付と時間、ローカル設定、ストレージなどのサブメニューがあります。

 システム設定 基本情報 日付と時間 ローカル設定 ストレージ	設定ホーム ▶ システム設定 <div> <div>システム設定</div> <ul style="list-style-type: none"> ● 基本情報 デバイス名称や製品型名、ソフトウェアバージョン等、基本的な情報を表示します ● 日付と時間 本機の日付と時間を設定します。 ● ローカル設定 このPCでのファイルの保存先等を設定します。 ● ストレージ SDカードのフォーマットや、SDカード記録に関する項目を設定します。 </div>
 画像設定 画質調整 映像/音声 OSD プライバシーマスク	
 PTZコントロール PTZ設定 PTZ設定の復元 PTZ機能	
 アラーム設定 モーション検出 異常 アラーム入力 アラーム接点出力 アラームサーバ smartTracking	
 イベント設定 妨害検知 ラインクロス 領域に入る 領域を出る ターゲットカウント エリア侵入検知 顔の比較	
 ネットワーク設定 TCP/IP ポート 追加...	
 セキュリティ設定 ユーザー オンラインユーザー ブロックと許可リスト セキュリティ管理	
 メンテナンス バックアップと復元 再起動 アップグレード 操作ログ	

HIC-SP200X25 の画面です。

4.1.1 基本情報

デバイス名やモデル名、ソフトウェアバージョン、MAC アドレスなど、基本的な情報を表示します。

設定ホーム ▶ システム設定 ▶ 基本情報	
デバイス名	IPC
モデル名	HIC-SP200X25
ブランド	Customer
ソフトウェアバージョン	5.0.1.0(44387)
ソフトウェア構築日	2023-04-07
カーネルバージョン	20220927
ハードウェアバージョン	1.0-1612300
Onvifバージョン	22.06
ビデオ構造化バージョン	(1.1.8)1.1.0
顔検出バージョン	1.61
顔マッチバージョン	1.0.28
OCXバージョン	2.2.4.9
MAC	00:0f:3a:a6:cb:1e
PTZバージョン	V1.7.11(2022/4/8)
カメラタイプ	M225IE

※ デバイス名の変更は、「4.2.3 OSD」の「デバイス名」にて変更できます。

4.1.2 日付と時間

デバイスの日付と時間の設定を行います。

設定ホーム ▶ システム設定 ▶ 日付と時間

タイムゾーン 日時合わせ

タイムゾーン GMT (Dublin, Lisbon, London, Reykjavik) ▼

☐ サマータイム

☒ 自動サマータイム

☐ 手動サマータイム

開始時間 1月 ▼ 最初 ▼ 日曜日 ▼ 00 ▼ 時間

終了時間 2月 ▼ 最初 ▼ 月曜日 ▼ 00 ▼ 時間

オフセット時間 120 分 ▼

保存

➤ タイムゾーン

[タイムゾーン]タブを開き、タイムゾーンの設定を行います。

設定ホーム ▶ システム設定 ▶ 日付と時間

タイムゾーン 日時合わせ

タイムゾーン GMT+09 (東京、大阪、名古屋、札幌、福岡、沖縄) ▼

☐ サマータイム

☒ 自動サマータイム

☐ 手動サマータイム

開始時間 1月 ▼ 最初 ▼ 日曜日 ▼ 00 ▼ 時間

終了時間 2月 ▼ 最初 ▼ 月曜日 ▼ 00 ▼ 時間

オフセット時間 120 分 ▼

保存

表示	説明
タイムゾーン	日本のタイムゾーンは、「GMT+09（東京、大阪、名古屋、札幌、福岡、沖縄）」です。
サマータイム	サマータイムを設定するには、[サマータイム]にチェックを入れ、自動サマータイムまたは手動サマータイムを選択します。手動サマータイムを選択した場合、開始時間と終了時間、オフセット時間を設定します。

➤ 日時合わせ

[日時合わせ]タブを開き、日付と時刻の設定を行います。

設定ホーム ▶ システム設定 ▶ 日付と時間

タイムゾーン 日時合わせ

日時調整モード

☒ NTPサーバに同期

NTPサーバ: 更新間隔 分

☐ パソコンの時間に同期

日付 時間

☐ 手動で設定

日付 時間

保存

日付と時刻の設定方法

◆ NTP

[NTP サーバに同期]を選択します。

NTP サーバのアドレスを入力し、日時の更新間隔(分)を設定します。

注： NTP サーバにネットワークで接続できる必要があります。事前に接続確認をしてください。

◆ パソコンと時間同期

[パソコンの時間と同期]を選択します。

パソコンの時間と自動的に同期を行います。

◆ 手動

[手動で設定]を選択します。

 をクリックして、カレンダーから日付を選択、時間を入力します。

※ SD カードに録画している場合、時計の時間を遅らせると、遅らせた時間分の録画は消去されます。

4.1.3 ローカル設定

ローカル PC の写真・録画ファイルの保存先などを設定します。

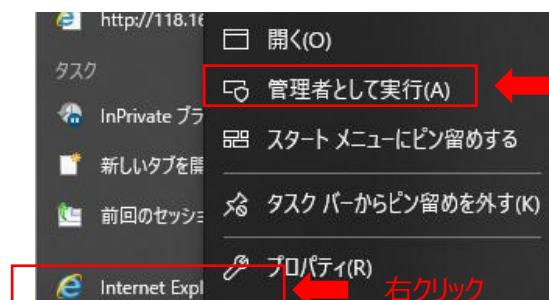
設定ホーム ▶ システム設定 ▶ ローカル設定

静止画保存のパス	C:\Program Files\NetAllIPCamera	保存先変更
録画保存のパス	C:\Users\...a\Videos	保存先変更
録画音声の設定	<input type="radio"/> ON <input checked="" type="radio"/> OFF	
ビットレートを表示	<input type="radio"/> ON <input checked="" type="radio"/> OFF	
ローカルスマート静止画保存ストレージ	<input type="radio"/> ON <input checked="" type="radio"/> OFF	

保存

表示	説明
静止画保存のパス	スナップショット画像を PC 内のフォルダに保存します。 保存先変更をクリックして保存先フォルダを指定します。
録画保存のパス	録画ビデオを PC 内のフォルダに保存します。 保存先変更をクリックして保存先フォルダを指定します。
録画音声の設定	録画ビデオに同時に音声を録画するかを指定します。 ※HIC-SP200TX32 のみ対応
ビットレートを表示	保存した画像やビデオファイルにビットレート表示させるか、有効(ON)または無効(OFF)を設定します。
ローカルスマート静止画保存ストレージ	スマート検知で撮影したスナップショット画像を PC 内のフォルダに保存します。

注 動画ファイルや静止画ファイルをローカル PC に保存するためには、ブラウザ（IE）は必ず管理者権限で起動してください。



4.1.4 ストレージ

SD カードのフォーマットや、写真・録画ファイルの保存に関する項目などを設定します。



SD カードを取付けてないときは「カードがありません」と表示します。

設定するときは、SD カードをカメラに取付ける必要があります。（最大 256GB）

設定ホーム ▶ システム設定 ▶ ストレージ	
<div>管理 録画 写真撮影</div>	
写真保存領域のサイズ	121991 MB
残りの写真保存容量	119477 MB
録画保存領域のサイズ	121920 MB
残りの録画容量	0 MB
状態	正常
写真保存領域	10 %
録画保存領域	90 %
割り当て比率の変更を反映させる場合はフォーマットを実行してください。フォーマットすると記録されたデータは削除されます。	
<div>カード取り出し フォーマット</div>	

➤ 管理

[管理]タブを開き、SD カードの容量を表示・設定します。

SD カードをカメラに取付けると、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。SD カードに録画や画像が保存されると、アイコン  は赤く点灯します。

管理 録画 写真撮影	
写真保存領域のサイズ	121991 MB
残りの写真保存容量	119477 MB
録画保存領域のサイズ	121920 MB
残りの録画容量	0 MB
状態	正常
写真保存領域	10 %
録画保存領域	90 %
割り当て比率の変更を反映させる場合はフォーマットを実行してください。フォーマットすると記録されたデータは削除されます。	
<div>カード取り出し</div> <div>フォーマット</div>	

表示	説明
写真保存領域のサイズ	SD カード内の写真を保存できる容量を表示します。
残りの写真保存容量	写真を保存できる、残りの空き容量を表示します。
録画保存領域のサイズ	SD カード内の録画を保存できる容量を表示します。
残りの録画容量	録画できる、残りの空き容量を表示します。
状態	SD カードの状態を表示します。
写真保存領域 ※	SD カードの全容量に対して、写真を保存できる割合を設定します。
録画保存領域 ※	SD カードの全容量に対して、録画を保存できる割合を設定します。
カードの取り出し	カメラから SD カードを取り出すときにクリックしてください。 取り出しをクリックする前に SD カードを取り出すとファイル破損の原因となる可能性があります。
フォーマット	SD カードを初期化します。フォーマットを行うと、SD カード内のデータはすべて消去されます。

※写真と録画の保存割合を適用するには、フォーマットする必要があります。フォーマットを行うと、SD カード内のデータはすべて消去されます。

➤ 録画

[録画]タブを開き、SD カードへの録画に関する設定を行います。

設定ホーム ▶ システム設定 ▶ ストレージ

管理 **録画** 写真撮影

録画パラメータ

録画ストリーム 第1ストリーム ▼

プレ録画時間 プレ録画なし ▼ (H264,H265,MJPEG)

上書きする はい ▼

設定された時間で実行

☐ スケジュール記録有効

☐ 削除 ☒ 追加

一週間の日程

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
日	00:00-24:00 手動入力																								
月	00:00-24:00 手動入力																								
火	00:00-24:00 手動入力																								
水	00:00-24:00 手動入力																								
木	00:00-24:00 手動入力																								
金	00:00-24:00 手動入力																								
土	00:00-24:00 手動入力																								

休日設定とスケジュール

日付 04-21 追加 削除

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

00:00-24:00 手動入力

保存

録画パラメータ

表示	説明
録画ストリーム	録画を行うストリームを選択します。 解像度や画質などの設定は「4.2.2 映像/音声」で調整します。
プレ録画時間	“プレ録画なし”を選択した場合、「イベント発生中の時間+アラーム保持時間」の映像を録画します。 “3 秒”または“6 秒”を選択した場合、イベント発生 of 3 秒または 6 秒前の映像から録画を行います。
上書きする	SD カードの空き容量が無くなったとき、上書き録画を行うか選択します。

※ イベントによる録画は、「4.4 アラーム設定」や「4.5 イベント設定」の連携するアラーム出力で、[SD カード録画]が有効(チェックあり)のときに実行されます。

設定された時間で実行

表示	説明
スケジュール記録有効	チェックを入れると、スケジュールによる録画を行います。

スケジュールの設定方法

◆ 一週間の日程

日曜日～土曜日の一週間のスケジュールを設定します。

削除 : 録画を無効にする時間帯をタイムライン上でクリックまたはドラッグします。(白)

追加 : 録画を有効にする時間帯をタイムライン上でクリックまたはドラッグします。(緑)

手動入力 : [削除]または[追加]を選択してから、タイムライン右下の[手動入力]をクリックし、時間帯を設定します。

◆ 休日設定とスケジュール

日付を指定してスケジュールを設定します。

日付を指定し、**追加** をクリックします。その後、タイムラインでスケジュールを設定して保存します。

削除するときは、日付を選択してから **削除** をクリックします。

➤ 写真撮影

[写真撮影]タブを開き、SD カードに保存する静止画に関する設定を行います。

管理
録画
写真撮影

写真撮影パラメータ

画像フォーマット

JPEG

解像度

704x480

画質

低い

イベント発生に連動

スナップショット間隔

1

秒

撮影枚数

5

設定された時間で実行

☐ 有効にする

スナップショット間隔

5

秒

○ 削除

● 追加

一週間の日程

日	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24	00:00-24:00	手動入力
月	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24	00:00-24:00	手動入力
火	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24	00:00-24:00	手動入力
水	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24	00:00-24:00	手動入力
木	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24	00:00-24:00	手動入力
金	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24	00:00-24:00	手動入力
土	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24	00:00-24:00	手動入力

休日設定とスケジュール

日付

04-21

追加

削除

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

00:00-24:00

手動入力

保存

写真撮影パラメータ

表示	説明
画像フォーマット	フォーマットを選択します。
解像度	スナップショットの解像度を選択します。
画質	画質を高い/中/低いから選択します。

※スナップショット解像度の設定は、「4.2.2 映像/音声」で行います。

イベント発生に連動

表示	説明
スナップショット間隔	「イベント発生中の時間+アラーム維持期間」の時間内で、何秒間隔でスナップショットを撮影し、SD カードに保存するか設定します。
撮影枚数	スナップショット間隔で、最大何枚のスナップショットを撮影するか設定します。


※「4.4 アラーム設定」や「4.5 イベント設定」の連携するアラーム出力で、[写真をSDカードに保存]が有効(チェックあり)のときに実行されます。

SD カードへのスナップショット保存例

[例 1] アラーム維持期間：20 秒、スナップショット間隔：5 秒、撮影枚数：3 枚の場合

→ イベント発生時に 1 枚、その後 5 秒間隔で 1 枚ずつ撮影され、計 3 枚(最大)のスナップショットが保存されます。

アラーム維持期間	20秒	
スナップショット間隔	5	秒
撮影枚数	3	




	時間	タイプ
1	08:23:49	■
2	08:23:44	■
3	08:23:39	■

※ここでは、イベント発生時、発生から 5 秒後、10 秒後のスナップショットを保存しています。

[例 2] アラーム維持期間：3 秒、スナップショット間隔：5 秒、撮影枚数：2 枚の場合

→ イベント発生時に 1 枚、3 秒でアラーム維持期間が終了したため、5 秒後のスナップショットは撮影されず、発生時の 1 枚のみ保存されます。

アラーム維持期間	3秒	
スナップショット間隔	5	秒
スナップショット数	2	



	時間	タイプ
1	08:31:47	■

※アラーム維持期間が終了した時点で、それ以降のスナップショットは保存されません。

設定された時間で実行

表示	説明
有効にする	チェックを入れると、スケジュールによる写真の保存を行います。
スナップショット間隔	有効の時間帯で何秒間隔の写真を保存するのか設定します。

スケジュールの設定方法

◆ 一週間の日程

日曜日～土曜日の一週間のスケジュールを設定します。

削除 : 写真保存を無効にする時間帯をタイムライン上でクリックまたはドラッグします。(白)

追加 : 写真保存を有効にする時間帯をタイムライン上でクリックまたはドラッグします。(緑)

手動入力 : [削除]または[追加]を選択してから、タイムライン右下の[手動入力]をクリックし、時間帯を設定します。

◆ 休日設定とスケジュール

日付を指定してスケジュールを設定します。

日付を指定し、**追加** をクリックします。その後、タイムラインでスケジュールを設定して保存します。

削除するときは、日付を選択してから **削除** をクリックします。

4.2 画像設定

画質調整、映像/音声、OSD、プライバシーマスク（※ 1）などのサブメニューがあります。

<div>  システム設定 基本情報 日付と時間 ローカル設定 ストレージ </div> <div>  画像設定 画質調整 映像/音声 OSD プライバシーマスク </div> <div>  PTZコントロール PTZ設定 PTZ設定の復元 PTZ機能 </div> <div>  アラーム設定 モーション検出 異常 アラーム入力 アラーム接点出力 アラームサーバ smartTracking </div> <div>  イベント設定 妨害検知 ラインクロス 領域に入る 領域を出る ターゲットカウント エリア侵入検知 顔の比較 </div> <div>  ネットワーク設定 TCP/IP ポート 追加... </div> <div>  セキュリティ設定 ユーザー オンラインユーザー ブロックと許可リスト セキュリティ管理 </div> <div>  メンテナンス バックアップと復元 再起動 アップグレード 操作ログ </div>	<div>設定ホーム ▶ 画像設定</div> <div> 画像設定 <ul style="list-style-type: none">  画質調整 カメラの画質（明るさ、コントラスト、彩度など）に関するパラメータを設定します  映像/音声 映像、音声のIPストリームを設定します。圧縮方式、解像度、フレーム数、ビットレート等を設定します。  OSD OSD（オンスクリーンディスプレイ）を設定します。  プライバシーマスク プライバシー保護のためのマスク設定を行います。 </div>
---	---

HIC-SP200X25 の画面です。

※ 1 : プライバシーマスク機能は HIC-SP200X25 のみ

4.2.1 画質調整

カメラの画質(輝度、コントラスト、彩度など)に関するパラメータを設定します。

設定ホーム ▶ 画像設定 ▶ 画質調整

カメラのパラメータ スケジュール選択



撮影設定 常時 ▼

輝度 50

コントラスト 50

色相 50

彩度 50

WDR ☐ 50

シャープネス ☐ 100

ノイズ除去 ☐ 100

opticalFog オフ ▼

BLC オフ ▼

フリッカレス オフ ▼

ホワイトバランス 自動 ▼

映像周波数 60HZ ▼

昼/夜モード 自動 ▼

感度 中 ▼

IRモード 自動 ▼

IR照明自動調光 自動 ▼

露出モード 自動 ▼

ゲイン制限 75

画像左右反転 ☐ ON ☒ OFF

自動画像反転 ☐ ON ☒ OFF

初期値 取り消し

最短撮影距離 1M ▼

ズーム表示 ☐

ズーム速度 3

スキャン速度 10

レンズの初期化 レンズの初期化

方位(北)設定 北

HIC-SP200X25 の画面です。

➤ カメラのパラメータ

[カメラのパラメータ]タブを開き、通常・昼間・夜のモード別に、輝度やコントラストなどを設定できます。

設定ホーム ▶ 画像設定 ▶ 画質調整

カメラのパラメータ

スケジュール選択

IPC

2023/04/26 10:25:33



最短撮影距離

1M

ズーム表示

☐

ズーム速度

3

スキャン速度

10

レンズの初期化

レンズの初期化

方位 (北) 設定

北

撮影設定

常時

輝度

50

コントラスト

50

色相

50

彩度

50

WDR

☐

50

シャープネス

☐

100

ノイズ除去

☐

100

opticalFog

オフ

BLC

オフ

フリッカレス

オフ

ホワイトバランス

自動

映像周波数

60HZ

昼/夜モード

自動

感度

中

IRモード

自動

IR照明自動調光

自動

露出モード

自動

ゲイン制限

75

画像左右反転

☐ ON

☒ OFF

自動画像反転

☐ ON

☒ OFF

初期値

取り消し

HIC-SP200X25 の画面です。

表示	説明
撮影設定	3 パターンの撮影設定（常時、昼間専用、夜）を行います。 それぞれに適したパラメータを以下より設定します。
輝度	カメラ画像の明るさを調整します。
コントラスト	カメラ画像のコントラストを調整します。（SP200X25 のみ）
色相	カメラ画像の色相（色あい）を調整します。（SP200X25 のみ）
彩度	カメラ画像の色の濃さを調整します。

WDR	WDR にチェックを入れ、有効にします。 ワイドダイナミックレンジを調整します。
シャープネス	シャープネスにチェックを入れ、有効にします。 画像の輪郭強調レベルを調整します。
ノイズ除去	ノイズ除去にチェックを入れ、有効にします。 映像に発生しているランダムノイズの除去レベルを調整します。値を大きくするとノイズは減りますが、画像の解像度は低下します。
opticalFlog	雨、霧、霏、煙、ほこり等でぼやけた映像を補正します。 自動、マニュアル、オフから選択します。 必要に応じて適切な値を設定し、鮮明な画像を表示することができます。
BLC	逆光補正機能(BLC)の設定を、以下から選択します。 オフ：逆光補正機能を無効にします。(デフォルト) HLC：ハイライト補正。強い光源をカバーします。 BLC：逆光補正。逆光で陰になった部分を明るく補正します。
フリッカレス	オフ：フリッカ除去機能をオフにします。 50Hz/60Hz：50Hz または 60Hz の照明条件でちらつきを低減します。
ホワイトバランス	自動、屋内、屋外を選択した場合は、環境に応じて自動的に色温度を調整します。マニュアルを選択した場合は、赤レベルと青レベルを使用し、手動で色温度を設定します。
映像周波数	周波数 50Hz(PAL)と 60Hz(NTSC)が設定できます。
昼/夜モード	自動：昼モードと夜モードを自動で切替えます (デフォルト) 切り替えの感度 (明るさ) を設定できます。 昼間専用：カラー撮影固定 夜：白黒撮影固定 設定された時間で実行：昼モード/夜モードの切り替え時間を設定できます。
感度	昼/夜モードを切替える感度を設定します。 高い・中・低いから選択します。
IR モード	オフでは IR 照明はフル発光です。オンでは、カメラの近くの被写体が白飛びしないように、自動で照明を調光します。
IR 照明自動調光	自動、オフ、マニュアルで照明を調光します。(SP200TX32 のみ) マニュアルの場合、IR 照明を調整します。
露出モード	自動またはマニュアルから選択します。

	マニュアルの場合、シャッター速度とゲインと絞りを設定します。
ゲイン制限	ゲイン値が高いほど、画像が明るくなり、画像のノイズが多くなります。
画像左右反転	カメラ画像を左右反転させます。
自動画像反転	カメラ画像を上下反転させます。
最短撮影距離	最短の撮影距離を選択します。
ズーム表示	ズーム倍率が画面に表示されます。
ズーム速度	ズームする速度を設定します。
スキャン速度	パンチルト速度を設定します。
レンズの初期化	レンズを初期化しなおします。
方位(北)設定	北を設定します。

➤ スケジュール選択

[スケジュール選択]タブを開き、昼間と夜の時間帯を指定します。

設定ホーム ▶ 画像設定 ▶ 画質調整

カメラのパラメータ **スケジュール選択**

スケジュール選択 設定された時間で実行 ▼

時間範囲

0:00 4:00 8:00 12:00 16:00 20:00 24:00

■ 昼間専用 ■ 夜


保存

スケジュールの設定方法

◆ 24 時間連続

“24 時間連続”を選択した場合、撮影設定は常時、自動から選択します。

◆ 設定された時間で実行

“設定された時間で実行”を選択した場合、タイムライン上の“”をドラッグして昼間と夜の時間帯を設定します。ブルーが昼間時間、グレーが夜時間を表します。

カメラのパラメータの昼間/夜モードで“設定された時間で実行”が設定されている場合、設定されたスケジュールに従って自動的に昼間と夜に切り替わります。

4.2.2 映像/音声

映像、音声の IP ストリーム(圧縮方式や解像度、フレーム数、ビットレートなど)を設定します。

設定ホーム ▶ 画像設定 ▶ 映像/音声

映像 音声

Index	ストリーム	解像度	フレーム	ビットレ	ビットレート	ビデオ品質	Iフレーム間	ビデオ圧縮	プロフィール
1	第1ストリー...	1920x1080	30	CBR	3072	最高	120	H264	High Profile
2	第2ストリー...	704x480	30	CBR	768	最高	120	H264	High Profile
3	第3ストリー...	352x240	30	CBR	512	より高	120	H264	High Profile

写真のストリーム 第2ストリー サイズ (704x480)

☐ ビデオエンコードスライス分割

☐ ウォーターマーク (H264, H265) ウォーターマーク文字

保存

➤ 映像

[映像]タブを開き、第 1/第 2/第 3 ストリームの解像度やフレームレートなどをそれぞれ設定します。

表示	説明
解像度	カメラ画像の表示解像度を設定します。
フレームレート	フレームレートを設定します。(範囲 1 ～30 フレーム) フレームレートが高いほど、映像は滑らかになります。
ビットレートタイプ	VBR または CBR から選択します。 VBR：可変ビットレート / CBR：固定ビットレート
ビットレート (Kbps)	CBR を選択した場合、ビットレート設定ができます。 ビットレートが高いほど、画質が向上します。
ビデオ品質	VBR を選択した場合、ビデオ品質設定ができます。 品質が高いほど、より多くのビットレートが必要になります。CBR のビットレート値が分からないときは VBR を選択します。
I-フレーム間隔	I-フレームの送信間隔を設定します。
ビデオ圧縮	H.264/H.265/MJPEG からビデオの圧縮方式を設定します。
プロフィール	H.264 を選択した場合、プロファイルを選択します。
写真のストリーム	イベント発生時に送信する、写真のサイズ(解像度)を設定します。
ビデオエンコードスライス分割	ビデオエンコードスライス分割にチェックを入れ、有効にします。 この機能を有効にすると、低性能の PC を使用しても滑らかな画像を得ることができます。
ウォーターマーク	ウォーターマークにチェックを入れ、有効にします。

	ウォーターマーク符号に透かしテキストを入力します。検索画面で、ローカルに記録されたビデオを再生する時にウォーターマークを表示できます。
--	---

➤ 音声

[音声]タブを開き、エンコード形式や入力方式を設定します。

表示	説明
有効	音声を有効にする場合はチェックを入れます。
音声形式	音声圧縮方式を選択します。(G711A または G711U)
音声タイプ	カメラ内蔵マイクと外部 LINE 入力を選択します。 ※SP200X25 は音声入出力には対応していません。 ※SP200TX32 はマイクを内蔵しておりません。

RTMP 機能を使用して YouTube 配信をしたいときは、必ず音声を有効に設定する必要があります。また、音声圧縮形式は G711U を選択してください。

4.2.3 OSD

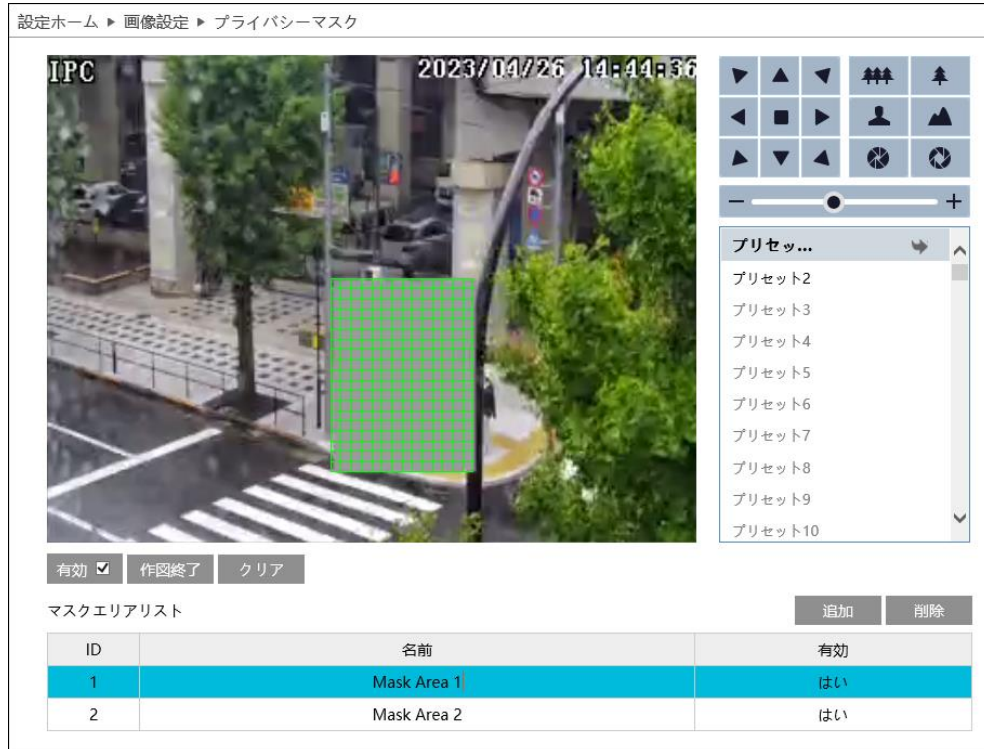
OSD（On Screen Display）に関する設定を行います。

表示	説明
日付形式	<p>[日付時刻を画面表示する]にチェックを入れ、画面表示を有効にします。</p> <p>表示形式を選択します。ディスプレイ上に赤枠でタイムスタンプを表示します。赤枠はドラッグして位置を変更できます。(時間は最後尾に表示します)</p> <p>《 YYYY：年、MM：月、DD：日 を表します 》</p>
デバイス名	<p>[デバイス名を画面表示する]にチェックを入れ、画面表示を有効にします。</p> <p>デバイス名を入力すると、ディスプレイ上に赤枠でデバイス名を表示します。赤枠はドラッグして位置を変更できます。</p> <p>ここで変更したデバイス名は、「4.1.1 基本情報」にも反映されます。</p>
デバイスステータス言語	<p>ステータスを表示する言語を選択します。</p>
追加 OSD	<p>チェックを入れ、追加 OSD または写真オーバーレイを有効にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 追加 OSD を選択した場合、文字列を入力するとディスプレイ上に表示されるので、ドラッグして位置を変更します。 [1 行追加]にチェックを入ると、文字列をもう 1 行追加できます。 写真オーバーレイを選択した場合、写真を表示することができます。 保存先変更から写真を指定し、アップロードをクリックします。

注意
OSD に使用する文字は英数字を使用してください。
日本語を入力すると文字バケが発生します。

4.2.4 プライバシーマスク（HIC-SP200X25 のみ）

プライバシーマスクに関する設定を行います。プライバシーマスクは最大 4 か所に設定できます。



プライバシーマスクの設定

- ① [有効]にチェックを入れ、プライバシーマスクを有効にします。
- ② [エリアを描く]をクリックし、ディスプレイ上でマウスを左クリックしながらドラッグしてプライバシーマスクを作図します。カメラのパンチルト操作でカメラの向きを動かしてもプライバシーマスクを作図することができます。作図したら、追加をクリックしてプライバシーマスクを保存します。最大 4 か所まで保存できます。
- ③ [作図終了]をクリックすると、プライバシーマスクの作図を終了します。
- ④ [クリア]をクリックすると選択したプライバシーマスクを削除します。
- ⑤ プライバシーマスクを削除するときは、マスクエリアリストから削除したい行を選択して削除をクリックします。

4.3 PTZ コントロール

PTZ 設定、PTZ 設定の復元、PTZ 機能などのサブメニューがあります。

 システム設定 基本情報 日付と時間 ローカル設定 ストレージ	設定ホーム ▶ PTZコントロール
 画像設定 画質調整 映像/音声 OSD プライバシーマスク	
 PTZコントロール PTZ設定 PTZ設定の復元 PTZ機能	PTZコントロール <ul style="list-style-type: none"> ● PTZ設定 PTZシステムの基本的な項目を設定します。(基本情報、通信設定、時刻設定など) ■ PTZ設定の復元 PTZシステムの設定を復元します。 ■ PTZ機能 プリセット、クルーズ、トレース、その他の様々なPTZタスクを設定します。
 アラーム設定 モーション検出 異常 アラーム入力 アラーム接点出力 アラームサーバ smartTracking	
 イベント設定 妨害検知 ラインクロス 領域に入る 領域を出る ターゲットカウント エリア侵入検知 顔の比較	
 ネットワーク設定 TCP/IP ポート 追加...	
 セキュリティ設定 ユーザー オンラインユーザー ブロックと許可リスト セキュリティー管理	
 メンテナンス バックアップと復元 再起動 アップグレード 操作ログ	

HIC-SP200X25 の画面です。

4.3.1 PTZ 設定（工場メンテナンス用）

PTZ カメラのパラメータを設定します。

※カメラ設定メニュー表示に関する設定です。工場メンテナンスで使用します。

➤ PTZ 設定

[PTZ 設定]タブを開き、カメラの設定をします。

表示	説明
自動 PTZ フリップ	カメラの上下を自動で反転させます。
OSD 言語	OSD 表示する言語を選択します。 英語と中国語が選択できます。
自動ログアウト時間	操作しない場合のログアウト時間を選択します。 オフ、15 秒、30 秒、1 分、1 分 30 秒、2 分から選択できます。

➤ パスワード設置

操作するためにはパスワードが必要になります。[パスワード設定]タブを開き、パスワードを入力します。

4.3.2 PTZ 設定の復元（工場メンテナンス用）

PTZ カメラの設定情報をリセットします。

※カメラ設定メニュー表示に関する設定です。工場メンテナンスで使用します。

設定ホーム ▶ PTZコントロール ▶ PTZ設定の復元	
リセット	クリア

4.3.3 PTZ 機能

プリセット設定、クルーズ設定、グループ設定、PTZ トレース設定、PTZ タスク設定、アラーム、ホームポジション設定、7つの設定を行います。



右側映像の操作アイコン

アイコン	説明	アイコン	説明
	カメラの向きを左上へ移動		カメラの向きを右上へ移動
	カメラの向きを上へ移動		カメラの向きを下へ移動
	カメラの向きを左へ移動		カメラの向きを右へ移動
	カメラの向きを左下へ移動		カメラの向きを右下へ移動
	カメラの移動を停止		移動速度調整
	ズームアウト（広角）		ズームイン（望遠）
	フォーカス近く		フォーカス遠く
	絞り+		絞り-

➤ プリセット設定

カメラ位置を設定します。

作成		名前変更		
ID	プリセット名	操作		
1	preset1	移動	ポジションを保存	削除
2	preset2	移動	ポジションを保存	削除
3	preset3	移動	ポジションを保存	削除
4	preset4	移動	ポジションを保存	削除
5	preset5	移動	ポジションを保存	削除

表示	説明
作成	新しいプリセットを作成します。
名前変更	プリセット名を変更します。
移動	保存してあるプリセット位置を呼び出してカメラの向きを移動します。
ポジションを保存	現在のカメラの向きでプリセットを保存します。
削除	選択したプリセットを削除します。

➤ クルーズ設定

PTZ のクルーズ設定を行います。

プリセットされた方向に指定された時間留まってカメラの向きを移動していきます。

作成 変更 削除		
ID	クルーズ名称	操作
1	cruse1	開始 中止
2	cruse2	開始 中止

表示	説明
作成	新しいクルーズを作成します。 クルーズ名称の設定と事前に登録したプリセット、滞在時間を選択して、登録します。
変更	クルーズ内容を変更します。
削除	選択したクルーズを削除します。
開始	クルーズを開始します。
中止	クルーズを終了します。

クルーズ設定を作成するとき、プリセットを使用するため、事前にプリセット設定を行う必要があります。

➤ グループ設定

PTZ のグループ設定を行います。

前項のクルーズ設定を順番に実行していきます。

実行 削除 中止		
ID	クルーズ	操作
1	cruse1	クルーズの編集
2	No	クルーズを追加
3	No	クルーズを追加
4	No	クルーズを追加
5	No	クルーズを追加

表示	説明
実行	記録したグループ設定を実行します。
削除	選択したクルーズを削除します。
停止	カメラ移動を停止します。
クルーズの編集	クルーズを選択し直します。
クルーズを追加	新しいクルーズを追加します。

グループ設定を作成するとき、クルーズ設定を使用するため、事前にクルーズ設定を行う必要があります。

➤ PTZ トレース設定

PTZ を操作した履歴を記録します。(最大 180 秒)

実行 削除 中止		
ID	トレース	操作
1	TRACE1	編集
2	No	追加
3	No	追加
4	No	追加

表示	説明
実行	記録した PTZ 操作を実行します。
削除	選択したトレース設定を削除します。
中止	カメラ移動を停止します。
編集	操作した記録を再設定します。
追加	新しいトレースを追加します。
保存	PTZ 操作履歴を保存します。
キャンセル	PTZ 操作履歴をキャンセルします。

➤ PTZ タスク設定

設定した時間にプリセット、クルーズ、トレースを組み合わせた動作を行うことができます。

作成 すべて削除 実行 <input checked="" type="checkbox"/>				
ID	開始時間	終了時間	機能	シリアルナ
1	15:30	15:31	プリセッ...	1
2	15:31	15:32	プリセッ...	70
3	15:32	15:33	ランダム...	0
4	15:34	15:35	プリセッ...	1
5	15:36	15:37	プリセッ...	70

設定例

表示	説明
作成	順番に実行させたいプリセットやクルーズなどを設定します。 開始時間、終了時間、機能とシリアルナンバーを設定します。
すべて削除	設定を全て削除します。
実行	タスクを開始します。

[作成]をクリックすると、以下のウィンドウがポップアップします。開始時間、終了時間、機能、シリアルナンバーを入力して、[追加]ボタンをクリックします。

タスク作成

開始時間

00:00

終了時間

00:00

機能

No

シリアルナンバー

0

追加

タスクリスト

ID	開始時間	終了時間	機能	シリアルナン
1	15:30	15:31	プリセット	1
2	15:31	15:32	プリセット	70
3	15:32	15:33	ランダムスキ...	0
4	15:34	15:35	プリセット	1

変更

削除

OK

キャンセル

表示	説明
開始時間	機能を開始する時間を設定します。
終了時間	機能を終了する時間を設定します。
機能	プリセット、クルーズ、トレース、ランダムスキャン、境界スキャンを選択します。 ※ランダムスキャン、境界スキャンはサポートしていません。
シリアルナンバー	各機能での ID 番号です。（例：プリセットの 1 番など）
追加	入力した内容で追加します。
変更	選択した行を編集します。別ウィンドウがポップアップします。開始時間、終了時間、機能とシリアルナンバーを編集できます。
削除	選択した項目を削除します。
OK	設定を保存します。
キャンセル	キャンセルします

本機能を使用するときは、事前にプリセットやクルーズ、トレースの設定を行う必要があります。また、開始時間と終了時間を同じ時間に設定するとその ID 番号は実行されない可能性があります。

➤ アラーム（HIC-SP200TX32 のみ対応）

センサー入力をトリガーにした PTZ 動作を設定します。

編集					
ID	接点形式	アラーム入力	アラームトリガー	アラームオーバー	アラーム接
1	N.O.	オン	プリセット50	No	オフ

編集ボタンをクリックして編集画面をポップアップさせます。

編集

×

接点形式

N.O.

▼

アラーム入力

オン

▼

アラームトリガー

プリセット

▼

50

アラームオーバー

No

▼

アラーム接点出力

オフ

▼

OK

キャンセル

表示	説明
接点形式	接点の形式を選択します。 N.O.（ノーマルオープン） N.C.（ノーマルクローズ）
アラーム入力	センサー入力のオン、または、オフを選択します。
アラームトリガー	センサー入力が入ったときに PTZ が何の動作をするか選択します。
アラームオーバー	センサー入力終了したときに PTZ が何の動作をするか選択します。
アラーム接点出力	アラーム接点出力のオン、またはオフを選択します。
OK	設定を保存します。

設定例

アラーム入力が入ったら、プリセット（例：プリセット 50）を呼び出してカメラを向けたい。アラーム入力が無くなったらプリセット（例：プリセット 51）を呼び出してカメラを向けたい。

- ① 編集画面を表示させます。
- ② カメラに接続する機器の接点形式に合わせて、N.O.または N.C.を設定します。
- ③ アラーム入力をオンに設定します。
- ④ アラームトリガーにプリセット 50 を設定します。アラームオーバーにプリセット 51 を設定します。※プリセットは 50～69 を使用できます。
- ⑤ OK をクリックして設定を保存します。

本機能を使用するときは、事前にプリセットやクルーズ、トレースの設定を行う必要があります。

➤ ホームポジション設定

手動で PTZ 操作した後、設定した時間 PTZ 操作を行わないときに「場所」で設定した動作を呼び出します。

表示	説明
実行	チェックするとホームポジションを開始します。
場所	動作させたい機能を選択します。
無操作時間	PTZ 操作後、何秒後にホームポジションを動作させるか設定します。
保存	設定を保存します。

設定例

PTZ 操作後、7 秒経過したら指定した方向（例：プリセット 70）にカメラを向けたい。

- ① 実行にチェックを入れます。
- ② プリセットを選択、プリセット番号に 70 を入力する。事前にプリセット 70 を設定する必要があります。※プリセットは 70～89 を使用できます。
- ③ 無操作時間を 7 秒に設定します。
- ④ 保存をクリックして設定を保存します。

本機能を使用するときは、事前にプリセットやクルーズ、トレースの設定を行う必要があります。

4.4 アラーム設定

モーション検出、異常、アラーム入力、アラーム接点出力、アラームサーバ、smart Tracking などのサブメニューがあります。

 システム設定 基本情報 日付と時間 ローカル設定 ストレージ	設定ホーム ▶ アラーム設定	
 画像設定 画質調整 映像/音声 OSD プライバシーマスク	アラーム設定	
 PTZコントロール PTZ設定 PTZ設定の復元 PTZ機能	<ul style="list-style-type: none"> ■ モーション検出 動体検出の検出エリアの設定や、感度、連携動作、動作スケジュールを設定します。 	
 アラーム設定 モーション検出 異常 アラーム入力 アラーム接点出力 アラームサーバ smartTracking	<ul style="list-style-type: none"> ■ 異常 アラームのパラメータを設定して異常アラームに連動させる設定も行います。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ■ アラーム入力 アラーム入力設定と連動スケジュールを設定します。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ■ アラーム接点出力 アラーム出力を設定します。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ■ アラームサーバ アラームサーバを設定します。 	
 イベント設定 妨害検知 ラインクロス 領域に入る 領域を出る ターゲットカウント エリア侵入検知 顔の比較	<ul style="list-style-type: none"> ■ smartTracking smartTracking_note 	
 ネットワーク設定 TCP/IP ポート 追加...		
 セキュリティ設定 ユーザー オンラインユーザー ブロックと許可リスト セキュリティー管理		
 メンテナンス バックアップと復元 再起動 アップグレード 操作ログ		

HIC-SP200X25 の画面です。

4.4.1 モーション検出

モーション検出のアラーム設定、エリアと感度、スケジュールを設定します。

➤ アラーム設定

[アラーム設定]タブを開き、モーション検出のアラームを設定します。

設定ホーム ▶ アラーム設定 ▶ モーション検出

アラーム設定

エリアと感度

スケジュール選択

☒ 有効

アラーム維持期間

連携するアラーム出力

☐ アラーム接点出力




☐ 写真をSDカードに保存

☐ SDカード録画

☐ メールを送信

☐ FTPファイル転送

保存

表示	説明
有効	モーション検出を有効にする場合は、チェックを入れます。 有効である場合、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。 モーションを検出すると、アイコン  は赤く点滅します。
アラーム維持時間	モーションアラームの持続時間を設定します。 持続している間は、ライブ画面上でアイコン  が赤く点滅しています。 3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。
連携するアラーム出力	モーション検出では、以下の 5 つのアラームを設定できます。 アラーム接点出力、写真を SD カードに保存、SD カード録画、E メールを送信、FTP ファイル転送 ※各アラームの説明は、次の 連携するアラーム出力 を参照してください。
保存	設定を保存します。

連携するアラーム出力

◆ アラーム接点出力

[アラーム接点出力]にチェックを入れると、カメラに接続している外部リレー出力がトリガーされます。
アラーム出力に関する設定は、[4.4.4 アラーム接点出力](#)で行う必要があります。

◆ トリガートラック

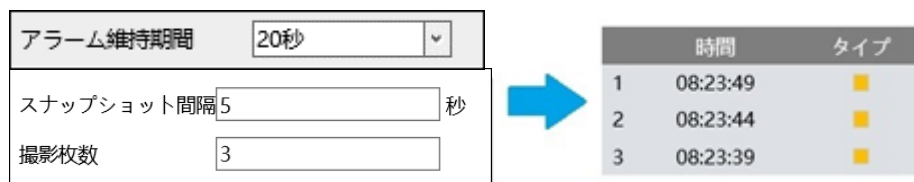
[トリガートラック]にチェックを入れると、イベントを検出したときにカメラが自動追尾します。
トリガートラックに関する設定は、「4.4.6 **Smart Tracking**」で行う必要があります。

◆ 写真をSDカードに保存

チェックを入れると、検出時に画像をキャプチャしSDカードに保存します。
キャプチャ画像の解像度は「4.2.2 **映像/音声**」の写真のストリームで設定します。
SDカードへの画像保存に関する設定は、「4.1.4 **ストレージ**」の「写真撮影」で行う必要があります。

SDカードへのスナップショット保存例


[例 1] アラーム維持期間：20 秒、スナップショット間隔：5 秒、撮影枚数：3 枚の場合
→ イベント発生時に 1 枚、その後 5 秒間隔で 1 枚ずつ撮影され、計 3 枚(最大)のスナップ
ショットが保存されます。




※ここでは、イベント発生時、発生から 5 秒後、10 秒後のスナップショットを保存。

[例 2] アラーム維持期間：3 秒、スナップショット間隔：5 秒、撮影枚数：2 枚の場合
→ イベント発生時に 1 枚、アラーム維持期間が 3 秒で終了したため、5 秒後のスナップ
ショットは撮影されず、発生時の 1 枚のみ保存されます。

アラーム維持期間	3秒	▼
スナップショット間隔	5	秒
撮影枚数	2	



	時間	タイプ
1	08:31:47	

※アラーム維持期間が終了した時点で、それ以降のスナップショットは保存されません。

◆ SD カード録画

チェックを入れると、検出時のビデオが SD カードに保存されます。

SD カードへの録画に関する設定は、「4.1.4 ストレージ」の「録画」で行う必要があります。

◆ E メール

[メールを送信]にチェックを入れると、E メールによる通知が有効になります。

通知メールの送信先をリストから選択し、メールの件名と内容を入力します。検出時の写真を添付する場合は[写真添付]にチェックを入れます。

<input checked="" type="checkbox"/> メールを送信	
メールの送信先	<input checked="" type="checkbox"/> 写真添付
<input checked="" type="checkbox"/>  @hytec.co.jp	<input checked="" type="checkbox"/> 写真添付
<input checked="" type="checkbox"/>  @yahoo.co.jp	<input checked="" type="checkbox"/> 写真添付
<input checked="" type="checkbox"/>  @gmail.com	<input type="checkbox"/> 写真添付
メールの件名 <input type="text"/>	
メールの内容 <input type="text"/>	

E メール通知の送受信に関する設定は、「4.6.10 Email」で事前に行う必要があります。

◆ FTP ファイル転送

チェックを入れると、FTP サーバへのファイル転送が有効になります。

FTP サーバをリストから選択し、検出時の写真を添付する場合は[写真添付]にチェックを入れます。

FTP サーバに関する設定は、「4.6.11 FTP」で事前に行う必要があります。

ログファイルとスナップショットは、《 指定フォルダ > MAC アドレス > イベント名 > 日付 > 時間 》に保存されます。



(1) 写真添付なしの場合

イベント発生時に、ログファイルが転送されます。

(2) 写真添付ありの場合

イベント発生時に、ログファイルとスナップショット 1 枚が転送されます。アラーム維持期間(5 秒)が経過後、スナップショット 1 枚が転送されます。

名前	日付時刻	種類	サイズ
MOTION_20200221103150.txt	2020/04/23 9:33	テキストドキュメント	1 KB
MOTION_20200221103150_163.jpg	2020/04/23 9:33	JPG ファイル	47 KB
MOTION_20200221103155_97.jpg	2020/04/23 9:33	JPG ファイル	48 KB

(3) イベント発生時間がアラーム維持期間を超える場合

イベント発生時に、ログファイルとスナップショット 1 枚が転送されます。アラーム維持期間を経過するとともにスナップショット 1 枚が転送されます。

[例] イベント発生時間：25 秒、アラーム維持期間：10 秒の場合

イベント発生時に「ログファイル」と「スナップショット 1 枚」、

1・2 回目のアラーム維持期間経過後に「スナップショット 1 枚ずつ(計 2 枚)」、

3 回目のアラームの途中でイベントが終了し、アラーム維持期間経過後に「最後のスナップショット 1 枚」

名前	日付時刻	種類	サイズ
SENSOR1_20200221111800.txt	2020/04/23 10:20	テキストドキュメント	1 KB
SENSOR1_20200221111800_127.jpg	2020/04/23 10:20	JPG ファイル	34 KB
SENSOR1_20200221111810_195.jpg	2020/04/23 10:20	JPG ファイル	30 KB
SENSOR1_20200221111820_120.jpg	2020/04/23 10:20	JPG ファイル	28 KB
SENSOR1_20200221111830_140.jpg	2020/04/23 10:20	JPG ファイル	29 KB

➤ エリアと感度

[エリアと感度]タブを開き、モーション検出エリアと感度を設定します。

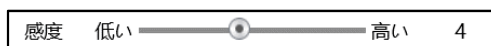


モーション検出エリアの設定

- (1) **エリアを描く** をクリックし、[追加]を選択してディスプレイ上でマウスをドラッグすると検出エリアを描画できます。[削除]を選択して検出エリア上でマウスをドラッグすると、検出エリアを一部分消去できます。



- (2) **作図終了** をクリックすると、検出エリアの描画を終了します。
- (3) **全領域を選択** をクリックすると、全領域が検出エリアとなります。**すべてクリア** をクリックすると、検出エリアがすべて消去されます。**反転領域反転** をクリックすると、検出エリアと未検出エリアが反転します。
- (4) 感度を設定します。数値が大きいほど感度は高くなります。



- (5) **保存** をクリックし、検出エリアを保存します。

➤ スケジュール選択

[スケジュール選択]タブを開き、モーション検出のスケジュールを設定します。

スケジュールの設定方法

◆ 一週間の日程

日曜日～土曜日の一週間のスケジュールを設定します。

削除 : モーション検出を無効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(白)

追加 : モーション検出を有効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(緑)

手動入力 : [削除]または[追加]を選択してから、タイムライン右下の[手動入力]をクリックし、時間帯を設定します。

◆ 休日設定とスケジュール

日付を指定してスケジュールを設定します。

日付を指定し、**追加** をクリックします。その後、タイムラインでスケジュールを設定して保存します。

削除するときは、日付を選択してから **削除** をクリックします。

4.4.2 異常

異常アラーム関連のパラメータ、連動アラームを設定します。

➤ SD カードフル

[SD カードフル]タブを開き、SD カードの容量が一杯になったときのアラームを設定します。

設定ホーム ▶ アラーム設定 ▶ 異常

SDカードフル SDカードエラー ipアドレスの競合が検出されました。 LANケーブル接続不良

☒ 有効

アラーム維持期間 20秒

連携するアラーム出力

☐ アラーム接点出力

☐ メールを送信

☐ FTPファイル転送

保存

表示	説明
有効	SD カードの容量が一杯になったときに通知する場合は、チェックを入れます。
アラーム維持時間	アラームの維持時間を設定します。 3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。
連携するアラーム出力	SD カードフルでは、以下の 3 つのアラームを設定できます。 アラーム接点出力、メールを送信、FTP ファイル転送 ※各アラームの説明は、4.4.1 節の 連携するアラーム出力 を参照してください。
保存	設定を保存します。

➤ SD カードエラー

[SD カードエラー]タブを開き、SD カードへの書き込みにエラーが生じたときのアラームを設定します。

設定ホーム ▶ アラーム設定 ▶ 異常

SDカードフル SDカードエラー ipアドレスの競合が検出されました。 LANケーブル接続不良

☒ 有効

アラーム維持期間 20秒 ▼

連携するアラーム出力

☐ アラーム接点出力

☐ メールを送信

☐ FTPファイル転送

保存

表示	説明
有効	SD カードへの書き込みにエラーがあること通知する場合は、チェックを入れます。
アラーム維持時間	アラームの維持時間を設定します。 3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。
連携するアラーム出力	SD カードエラーでは、以下の 3 つのアラームを設定できます。 アラーム接点出力、メールを送信、FTP ファイル転送 ※各アラームの説明は、4.4.1 節の 連携するアラーム出力 を参照してください。
保存	設定を保存します。

➤ IP アドレスの競合が検出されました

[IP アドレスの競合が検出されました。]タブを開き、IP アドレスが競合したときのアラームを設定します。

設定ホーム ▶ アラーム設定 ▶ 異常

SDカードフル SDカードエラー **ipアドレスの競合が検出されました。** LANケーブル接続不良

☒ 有効

アラーム維持期間 20秒 ▼

連携するアラーム出力

☐ アラーム接点出力

保存

表示	説明
有効	IP アドレスの競合を検出されたとき通知する場合は、チェックを入れます。
アラーム維持時間	アラームの維持時間を設定します。 3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。
連携するアラーム出力	IP アドレスの競合エラーでは、以下のアラームを設定できます。 アラーム接点出力 ※各アラームの説明は、4.4.1 節の 連携するアラーム出力 を参照してください。
保存	設定を保存します。

➤ LAN ケーブル接続不良

[LAN ケーブル接続不良]タブを開き、ネットワーク接続にエラーが生じたときのアラームを設定します。

設定ホーム ▶ アラーム設定 ▶ 異常

SDカードフル SDカードエラー ipアドレスの競合が検出されました。 LANケーブル接続不良

☒ 有効

アラーム維持期間 20秒 ▼

連携するアラーム出力

☐ アラーム接点出力

保存

表示	説明
有効	LAN ケーブル接続不良を通知する場合は、チェックを入れます。
アラーム維持時間	アラームの維持時間を設定します。 3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。
連携するアラーム出力	LAN 接続不良エラーでは、以下のアラームを設定できます。 アラーム接点出力 ※各アラームの説明は、4.4.1 節の 連携するアラーム出力 を参照してください。
保存	設定を保存します。

4.4.3 アラーム入力

センサーアラームの関連パラメータ、連動アラームを設定します。

設定ホーム ▶ アラーム設定 ▶ アラーム入力

アラーム設定

スケジュール選択

☒ 有効

接点形式 N.O. ▼

アラーム維持期間 30秒 ▼

センサー名

連携するアラーム出力

☐ アラーム接点出力

☐ 写真をSDカードに保存

☐ SDカード録画

☐ メールを送信

☐ FTPファイル転送

保存

表示	説明
有効	アラーム入力があるときに通知する場合は、チェックを入れます。
接点形式	接点形式を選択します。 N.O. : A 接点。通常 = OFF N.C. : B 接点。通常 = ON
アラーム維持時間	アラームの維持時間を設定します。 3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。
センサー名	表示するセンサー名を設定します。
連携するアラーム出力	アラーム入力では、以下の 5 つのアラームを設定できます。 アラーム接点出力、写真を SD カードに保存、SD カード録画、メールを送信、FTP ファイル転送 ※各アラームの説明は、4.4.1 節の 連携するアラーム出力 を参照してください。
保存	設定を保存します。

➤ スケジュール選択

[スケジュール選択]は、4.4.1 節の[「スケジュール選択」](#)を参照してください。

4.4.4 アラーム接点出力

センサーアラームの出力についての関連パラメータを設定します。次の4つのアラーム出力モードから選択します。アラーム連動、手動操作、昼/夜の切替えとの連動、設定された時間で実行。

➤ アラーム連動

イベントの検出(モーション検出やラインクロスなど)に連動して、アラームを出力します。

アラーム出力を行う場合、各イベントの設定で[アラーム接点出力]を有効にする必要があります。

設定ホーム ▶ アラーム設定 ▶ アラーム接点出力

アラーム出力モード	アラーム連動 ▼
アラーム出力名	alarmOut1
アラーム維持期間	20秒 ▼
接点形式	N.O. ▼

保存

表示	説明
アラーム出力モード	アラーム連動を選択します。
アラーム出力名	アラーム出力名を設定します。 例：alarmOut1
アラーム維持期間	アラームの維持時間を設定します。 イベントのアラーム維持時間が終了した後の、アラーム出力によるアラーム持続時間を設定します。
接点形式	アラームタイプを選択します。 N.O.：A 接点。通常＝OFF N.C.：B 接点。通常＝ON
保存	設定を保存します。

➤ 手動操作

手動でアラーム接点出力の ON/OFF を操作します。

設定ホーム ▶ アラーム設定 ▶ アラーム接点出力

アラーム出力モード

手動操作 ▼

接点形式

N.O. ▼

手動操作

ON

OFF

保存

表示	説明
アラーム出力モード	手動操作を選択します。
接点形式	アラームタイプを選択します。 N.O. : A 接点。通常 = OFF N.C. : B 接点。通常 = ON
手動操作	アラームの ON または OFF を手動で切り替えます。 ※カメラ内部でリレーの動作音が確認できます。
保存	設定を保存します。

➤ 昼/夜の切り替えとの連動

カメラが昼間モードまたは夜モードに切り替わったときに、アラームを出力します。

設定ホーム ▶ アラーム設定 ▶ アラーム接点出力

アラーム出力モード

昼/夜の切り替えとの連動 ▼

接点形式

N.C. ▼

昼間専用

OFF ▼

夜

OFF ▼

保存

表示	説明
アラーム出力モード	昼/夜の切り替えとの連動を選択します。
接点形式	アラームタイプを選択します。 N.O. : A 接点。通常 = OFF N.C. : B 接点。通常 = ON
昼	昼モードの時に、アラームを ON または OFF にするのか選択します。
夜	夜モードの時に、アラームを ON または OFF にするのか選択します。
保存	設定を保存します。

➤ 設定された時間で実行

指定した時間にアラームを ON にします。

設定ホーム ▶ アラーム設定 ▶ アラーム接点出力

アラーム出力モード	<div>設定された時間で実行 ▼</div>
接点形式	<div>N.C. ▼</div>

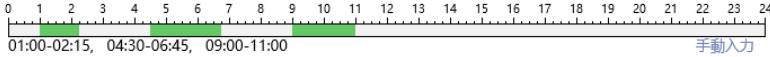
☐ 削除 ☒ 追加

時間範囲

0
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24

手動入力

保存

表示	説明
アラーム出力モード	設定された時間で実行を選択します。
接点形式	アラームタイプを選択します。 N.O. : A 接点. 通常 = OFF N.C. : B 接点. 通常 = ON
時間範囲	<p>緑ラインのときに、アラームが ON になります。</p> <p>削除(OFF)/追加(ON)を選択してから、手動入力をクリックして時間を指定するか、マウスをドラッグして時間を設定します。</p> 
保存	設定を保存します。

4.4.5 アラームサーバ

アラームサーバを設定します。アラームが発生すると、アラームイベントをアラームサーバに転送します。

設定ホーム ▶ アラーム設定 ▶ アラームサーバ

サーバアドレス	<input type="text"/>
ポート	<input type="text" value="0"/>
ハートビート	無効にする <input type="button" value="▼"/>
ハートビート間隔	<input type="text" value="30"/> 秒

OK

ハートビートとは、カメラが正常に動作していることを通知すること。また、通知の一定間隔を設定します。

表示	説明
サーバアドレス	アラームサーバ（NVMS-2.0）のアドレスを設定します。
ポート	アラームサーバ（NVMS-2.0）のポート番号を設定します。
ハートビート	カメラが正常に動作していることを通知します。
ハートビート間隔	ハートビートの通知間隔を設定します。
OK	設定を保存します。

4.4.6 Smart Tracking

カメラの追尾機能についての関連パラメータを設定します。

設定ホーム ▶ アラーム設定 ▶ smartTracking

設定

trackingMode

autoTracking ▼

stopTrackingTime ☒

80 (s)

表示	説明
tackingMode	スマートトラッキング のモードを設定します。 autoTracking : 自動追尾 manualTracking : 手動追尾
stopTrackingTime	チェックするとスマートトラッキングを終了する時間を設定できます。 終了するとカメラは元の位置に戻ります。

自動追尾モードを有効にするには、PTZ 操作を無効（ロック）する必要があります。イベント設定のエリア設定メニューで「ロック」をクリックして「ロックを解除」と表示させてから保存します。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ ラインクロス

検出設定 エリア スケジュール選択

HIC-SP200X25

2023/04/14 20:09:33

検出ライン

1 ▼

検出方向

A->B ▼

▶ ▲ ◀ ◻ ▶ ◀ ◻ ▶ ◀ ◻ ▶ ◀ ◻ ▶

◀ ◻ ▶ ◀ ◻ ▶ ◀ ◻ ▶ ◀ ◻ ▶ ◀ ◻ ▶

◀ ◻ ▶ ◀ ◻ ▶ ◀ ◻ ▶ ◀ ◻ ▶ ◀ ◻ ▶

◀ ◻ ▶ ◀ ◻ ▶ ◀ ◻ ▶ ◀ ◻ ▶ ◀ ◻ ▶

+

ロック

(ロック状態ではPTZコントロールは使用できません)

エリアを描く

クリア

保存

4.5 イベント設定

妨害検知、ラインクロス、領域に入る、領域を出る、ターゲットカウント、エリア侵入検知、顔の比較、などのサブメニューがあります。

注：複数の機能を同時に設定できません。

<div>  システム設定 基本情報 日付と時間 ローカル設定 ストレージ </div> <div>  画像設定 画質調整 映像/音声 OSD </div> <div>  PTZコントロール PTZ設定 PTZ設定の復元 PTZ機能 </div> <div>  アラーム設定 モーション検出 異常 アラーム入力 アラーム接点出力 アラームサーバ smartTracking </div> <div>  イベント設定 妨害検知 ラインクロス 領域に入る 領域を出る ターゲットカウント エリア侵入検知 顔の比較 </div> <div>  ネットワーク設定 TCP/IP ポート 追加... </div> <div>  セキュリティ設定 ユーザー オンラインユーザー ブロックと許可リスト セキュリティー管理 </div> <div>  メンテナンス バックアップと復元 再起動 アップグレード 操作ログ </div>	<div>設定ホーム ▶ イベント設定</div> <div> イベント設定 <ul style="list-style-type: none">  妨害検知 カメラ妨害を検知します (向きを変える、ピンボケ、レンズに物をかざすなど)  ラインクロス 指定したラインを指定方向に超えたことを検知します  領域に入る 指定されたエリアに進入する人と車両のフロー情報を計算します。  領域を出る 指定されたエリアを出る人と車両のフロー情報を計算します。  ターゲットカウント ターゲットカウントは、ラインを横切る人と車両の数を数えます。  エリア侵入検知 指定した領域に外部から侵入したことを検知します。  顔の比較 映像の中の顔を検出して追跡します。 </div>
---	---

HIC-SP200TX32 の画面です。

4.5.1 妨害検知

カメラへの妨害を検知します。（カメラの向きが急に変わる。ピンボケになる。カメラを隠す。）

➤ 検出設定

[検出設定]タブを開き、妨害検知によるアラームを設定します。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ 妨害検知

☒ 検出設定
 ☐ 感度

☐ 急激なシーン変化検出

☐ 不鮮明画像（ピンボケ）検出

☐ 映像妨害検出

アラーム維持期間

連携するアラーム出力

☐ アラーム接点出力







☐ 写真をSDカードに保存

☐ SDカード録画

☐ メールを送信

☐ FTPファイル転送

保存

表示	説明
急激なシーン変化検出	急激なシーン変化検出を有効にする場合は、チェックを入れます。 有効に設定したとき、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。 カメラの向きが急に変わるなどを検出すると、アイコン  は赤く点滅します。
不鮮明画像 （ピンボケ）検出	不鮮明画像検出を有効にする場合は、チェックを入れます。 有効に設定したとき、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。 ピンボケなどを検出すると、アイコン  は赤く点滅します。
映像妨害 （隠す、塞ぐ）検出	映像妨害検出を有効にする場合は、チェックを入れます。 有効に設定したとき、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。 カメラが隠されるなどを検出すると、アイコン  は赤く点滅します。
アラーム維持時間	アラームの持続時間を設定します。 3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。

連携するアラーム出力	<p>以下の 5 つのアラームを設定できます。</p> <p>アラーム接点出力、写真を SD カードに保存、SD カード録画、メールを送信、FTP ファイル転送</p> <p>※各アラームの説明は、4.4.1 節の連携するアラーム出力を参照してください。</p>
保存	設定を保存します。

➤ 感度

検出感度を設定します。機能を持つカメラのみ有効です。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ 妨害検知

検出設定 感度

感度

保存

表示	説明
感度	妨害検知する感度を設定します。値が大きいほど感度は高くなります。
保存	設定を保存します。

4.5.2 ラインクロス（ライン越え検知）

設定したラインを検出対象が指定方向に通過したことを検知します。

➤ 検出設定

[検出設定]タブを開き、ラインクロスによるアラームを設定します。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ ラインクロス

検出設定
エリア
スケジュール選択

☒ 有効

☐ パノラマ写真保存

☐ ターゲット切り抜き保存

検出対象

☒ 人間
感度
50

☒ 車両
感度
50

☒ オートバイ/自転車
感度
50

アラーム維持期間
20秒

連携するアラーム出力

☐ アラーム接点出力

☐ トリガートラック



☐ 写真をSDカードに保存

☐ SDカード録画

☐ メールを送信

☐ FTPファイル転送

保存

表示	説明
有効	ラインクロスを有効にする場合は、チェックを入れます。 有効に設定したとき、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。 ラインクロスを検出すると、アイコン  は赤く点滅します。
パノラマ写真保存	ラインクロス検出時に全景（第 1 ストリーム）をキャプチャします。 キャプチャ画像はローカル PC※1 または SD カード※2 に保存されます。
ターゲット切り抜きを保存	ラインクロスで検出した全景写真からターゲット部分を切り抜いた写真をキャプチャします。 ターゲットの写真はローカル PC※1 または SD カード※2 に保存されます。

検出対象	<p>ラインクロスを検出する対象(ターゲット)を選択し、感度を設定します。</p> <p>※感度設定について</p> <p>設定したイベント検出の感度です。感度の数値を小さくすると検出対象を検出しにくくなります。感度の数値を大きくすると検出しやすくなります。</p> <p>ライブ画面上では、以下のように表示されます。</p> <p><u>通常時</u></p> <p>人間：緑色枠</p> <p>車両：紫色枠</p> <p>オートバイ/自転車：水色枠</p> <p>設定したライン：青色線</p> <p><u>検出時</u></p> <p>ターゲット：黄色枠</p> <p>ライン：赤色線</p>
アラーム維持期間	<p>アラームの持続時間を設定します。</p> <p>3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。</p> <p>持続している間は、ライブ画面上でアイコンが赤く点滅しています。</p>
連携するアラーム出力	<p>以下の 6 つのアラームを設定できます。</p> <p>アラーム接点出力、トリガートラック、写真を SD カードに保存、SD カード録画、メールを送信、FTP ファイル転送</p> <p>※各アラームの説明は、4.4.1 節の連携するアラーム出力を参照してください。</p>
保存	設定を保存します。

※1：ローカル PC に保存する場合は、「4.1.3 **ローカル設定**」の「ローカルスマート静止画保存ストレージ」を有効(ON)にしてください。

写真は、《 静止画保存のパス > picture > IP アドレス > PEA > 日付 》に保存されます。



※2：SD カードに保存する場合は、[連携するアラーム出力](#)の「写真を SD カードに保存」を有効にする必要があります。

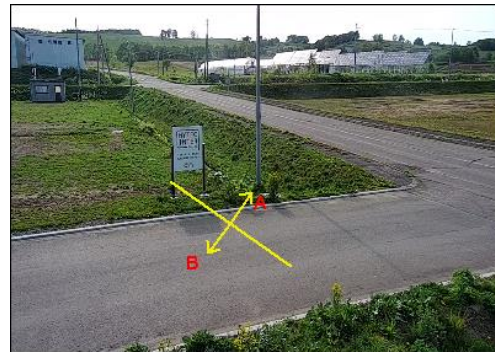
➤ エリア

[エリア]タブを開き、ラインクロスを検出エリアを設定します。

表示	説明
検出ライン	検出ラインを選択します。検出ラインは最大 4 パターン設定できます。
検出方向	設定した検出ラインを通過する方向を設定します。 A → B、B → A、A ⇄ B
PTZ アイコン群	検出ラインを描画する前にカメラの向きやズームを操作して適切な画角に設定します。
ロック/ロックを解除	トリガートラックを使用するときはロックしてください。
エリアを描く/作図終了	検出ラインを画面上に描画します。
クリア	検出ラインを削除します。
保存	設定を保存します。

ラインクロスのライン設定

- ① 検出ラインと検出方向を選択します。
- ② **エリアを描く** をクリックし、ディスプレイ上でドラッグし検出ラインを引きます。
- ③ **作図終了** をクリックすると、検出ラインの描画を終了します。
- ④ **クリア** をクリックすると、検出ラインが削除されます。
- ⑤ **保存** をクリックし、検出ラインを保存します。



➤ スケジュール選択

[スケジュール選択]タブを開き、ラインクロス検出のスケジュールを設定します。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ ラインクロス

検出設定 エリア **スケジュール選択**

○ 削除 ● 追加

一週間の日程

日	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
日	00:00-24:00 手動入力																								
月	00:00-24:00 手動入力																								
火	00:00-24:00 手動入力																								
水	00:00-24:00 手動入力																								
木	00:00-24:00 手動入力																								
金	00:00-24:00 手動入力																								
土	00:00-24:00 手動入力																								

休日設定とスケジュール

日付 05-16 追加 削除

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

00:00-24:00 手動入力

保存

スケジュールの設定方法

◆ 一週間の日程

日曜日～土曜日の一週間のスケジュールを設定します。

削除 : ラインクロス検出を無効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(白)

追加 : ラインクロス検出を有効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(緑)

手動入力 : [削除]または[追加]を選択してから、タイムライン右下の[手動入力]をクリックし、時間帯を設定します。

◆ 休日設定とスケジュール

日付を指定してスケジュールを設定します。

日付を指定し、追加 をクリックします。その後、タイムラインでスケジュールを設定して保存します。

削除するときは、日付を選択してから 削除 をクリックします。

4.5.3 領域に入る（エリア侵入検知）

指定したエリアに侵入する人や車両を検出します。

※設定したエリアの枠を跨ぐとき検出します。設定したエリアに入ってしまった後は検出しません。

➤ 検出設定

[検出設定]タブを開き、指定領域に入ったときのアラームを設定します。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ 領域に入る

検出設定
エリア
スケジュール選択

☒ 有効

☐ パノラマ写真保存

☐ ターゲット切り抜き保存

検出対象

☒ 人間
感度
50

☒ 車両
感度
50

☒ オートバイ/自転車
感度
50

アラーム維持期間
20秒

連携するアラーム出力

☐ アラーム接点出力

☐ トリガートラック



☐ 写真をSDカードに保存

☐ SDカード録画

☐ メールを送信

☐ FTPファイル転送

保存

表示	説明
有効	領域侵入による検出を有効にする場合は、チェックを入れます。 有効に設定したとき、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。 領域侵入を検出すると、アイコン  は赤く点滅します。
パノラマ写真保存	領域侵入を検出時に全景（第 1 ストリーム）をキャプチャします。 キャプチャ画像はローカル PC※1 または SD カード※2 に保存されます。
ターゲット切り抜き保存	領域侵入を検出時に全景写真からターゲット部分を切り抜いた写真をキャプチャします。 ターゲットの写真はローカル PC※1 または SD カード※2 に保存されます。

検出対象	<p>領域侵入を検出する対象(ターゲット)を選択し、感度を設定します。</p> <p>※感度設定について 設定したイベント検出の感度です。感度の数値を小さくすると検出対象を検出しにくくなります。感度の数値を大きくすると検出しやすくなります。</p> <p>ライブ画面上では、以下のように表示されます。</p> <p><u>通常時</u> 人間：緑色枠 車両：紫色枠 オートバイ/自転車：水色枠 設定した枠：青色枠</p> <p><u>検出時</u> ターゲット：黄色枠 侵入エリア：赤色枠</p>
アラーム維持時間	<p>アラームの持続時間を設定します。</p> <p>3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。</p> <p>持続している間は、ライブ画面上でアイコンが赤く点滅しています。</p>
連携するアラーム出力	<p>以下の 6 つのアラームを設定できます。</p> <p>アラーム接点出力、トリガートラック、写真を SD カードに保存、SD カード録画、メールを送信、FTP ファイル転送</p> <p>※各アラームの説明は、4.4.1 節の連携するアラーム出力を参照してください。</p>
保存	設定を保存します。

※1：ローカル PC に保存する場合は、「4.1.3 ローカル設定」の「ローカルスマート静止画保存ストレージ」を有効(ON)にしてください。

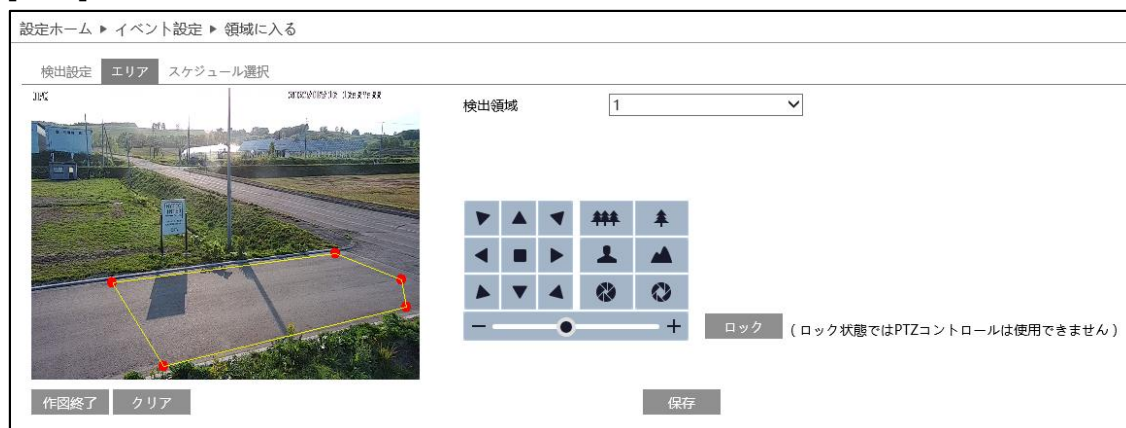
写真は、《 静止画保存のパス > picture > IP アドレス > PEA > 日付 》に保存されます。



※2：SD カードに保存する場合は、[連携するアラーム出力](#)の「写真を SD カードに保存」を有効にする必要があります。

➤ エリア

[エリア]タブを開き、領域侵入の検出エリアを描画します。



表示	説明
検出領域	検出領域を選択します。検出領域は最大 4 パターン設定できます。
PTZ アイコン群	検出エリアを描画する前にカメラの向きやズームを操作して適切な画角に設定します。
ロック/ロックを解除	トリガートラックを使用するときはロックしてください。
エリアを描く/作図終了	検出エリアを画面上に描画します。 マウスで画面上にクリックすると赤い点が表示されます。囲むようにクリックします。
クリア	検出エリアを削除します。
保存	設定を保存します。

領域に入る検出のエリア設定

- ① 検出領域を選択します。最大 4 つ設定できます。
- ② **エリアを描く** をクリックし、ディスプレイ上でクリックし赤丸を 4～6 つ置き、線で繋ぎ領域侵入エリアを作成します。
- ③ **作図終了** をクリックすると、検出エリアの描画を終了します。
- ④ **クリア** をクリックすると、検出エリアが削除されます
- ⑤ **保存** をクリックし、検出エリアを保存します。



➤ スケジュール選択

[スケジュール選択]タブを開き、領域侵入のスケジュールを設定します。

スケジュールの設定方法

◆ 一週間の日程

日曜日～土曜日の一週間のスケジュールを設定します。

削除 : 領域侵入を無効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(白)

追加 : 領域侵入を有効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(緑)

手動入力 : [削除]または[追加]を選択してから、タイムライン右下の[手動入力]をクリックし、時間帯を設定します。

◆ 休日設定とスケジュール

日付を指定してスケジュールを設定します。

日付を指定し、**追加** をクリックします。その後、タイムラインでスケジュールを設定して保存します。

削除するときは、日付を選択してから **削除** をクリックします。

4.5.4 領域を出る（エリア退出検知）

指定したエリアから出る人や車両を検知します。

※設定したエリアの枠を跨ぐとき検出します。設定したエリアから出てしまった後は検出しません。

➤ 検出設定

[検出設定]タブを開き、指定領域から出るときのアラームを設定します。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ 領域を出る

検出設定 エリア スケジュール選択

☒ 有効

☐ パノラマ写真保存

☐ ターゲット切り抜き保存

検出対象

☒ 人間
 感度

50

☒ 車両
 感度

50

☒ オートバイ/自転車
 感度

50

アラーム維持期間

20秒

連携するアラーム出力

☐ アラーム接点出力

☐ トリガートラック



☐ 写真をSDカードに保存

☐ SDカード録画

☐ メールを送信

☐ FTPファイル転送

保存

表示	説明
有効	領域退出による検出を有効にする場合は、チェックを入れます。 有効に設定したとき、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。 領域退出を検出すると、アイコン  は赤く点滅します。
パノラマ写真保存	領域退出を検出時に全景（第 1 ストリーム）をキャプチャします。 キャプチャ画像はローカル PC※1 または SD カード※2 に保存されます。
ターゲット切り抜き保存	領域退出を検出時に全景写真からターゲット部分を切り抜いた写真をキャプチャします。 ターゲットの写真はローカル PC※1 または SD カード※2 に保存されます。

検出対象	<p>領域退出を検出する対象(ターゲット)を選択し、感度を設定します。</p> <p>※感度設定について 設定したイベント検出の感度です。感度の数値を小さくすると検出対象を検出しにくくなります。感度の数値を大きくすると検出しやすくなります。</p> <p>ライブ画面上では、以下のように表示されます。</p> <p><u>通常時</u> 人間：緑色枠 車両：紫色枠 オートバイ/自転車：水色枠 設定した枠：青色枠</p> <p><u>検出時</u> ターゲット：黄色枠 侵入エリア：赤色枠</p>
アラーム維持時間	<p>アラームの持続時間を設定します。</p> <p>3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。</p> <p>持続している間は、ライブ画面上でアイコンが赤く点滅しています。</p>
連携するアラーム出力	<p>以下の 5 つのアラームを設定できます。</p> <p>アラーム接点出力、トリガートラック、写真を SD カードに保存、SD カード録画、メールを送信、FTP ファイル転送</p> <p>※各アラームの説明は、4.4.1 節の連携するアラーム出力を参照してください。</p>
保存	設定を保存します。

※1：ローカル PC に保存する場合は、「4.1.3 ローカル設定」の「ローカルスマート静止画保存ストレージ」を有効(ON)にしてください。

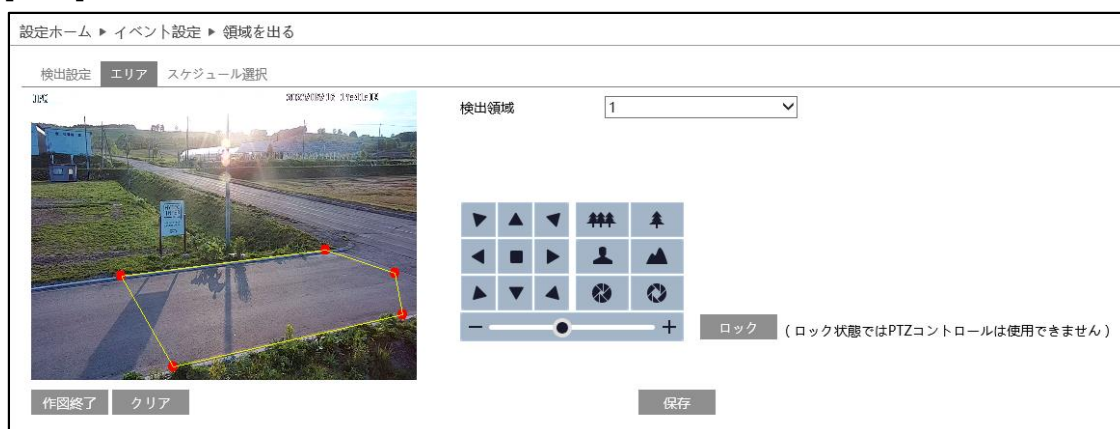
写真は、《 静止画保存のパス > picture > IP アドレス > PEA > 日付 》に保存されます。



※2：SD カードに保存する場合は、[連携するアラーム出力](#)の「写真を SD カードに保存」を有効にする必要があります。

➤ エリア

[エリア]タブを開き、領域退出の検出エリアを描画します。



表示	説明
検出領域	検出領域を選択します。検出領域は最大 4 パターン設定できます。
PTZ アイコン群	検出エリアを描画する前にカメラの向きやズームを操作して適切な画角に設定します。
ロック/ロックを解除	トリガートラックを使用するときはロックしてください。
エリアを描く/作図終了	検出エリアを画面上に描画します。 マウスで画面上にクリックすると赤い点が表示されます。囲むようにクリックします。
クリア	検出エリアを削除します。
保存	設定を保存します。

領域退出の検出のエリア設定

- ① 検出領域を選択します。最大 4 つ設定できます。
- ② **エリアを描く** をクリックし、ディスプレイ上でクリックし赤丸を 4～6 つ置き、線で繋ぎ退出検知エリアを作成します。
- ③ **作図終了** をクリックすると、検出エリアの描画を終了します。
- ④ **クリア** をクリックすると、検出エリアが削除されます
- ⑤ **保存** をクリックし、検出エリアを保存します。



➤ スケジュール選択

[スケジュール選択]タブを開き、領域退出のスケジュールを設定します。

スケジュールの設定方法

◆ 一週間の日程

日曜日～土曜日の一週間のスケジュールを設定します。

削除 : 退出検知を無効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(白)

追加 : 退出検知を有効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(緑)

手動入力 : [削除]または[追加]を選択してから、タイムライン右下の[手動入力]をクリックし、時間帯を設定します。

◆ 休日設定とスケジュール

日付を指定してスケジュールを設定します。

日付を指定し、**追加** をクリックします。その後、タイムラインでスケジュールを設定して保存します。

削除するときは、日付を選択してから **削除** をクリックします。

4.5.5 ターゲットカウント（ライン通過カウント）

設定したラインを通過する人や車両、オートバイ・自転車数をカウントします。

➤ 検出設定

[検出設定]タブを開き、設定したラインを通過する人や車両、オートバイ・自転車のアラーム設定をします。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ ターゲットカウント

検出設定

エリア

スケジュール選択

☒ 有効

☐ パノラマ写真保存

☐ ターゲット切り抜き保存

検出対象

☒ 人間 感度 50

☒ 車両 感度 50

☒ オートバイ/自転車 感度 50



カウントリセット


設定された時間で実行 オフ ▼

マニュアル

リセット

保存

表示	説明
有効	ラインの通過によるカウントを有効にする場合は、チェックを入れます。 有効に設定したとき、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。 ライン通過を検出すると、アイコン  は赤く点滅します。
パノラマ写真保存	ラインの通過を検出時に全景（第 1 ストリーム）をキャプチャします。 キャプチャ画像はローカル PC※1 または SD カード※2 に保存されます。
ターゲット切り抜き保存	ラインの通過を検出時に全景写真からターゲット部分を切り抜いた写真をキャプチャします。 ターゲットの写真はローカル PC※1 または SD カード※2 に保存されます。
検出対象	ラインの通過を検出する対象(ターゲット)を選択し、感度を設定します。 ※感度設定について 設定したイベント検出の感度です。感度の数値を小さくすると検出対象を検出しにくくなります。感度の数値を大きくすると検出しやすくなります。 ライブ画面上では、以下のように表示されます。 <u>通常時</u>

	人間：緑色枠 車両：紫色枠 オートバイ/自転車：水色枠 設定した枠：青色枠 <u>検出時</u> ターゲット：黄色枠 エリア侵入：赤色枠
カウントリセット	[設定された時間で実行]で、カウントリセットの間隔を設定します。 毎日：時間を指定します。 毎週：曜日(日～土)と時間を指定します。 毎月：日にち(1～31)と時間を指定します。 オフ：カウントリセットはしません。 マニュアル：  をクリックして、手動でリセットを行います。
保存	設定を保存します。

※1：ローカル PC に保存する場合は、「4.1.3 ローカル設定」の「ローカスマート静止画保存ストレージ」を有効(ON)にしてください。

写真は、《 静止画保存のパス > picture > IP アドレス > PEA > 日付 》に保存されます。



※2：SD カードに保存する場合は、[連携するアラーム出力](#)の「写真を SD カードに保存」を有効にする必要があります。

➤ エリア

[エリア]タブを開き、ターゲットカウントの検出ラインを描画します。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ ターゲットカウント

検出設定 **エリア** スケジュール選択



検出ライン

 検出方向

☒ 統計

作図終了 クリア 保存


表示	説明
検出ライン	検出ラインを選択します。検出ラインは最大 1 パターン設定できます。
検出方向	設定した検出ラインを通過する方向を設定します。 A → B、B → A
統計	画面に統計情報を表示する場合はチェックします。
エリアを描く/作図終了	検出ラインを画面上に描画します。
クリア	設定した検出ラインを削除します。
保存	設定を保存します。

ターゲットカウントのライン設定

- ① 検出ラインは 1 つのみ設定できます。
 ラインに対する A エリアと B エリアの検出方向を設定します。
 A->B : A から B を Entrance (入る)、B から A を Exit (出る) でカウントします。
 A<-B : A から B を Exit (出る)、B から A を Entrance (入る) でカウントします。



- ② **エリアを描く** をクリックし、ディスプレイ上でドラッグし検出ラインを作成します。
- ③ **作図終了** をクリックすると、検出ラインの描画を終了します。
- ④ **クリア** をクリックすると、検出ラインが削除されます。

- ⑤ Entrance（入る）とExit（出る）のカウンタを表示します。右上の赤枠をドラッグすると表示位置を変更できます。
- ⑥  をクリックし、検出ラインを保存します。

➤ スケジュール選択

[スケジュール選択]タブを開き、ターゲットカウントのスケジュールを設定します。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ ターゲットカウント

検出設定 エリア **スケジュール選択**

○ 削除 ● 追加

一週間の日程

日 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

月 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

火 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

水 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

木 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

金 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

土 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

休日設定とスケジュール

日付 05-18 追加 削除

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

保存

スケジュールの設定方法

◆ 一週間の日程

日曜日～土曜日の一週間のスケジュールを設定します。

削除 : ターゲットカウントを無効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(白)

追加 : ターゲットカウントを有効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(緑)

手動入力 : [削除]または[追加]を選択してから、タイムライン右下の[手動入力]をクリックし、時間帯を設定します。

◆ 休日設定とスケジュール

日付を指定してスケジュールを設定します。

日付を指定し、**追加** をクリックします。その後、タイムラインでスケジュールを設定して保存します。

削除するときは、日付を選択してから **削除** をクリックします。

4.5.6 エリア侵入検知（エリア内活動検知）

指定したエリアに侵入した人や車両を検知します。

※設定したエリアの枠の中で検出対象が活動してるあいだ検出します。設定したエリアから出てしまった後は検出しません。

➤ 検出設定

[検出設定]タブを開き、指定したエリアに侵入したときのアラームを設定します。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ エリア侵入検知

検出設定
エリア
スケジュール選択

☒ 有効

☐ パノラマ写真保存

☐ ターゲット切り抜き保存

検出対象

☒ 人間
感度
50

☒ 車両
感度
50

☒ オートバイ/自転車
感度
50

アラーム維持期間
10秒

連携するアラーム出力

☐ アラーム接点出力

☐ トリガートラック



☐ 写真をSDカードに保存

☐ SDカード録画

☐ メールを送信

☐ FTPファイル転送

保存

表示	説明
有効	<p>エリア侵入による検出を有効にする場合は、チェックを入れます。</p> <p>有効に設定したとき、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。</p> <p>エリア侵入を検出すると、アイコン  は赤く点滅します。</p>
パノラマ写真保存	<p>エリア侵入による検出時に全景（第1ストリーム）をキャプチャします。</p> <p>キャプチャ画像はローカル PC※1 または SD カード※2 に保存されます。</p>

ターゲット切り抜き保存	<p>エリア侵入による検出時に全景写真からターゲット部分を切り抜いた写真をキャプチャします。</p> <p>ターゲットの写真はローカル PC※1 または SD カード※2 に保存されます。</p>
検出対象	<p>エリア侵入を検出する対象(ターゲット)を選択し、感度を設定します。</p> <p>※感度設定について</p> <p>設定したイベント検出の感度です。感度の数値を小さくすると検出対象を検出しにくくなります。感度の数値を大きくすると検出しやすくなります。</p> <p>ライブ画面上では、以下のように表示されます。</p> <p><u>通常時</u></p> <p>人間：緑色枠</p> <p>車両：紫色枠</p> <p>オートバイ/自転車：水色枠</p> <p>設定した枠：青色枠</p> <p><u>検出時</u></p> <p>ターゲット：黄色枠</p> <p>エリア侵入：赤色枠</p>
アラーム維持時間	<p>アラームの持続時間を設定します。</p> <p>3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。</p> <p>持続している間は、ライブ画面上でアイコンが赤く点滅しています。</p>
連携するアラーム出力	<p>以下の 6 つのアラームを設定できます。</p> <p>アラーム接点出力、トリガートラック、写真を SD カードに保存、SD カード録画、メールを送信、FTP ファイル転送</p> <p>※各アラームの説明は、4.4.1 節の連携するアラーム出力を参照してください。</p>
保存	<p>設定を保存します。</p>

※1：ローカル PC に保存する場合は、「4.1.3 **ローカル設定**」の「ローカルスマート静止画保存ストレージ」を有効(ON)にしてください。

写真は、《 静止画保存のパス > picture > IP アドレス > PEA > 日付 》に保存されます。



※2：SD カードに保存する場合は、[連携するアラーム出力](#)の「写真を SD カードに保存」を有効にする必要があります。

➤ エリア

[エリア]タブを開き、エリア侵入検知の検出エリアを描画します。



表示	説明
検出領域	検出領域を選択します。検出領域は最大 4 パターン設定できます。
PTZ アイコン群	検出エリアを描画する前にカメラの向きやズームを操作して適切な画角に設定します。
ロック/ロックを解除	トリガートラックを使用するときはロックしてください。
エリアを描く/作図終了	検出エリアを画面上に描画します。 マウスで画面上にクリックすると赤い点が表示されます。囲むようにクリックします。
クリア	検出エリアを削除します。
保存	設定を保存します。

エリア侵入検知のエリア設定

- ① 検出領域を選択します。最大 4 つ設定できます。
- ② **エリアを描く** をクリックし、ディスプレイ上でクリックし赤丸を 4～6 つ置き、線で繋ぎエリア侵入検出エリアを作成します。
- ③ **作図終了** をクリックすると、検出エリアの描画を終了します。
- ④ **クリア** をクリックすると、検出エリアが削除されます
- ⑤ **保存** をクリックし、検出エリアを保存します



➤ スケジュール選択

[スケジュール選択]タブを開き、エリア侵入検知のスケジュールを設定します。

スケジュールの設定方法

◆ 一週間の日程

日曜日～土曜日の一週間のスケジュールを設定します。

削除 : エリア侵入検知を無効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(白)

追加 : エリア侵入検知を有効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(緑)

手動入力 : [削除]または[追加]を選択してから、タイムライン右下の[手動入力]をクリックし、時間帯を設定します。

◆ 休日設定とスケジュール

日付を指定してスケジュールを設定します。

日付を指定し、**追加** をクリックします。その後、タイムラインでスケジュールを設定して保存します。

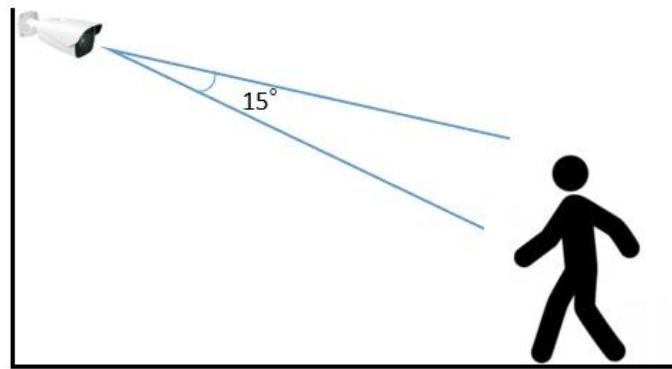
削除するときは、日付を選択してから **削除** をクリックします。

4.5.7 顔の比較

顔データベースの登録ができ、比較ができます。

カメラおよび周辺地域の構成要件

- ◆ カメラは、安定した十分な光源のある場所に設置すること。
- ◆ 設置高さは 2.0m～3.5m の範囲で、レンズの焦点距離と対象物の距離に応じて調整可能。
- ◆ カメラの俯角※1 は、15°以下でなければならない。



※1 俯角：水平方向に見下ろしたときの、検出可能な角度。

- ◆ 顔検出の精度を確保するため、左右方向に 30°以内、上下方向に 20°以内の顔のみ撮影されます。
- ◆ 混雑したシーン(空港、駅、広場など)、逆光のシーン、交差点などは撮影できません。

➤ 検出設定

[検出設定]タブを開き、指定したエリアで顔を検出したときのアラームを設定します。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ 顔の比較

検出設定 比較とリンク エリア 高度な設定 スケジュール選択 顔データベース管理

状態 ワーキング




☒ 有効

☐ 顔検出時に顔が含まれる写真全体をSDカードに保存する。
☐ 顔検出時に顔写真をSDカードに保存する。

アラーム維持期間 20秒

☐ 写真をSDカードに保存
☐ SDカード録画
☐ メールを送信
☐ FTPファイル転送

保存

表示	説明
状態	状態を表示します。
有効	<p>顔検出を有効にする場合は、チェックを入れます。</p> <p>有効に設定したとき、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。</p> <p>顔検出後に、アイコンは赤く  点滅します。また、右下の  で、検出された顔を確認することができます。</p>
顔検出時に顔が含まれる写真全体をSDカードに保存する	<p>顔検出時に全景（第1ストリーム）をキャプチャします。</p> <p>キャプチャ画像はローカル PC※1 または SD カード※2 に保存されます。</p>
顔検出時に顔写真をSDカードに保存する	<p>顔検出時に全景写真からターゲット部分を切り抜いた写真をキャプチャします。</p> <p>ターゲットの写真はローカル PC※1 または SD カード※2 に保存されます。</p>
アラーム維持時間	<p>アラームの持続時間を設定します。</p> <p>3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。</p> <p>持続している間は、ライブ画面上でアイコンが赤く点滅しています。</p>
連携するアラーム出力	<p>以下の4つのアラームを設定できます。</p> <p>写真をSDカードに保存、SDカード録画、メールを送信、FTPファイル転送</p>

	※各アラームの説明は、4.4.1 節の 連携するアラーム出力 を参照してください。
保存	設定を保存します。

※1：ローカル PC に保存する場合は、「4.1.3 ローカル設定」の「ローカルスマート静止画保存ストレージ」を有効(ON)にしてください。

写真は、《 静止画保存のパス > picture > IP アドレス > PEA > 日付 》に保存されます。



※2：SD カードに保存する場合は、[連携するアラーム出力](#)の「写真を SD カードに保存」を有効にする必要があります。

➤ 比較とリンク

検出エリアを設定します。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ 顔の比較

検出設定 **比較とリンク** エリア 高度な設定 スケジュール選択 顔データベース管理

☒ 重複排除期間 4秒

類似度の閾値 75 %

アラームリスト 許可リスト

アラームトリガーモード 顔のみ

☐ アラーム接点出力

保存

表示	説明
重複排除期間	設定された時間、繰り返し比較するのを禁止します。
類似度の閾値	撮影された顔画像と顔データベースに登録された顔の類似性が、設定した閾値を超えると、同一の顔として認識されアラームがトリガされます。数値を下げると認識しやすくなりますが、誤認識が増えます。数値を上げると認識率は下がりますが、同一顔の精度は上がります。
アラームリスト	アラームを発報するイベントを設定します。 ブロックリスト：顔データベースのブロックリストに登録されている人物を検出

	許可リスト : 顔データベースの許可リストに登録されている人物を検出 未登録者 : 顔データベースと一致しない人物を検出
アラームトリガーモード	顔の検出で発報します。
連携するアラーム出力	以下のアラームを設定できます。 アラーム接点出力 ※各アラームの説明は、4.4.1 節の 連携するアラーム出力 を参照してください。
保存	設定を保存します。

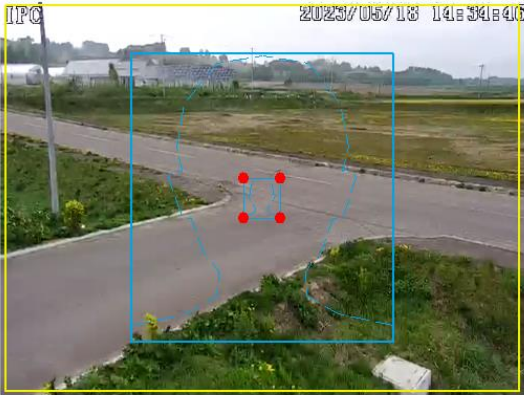
➤ エリア

[エリア]タブを開き、顔検出エリア（黄色枠）と顔の大きさを設定します。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ 顔の比較

検出設定 比較とリンク **エリア** 高度な設定 スケジュール選択 顔データベース管理

IPC 2023/05/18 14:34:40



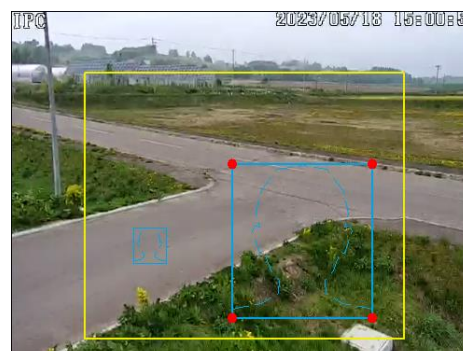
エリアを描く クリア ☒ 最小 7 % ☐ 最大 50 %

保存

表示	説明
エリアを描く/作図終了	顔検出エリアを画面上に描画します。 マウスで画面上をドラッグして描画します。最初は黄色枠が全体に設定されています。クリアを押して黄色枠を削除してから作成します。 (黄色枠の中で顔検出します。検出領域は 1 か所設定できます。)
クリア	検出エリアを削除します。
最小	検出する顔の最小サイズを設定します。(最小 3%)
最大	検出する顔の最大サイズを設定します。(最大 50%)
保存	設定を保存します。

顔検出エリアと検出する顔の大きさを設定

- ① **エリアを描く** をクリックし、ディスプレイ上に黄色の枠で顔検出エリアを作成します。検出エリアは 1 か所設定できます。
- ② **作図終了** をクリックすると、検出エリアの描画を停止します。
- ③ **クリア** をクリックすると、検出エリアが削除されます。
- ④ 次に顔の大きさの最小値と最大値を設定します。(設定範囲：3～50%)
 選択されている方は赤い点で表され、**エリアを描く** をクリックしたときは、赤い点をドラッグすることで大きさを調節できます。
- ⑤ **保存** をクリックし、検出エリアと顔の大きさを保存します。



高度な設定

顔検出に関する設定をします。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ 顔の比較

検出設定 比較とリンク エリア **高度な設定** スケジュール選択 顔データベース管理

アプリケーションシー セキュリティ監視

スナップショット間隔 30秒
 写真撮影数 3
 近接優先度の比較 OFF
 空き時間の比較 ON

保存

表示	説明
アプリケーションシーン	想定するシーンを選択します。 アクセスコントロール、セキュリティ監視、カスタマイズ カスタマイズでは、以降の 4 項目を設定できます。
スナップショット間隔	スナップショットを撮影する間隔を設定します。(0.3 秒～10 分)
写真撮影数	撮影枚数を設定します。スナップショット間隔で最大何枚の写真を撮影するか設定します。(1～65535)
近接優先度の比較	顔データベースでの類似度の比較を行います。
空き時間の比較	設定がない時間帯でも顔の比較を行うかどうかを設定します。

➤ スケジュール選択

[スケジュール選択]タブを開き、顔検出のスケジュールを設定します。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ 顔の比較

検出設定 比較とリンク エリア 高度な設定 **スケジュール選択** 顔データベース管理

○ 削除 ● 追加

一週間の日程

日 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

月 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

火 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

水 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

木 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

金 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

土 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

休日設定とスケジュール

日付 05-18 追加 削除

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

保存

スケジュールの設定方法

◆ 一週間の日程

日曜日～土曜日の一週間のスケジュールを設定します。

削除 : 顔検出を無効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(白)

追加 : 顔検出を有効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(緑)

手動入力 : [削除]または[追加]を選択してから、タイムライン右下の[手動入力]をクリックし、時間帯を設定します。

◆ 休日設定とスケジュール

日付を指定してスケジュールを設定します。

日付を指定し、**追加** をクリックします。その後、タイムラインでスケジュールを設定して保存します。

削除するときは、日付を選択してから **削除** をクリックします。

➤ 顔データベース管理

顔データベースの管理を行います。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ 顔の比較



検出設定 比較とリンク エリア 高度な設定 スケジュール選択 **顔データベース管理**




ブロックと許可リスト 性別


顔の名称 ☐ ID番号 ☐

Index	顔	ID	名前	性別	タイプ	ID番号	操作

表示	説明
	顔画像を 1 枚ずつ追加します。
	複数の顔画像を一括で追加します。
ブロックと許可リスト	顔画像登録時に設定した未登録者、許可リスト、ブロックリスト から選択してリスト表示します。
性別	性別を選択してリスト表示します。
顔の名称	名前を入力してリスト表示します。
ID 番号	ID 番号を入力してリスト表示します。
検索	入力した項目でデータベースを検索します。
削除	選択した顔データを削除します。

顔データの追加方法 ① 顔画像を 1 枚ずつ追加する。


お知らせ：現在、ブラウザ経由での登録ができません。

①  をクリックして追加ウィンドウをポップアップします。




② 必要事項を入力します。

表示	説明
リストタイプ	登録のタイプを選択します。 許可リスト：社員、許可された人物など ブロックリスト：要注意人物、許可したくない人物など 未登録者：所属不明者など
名前	名前を入力します。
性別	性別を選択します。
年齢	年齢を入力します。
電話番号	電話番号を入力します。
ID 番号	ID 番号を入力します。
リマーク	メモ、特記事項などを入力します。

- ③  をクリックして、ローカル PC から顔画像を選択します。画像は Jpeg 形式でサイズ上限が 70kb です。顔比較がしやすいように明瞭な画像を登録してください。
- ④ エントリーボタンで登録します。

顔データの追加方法 ② 複数の顔画像を一括で登録する。

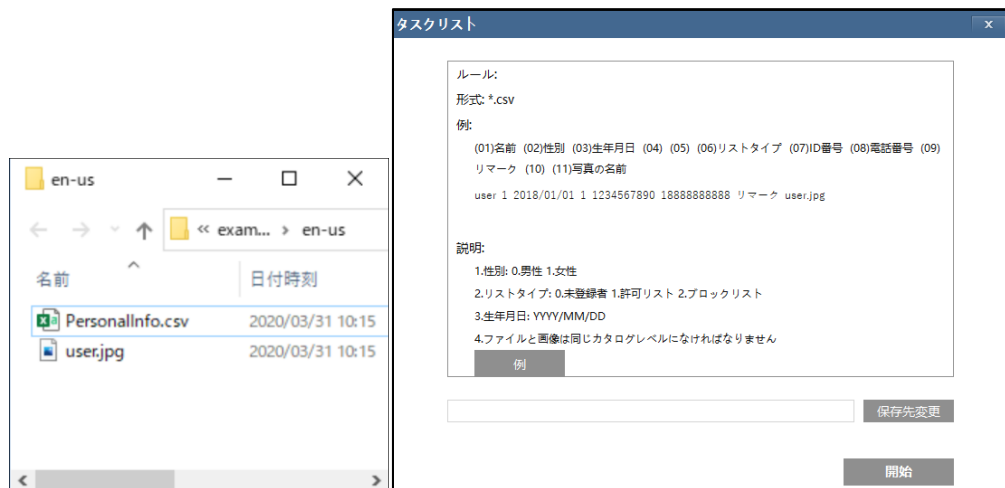
お知らせ：現在、ブラウザ経由での登録ができません。

- ①  をクリックして表示されるルールに従って複数の顔画像を追加します。

以下はデータベース登録ファイルの例です。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	(01)名前	(02)性別	(03)誕生日	(06)属性	(07)ID番号	(08)電話番号	(09)備考	(12)写真ファイル名
2	Hytec Taro	1	2008/1/1	1	AA99-005		配手九 太郎	Hytec Taro.jpg
3	Hytec Hanako	0	2010/10/10	2	AX88-213		配手九 花子	Hytec Hanako.jpg

左に示すように、情報ファイル（.csv）と画像を同じフォルダに配置します。



- ② 「保存先変更」をクリックしてフォルダを選択し、「開始」をクリックしてアップロードします

顔画像登録の注意事項

- ① CSV による登録は、差分登録に対応していません。
データベースを追加する場合は、差分のデータベースを作成して登録する。或いは、登録済みのデータベースを全て削除した後に、修正された新たなデータベースを登録し直す必要があります。
※データベースの削除は「顔データベース管理」で、「検索」→「削除」と操作してください。
- ② データベースを削除すると、過去の顔照合結果の情報も削除されます。
データベースを削除する前、必要に応じて、過去の顔照合結果のデータをバックアップしてください。
- ③ CSV ファイルのフォーマットは CSV 形式のまま保存します。Excel 形式に変更しないでください。
- ④ データベースの 1 行目の登録項目の説明
(01)名前→アルファベットで入力してください。漢字の名前は(09)備考に登録してください。
(02)性別→男性=0/女性=1
(03)誕生日→年/月/日(YYYY/MM/DD)の形式で入力してください。
(06)属性→訪問者=0/許可者=1/ブロック=2 ※通常は「1」許可者で登録してください。
(07)ID→最大 18 文字で登録してください。アルファベット、数字、記号が使用できます。
(12)写真ファイル名→登録する写真のファイル名（.jpg 含む）を入力してください。
- ⑤ 写真のサイズは 70KB 以下としてください。（400 X 400~500 X 500 ドット程度）
少なくとも、160X160 ドット以上である必要があります。
以下のフリーソフトで複数の写真を一括で縮小できます。
<https://i-section.net/software/shukusen/>

4.6 ネットワーク

TCP/IP、ポート、サーバ、DDNS、SNMP、802.1X、RTSP、RTMP、UPnP、Email、FTP、HTTPS、QoS、などのサブメニューがあります。

システム設定 基本情報 日付と時間 ローカル設定 ストレージ	設定ホーム ▶ ネットワーク設定
画像設定 画質調整 映像/音声 OSD	ネットワーク設定
PTZコントロール PTZ設定 PTZ設定の復元 PTZ機能	<ul style="list-style-type: none"> ● TCP/IP ネットワークを設定します。(IPアドレス、DNSサーバ、PPPoEなど)
アラーム設定 モーション検出 異常 アラーム入力 アラーム接点出力 アラームサーバ smartTracking	<ul style="list-style-type: none"> ● ポート HTTP、HTTPS、データ、RTSPなどのポート設定
イベント設定 妨害検知 ラインクロス 領域に入る 領域を出る ターゲットカウント エリア侵入検知 顔の比較	<ul style="list-style-type: none"> ● サーバ 認証サーバを設定します。
ネットワーク設定 TCP/IP ポート 追加...	<ul style="list-style-type: none"> ● DDNS DDNSサーバを設定します。
セキュリティ設定 ユーザー オンラインユーザー ブロックと許可リスト セキュリティー管理	<ul style="list-style-type: none"> ● SNMP ネットワーク機器を監視してネットワーク障害の原因を把握します。
メンテナンス バックアップと復元 再起動 アップグレード 操作ログ	<ul style="list-style-type: none"> ● 802.1X デバイスの認証モードを手動で選択できるようにします。
	<ul style="list-style-type: none"> ● RTSP リモートビデオストリーミングを使用する場合はRTSPを設定します。
	<ul style="list-style-type: none"> ● RTMP RTMP_note
	<ul style="list-style-type: none"> ● UPnP ネットワークに接続する機器同士の接続を簡単にします。
	<ul style="list-style-type: none"> ● Email メール設定を行います。
	<ul style="list-style-type: none"> ● FTP FTPサーバを設定します。
	<ul style="list-style-type: none"> ● HTTPS httpsはSSLを利用したhttp通信です。SSLは通信を暗号化し、安全に情報を取り扱うことができます。
	<ul style="list-style-type: none"> ● QoS ネットワーク機器に QoSを実装することで、特定の通信を優先して伝送させたり、帯域幅を確保することができます。

HIC-SP200TX32 の画面です。

4.6.1 TCP/IP

ネットワークの設定を行います。（IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、PPPoE など）

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ TCP/IP

IPv4 IPv6 PPPoE設定 IP変更通知設定

☐ 自動的にIPアドレスを取得する

☒ 以下のIPアドレスを使う

IPアドレス テスト

サブネットマスク

ゲートウェイ

優先DNSサーバ

代替DNSサーバ

保存

➤ IPv4

IPv4 の設定方法

◆ 自動的に IP アドレスを取得する

DHCP より自動的に IP アドレスを取得します。

◆ 以下の IP アドレスを使う

IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS サーバを手動で設定・変更する必要があります。

をクリックすると、IP アドレスが使えるのか(競合していないか)確認することができます。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ TCP/IP

IPv4 IPv6 PPPoE設定 IP変更通知設定

☐ 自動的にIPアドレスを取得する

☒ 以下のIPアドレスを使う

IPアドレス テスト

サブネットマスク

ゲートウェイ

優先DNSサーバ

代替DNSサーバ

保存

➤ IPv6 アドレス

IPv6 の設定方法

◆ 自動的に IP アドレスを取得する

DHCP より自動的に IP アドレスを取得します。

◆ 以下の IP アドレスを使う

IP アドレス、サブネットプレフィックス長さ、ゲートウェイを手動で設定・変更する必要があります

The screenshot shows the 'TCP/IP' configuration page with the 'IPv6' tab selected. The '以下にIPアドレスを使う' (Use the following IP address) option is selected. The fields are filled with: IPアドレス: fe80::20c:29ff:fe37:3729, サブネット長: 64, and ゲートウェイ: fe80::20c:29ff:fe37:1. A '保存' (Save) button is at the bottom right.

➤ PPPoE 設定

有効にチェックを入れ、PPPoE を有効にします。

ISP(プロバイダ)から提供された、ユーザー名とパスワードを入力し、保存をクリックします。

WAN IP を取得すると、インターネットに接続できます。

The screenshot shows the 'TCP/IP' configuration page with the 'PPPoE設定' (PPPoE Settings) tab selected. The '有効' (Enabled) checkbox is checked. The 'ユーザー名' (Username) and 'パスワード' (Password) fields are empty. A '保存' (Save) button is at the bottom right.

➤ IP 変更通知設定

デバイスの IP アドレスを変更すると、新しい IP アドレスが自動的にメールまたは FTP に送信されます。

IPv4 IPv6 PPPoE設定 IP変更通知設定

☒ Eメールを送信

メールの送信先

☐ @hytec.co.jp

☐ @yahoo.co.jp

☐ @gmail.com

☒ FTPファイル転送

サーバアドレス

☐ 172.16.2.3

保存

[Eメールを送信]にチェックを入れると、Eメールによる通知が有効になります。

通知メールの送信先をリストから選択します。

※Eメール通知の送受信に関する設定は、「4.6.10 **Email**」で事前に行う必要があります。

[FTPファイル]にチェックを入れると、FTPサーバへのファイル転送が有効になります。

FTPサーバをリストから選択します。

※FTPサーバに関する設定は、「4.6.11 **FTP**」で事前に行う必要があります。

保存 をクリックして、設定を保存します。

4.6.2 ポート

HTTP、HTTPS、データ、RTSP のポート番号を設定します。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート	サーバー	DDNS	SNMP	802.1X	RTSP	RTMP	UPnP	Email	FTP	HTTPS	QoS
HTTPポート	<input type="text" value="80"/>										
HTTPSポート	<input type="text" value="443"/>										
データポート	<input type="text" value="9008"/>										
RTSPポート	<input type="text" value="554"/>										

保存 |

表示	説明
HTTP ポート	HTTP プロトコルで制御を行うポートです。(初期値 : 80)
HTTPS ポート	HTTPS プロトコルで制御を行うポートです。(初期値 : 443)
データポート	カメラ制御を行うポートです。(初期値 : 9008)
RTSP ポート	RTSP プロトコル制御を行うポートです。(初期値 : 554)

4.6.3 サーバ

認証サーバを設定します。この機能は、主にネットワークビデオ管理システムの接続に使用されます。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定	
ポート	サーバ
DDNS	SNMP
802.1X	RTSP
RTMP	UPnP
Email	FTP
HTTPS	QoS
<input checked="" type="checkbox"/> 有効	
サーバポート	2009
サーバアドレス	*****.autoddns.com
デバイスID	3
保存	

サーバを設定します。

- ① 有効にチェックを入れ、サーバを有効にします。
- ② ECMS/NVMS の転送メディアサーバの IP アドレスと自動レポートポートを確認します。
- ③ ECMS/NVMS に新しいデバイスを追加するとき、自動レポートを確認します。
- ④ デバイスの情報を ECMS/NVMS に入力します。
- ⑤ システムはすべてのデバイス ID を自動的に表示します。ECMS/NVMS で確認してください。
- ⑥ 上記のサーバアドレス、サーバポート、デバイス ID を入力します。
- ⑦ 保存 をクリックして、設定を保存します。

4.6.4 DDNS

DDNS サーバを設定します。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート サーバー **DDNS** SNMP 802.1X RTSP RTMP UPnP Email FTP HTTPS QoS

☒ 有効

サーバタイプ ▼

ユーザー名

パスワード

ドメイン

保存

DDNS 設定方法

いくつかの DDNS タイプが選択されている場合、サーバアドレスとドメイン名を入力する必要があります。DNS ウェブサイトにアクセスしてドメイン名を登録し、ここに登録されたドメイン情報を入力してください。

《例》 **www.dvrdydns.com** をサーバとした場合

- ① IE アドレスバーに **www.dvrdydns.com** を入力し、DDNS ウェブサイトにアクセスしてください。

Logon Registration

中文

Welcome to DvrDyDns
Enter your user name and password. Choose logon to continue.

Enter your user name and password below.

USER LOGON	
USER NAME:	<input type="text"/>
PASSWORD:	<input type="password"/>
Password is case sensitive.	
<input type="button" value="Logon"/> <input type="button" value="Reset"/>	

Forgot your password?

- ② [Registration (登録)] ボタンをクリックすると、以下のようにインタフェースに進みます。
DDNS アカウント情報 (ユーザ名、パスワードなど) を設定し、[Submit (送信)] ボタンをクリックして、アカウントを保存します。

DDNS account creation.

NEW USER REGISTRATION

USER NAME	<input type="text"/>
PASSWORD	<input type="password"/>
PASSWORD CONFIRM	<input type="password"/>
FIRST NAME	<input type="text"/>
LAST NAME	<input type="text"/>
SECURITY QUESTION.	My first phone number. ▼
ANSWER	<input type="text"/>
CONFIRM YOU'RE HUMAN	<p>7+8=</p> <p>New Captcha</p> <input type="text"/> <p>Solve the problem above.</p>

Submit Reset

Already have an account? [Click here to logon.](#)

- ③ ドメイン名を作成し、[Request Domain (ドメインの要求)] をクリックします。

Domain Name Creation

Enter a new domain name below.

You must create a domain name to continue.

Domain name must start with (a-z, 0-9), must be least 3 char!. Cannot end or start, but may contain a hyphen and is not case-sensitive.

.dvrdydns.com ▼ Request Domain

- ④ ドメイン名を要求すると、ドメイン名の情報がリストに表示されます。

My Domains

Your domain names are listed below. Choose create new domain to add additional domain names.

Your domain was successfully created.

Search by Domain. Search

Click a name to edit your domain settings.

NAME	STATUS	DOMAIN
HTC1234	✓	htc1234.dvrdydns.com

Last Update: Not yet updated IP Address: 203.141.138.227

Create additional domain names

[1]

- ⑤ DDNS 設定を開きます。DDNS を有効にし、DDNS タイプは `www.dvrdydns.com` を選択します。登録したユーザー名、パスワード、ドメイン名を入力し、[保存]をクリックします。

ポート	サーバ	Onvif	DDNS	SNMP	802.1X	RTSP	UPnP	Email	FTP	HTTPS	QoS
<input checked="" type="checkbox"/> 有効											
サーバ選択		www.dyndns.com ▼									
ユーザー名		<input type="text"/>									
パスワード		<input type="password"/>									
ドメイン		<input type="text"/>									
<div>保存</div>											

- ⑥ ルータの IP アドレスと HTTP ポートをマッピングします。（UPnP 機能が有効になっている場合は、この手順をスキップできます）
- ⑦ IE アドレスバーに `http://www.xxx.dvrdydns.com:81` のような登録済みのドメイン名と HTTP ポートを入力し、入力キーを押して IE クライアントに進みます。

4.6.5 SNMP

SNMPを設定します。

SNMP機能は、カメラのステータスやパラメータ、アラーム情報を取得し、カメラをリモートで管理できます。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート

サーバー

DDNS

SNMP

802.1X

RTSP

RTMP

UPnP

Email

FTP

HTTPS

QoS

SNMP v1/v2

☐ SNMPv1を有効にする

☐ SNMPv2を有効にする

SNMPコミュニティのリード

SNMP名称を書く

トラップ住所

トラップポート

トラップグループ名

SNMP v3

☐ SNMPv3を有効にする

ユーザー名のリード

セキュリティレベル

認証アルゴリズム ☒ MD5 ☐ SHA

認証パスワード

秘密鍵アルゴリズム ☒ DES ☐ AES

秘密鍵パスワード

ユーザー名を書く

セキュリティレベル

認証アルゴリズム ☒ MD5 ☐ SHA

認証パスワード

秘密鍵アルゴリズム ☒ DES ☐ AES

秘密鍵パスワード

SNMPその他の設定

SNMPポート

保存

➤ SNMP v1/v2

[SNMPv1 を有効にする][SNMPv2 を有効にする]にチェックを入れ、SNMPv1/v2 を有効にします。

SNMP v1/v2	
<input checked="" type="checkbox"/> SNMPv1を有効にする	
<input checked="" type="checkbox"/> SNMPv2を有効にする	
SNMPコミュニティのリード	<input type="text" value="public"/>
SNMP名称を書く	<input type="text" value="private"/>
トラップ住所	<input type="text" value="192.168.226.201"/>
トラップポート	<input type="text" value="162"/>
トラップグループ名	<input type="text" value="public"/>

表示	説明
SNMP コミュニティのリード	Read-only。SNMP による読み取り専用のコミュニティ名を入力します。
SNMP 名称を書く	Read-write。SNMP による読み書き専用のコミュニティ名を入力します。
トラップ住所	トラップ送信先 SNMP マネージャの IP アドレスを入力します。
トラップポート	トラップポートを入力します。
トラップグループ名	トラップのコミュニティ名を入力します。
保存	設定を保存します。

➤ SNMP v3

[SNMPv3 を有効にする]にチェックを入れ、SNMPv3 を有効にします。

SNMP v3	
<input checked="" type="checkbox"/> SNMPv3を有効にする	
ユーザー名のリード	<input type="text" value="public"/>
セキュリティレベル	<input type="text" value="auth, priv"/>
認証アルゴリズム	<input checked="" type="radio"/> MD5 <input type="radio"/> SHA
認証パスワード	<input type="text" value="....."/>
秘密鍵アルゴリズム	<input checked="" type="radio"/> DES <input type="radio"/> AES
秘密鍵パスワード	<input type="text" value="....."/>
ユーザー名を書く	<input type="text" value="private"/>
セキュリティレベル	<input type="text" value="auth, priv"/>
認証アルゴリズム	<input checked="" type="radio"/> MD5 <input type="radio"/> SHA
認証パスワード	<input type="text" value="....."/>
秘密鍵アルゴリズム	<input checked="" type="radio"/> DES <input type="radio"/> AES
秘密鍵パスワード	<input type="text" value="....."/>

表示	説明
ユーザー名のリード	SNMP による読み取り専用のユーザー名を入力します。
ユーザー名を書く	SNMP による読み書き専用のユーザー名を入力します。
セキュリティレベル	<p>ユーザー認証には 3 つのセキュリティレベルがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ auth, priv : 認証アルゴリズムで認証。暗号化あり。 ・ auth, no priv : 認証アルゴリズムで認証。暗号化なし。 ・ no auth, no priv : ユーザー名のみで認証。暗号化なし。
認証アルゴリズム	認証方式を MD5 または SHA から選択します。
認証パスワード	認証パスワードを設定します。
秘密鍵アルゴリズム	暗号化方式を DES または AES から選択します。
秘密鍵パスワード	暗号化パスワードを設定します。
保存	設定を保存します。

➤ SNMP その他の設定

SNMP ポートを設定して、保存をクリックします。

SNMPその他の設定	
SNMPポート	<input type="text" value="161"/>
<input type="button" value="保存"/>	

4.6.6 802.1X

802.1X を設定します。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定	
ポート サーバー DDNS SNMP 802.1X RTSP RTMP UPnP Email FTP HTTPS QoS	
<input checked="" type="checkbox"/> 有効	
プロトコルタイプ	EAP MD5 ▼
EAPOLバージョン	1 ▼
ユーザー名	<input type="text"/>
パスワード	●●●●●
パスワード確認	●●●●●
<input type="button" value="保存"/>	

802.1X の設定方法

- ① 有効にチェックを入れ、802.1X 認証を有効にします。
- ② プロトコルタイプと EAPOL バージョンは、デフォルト設定でご使用ください。
- ③ ユーザー名とパスワードは、認証サーバに登録されているユーザー名とパスワードを入力してください。

4.6.7 RTSP

RTSP を設定します。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定											
ポート	サーバー	DDNS	SNMP	802.1X	RTSP	RTMP	UPnP	Email	FTP	HTTPS	QoS
<input checked="" type="checkbox"/> 有効											
ポート	<input type="text" value="554"/>										
アドレス	<input type="text" value="rtsp://IP or domain name:port/profile1"/>										
	<input type="text" value="rtsp://IP or domain name:port/profile2"/>										
	<input type="text" value="rtsp://IP or domain name:port/profile3"/>										
マルチキャストアドレス											
第1ストリーム	<input type="text" value="239.0.0.0"/>	<input type="text" value="50554"/>	<input type="checkbox"/> 自動スタート								
第2ストリーム	<input type="text" value="239.0.0.1"/>	<input type="text" value="51554"/>	<input type="checkbox"/> 自動スタート								
第3ストリーム	<input type="text" value="239.0.0.2"/>	<input type="text" value="52554"/>	<input type="checkbox"/> 自動スタート								
音声	<input type="text" value="239.0.0.3"/>	<input type="text" value="53554"/>	<input type="checkbox"/> 自動スタート								
<input type="checkbox"/> 匿名ログイン許可（ユーザー名およびパスワード不要）											
<input type="button" value="保存"/>											

[有効]にチェックを入れ、RTSP を有効にします。

- ポート：「4.6.2 ポート」の RTSP ポートと連動しています。
- アドレス：VLC プレーヤーなどで再生する時に使用する RTSP アドレスを表示します。
【例】RTSP アドレス（ユニキャスト）。IP アドレスが 192.168.1.226 の場合。
第 1 ストリーム ⇒ rtsp://192.168.1.226:554/profile1
第 2 ストリーム ⇒ rtsp://192.168.1.226:554/profile2
第 3 ストリーム ⇒ rtsp://192.168.1.226:554/profile3
- マルチキャストアドレス：マルチキャストアドレス、ポート番号を設定します。
【例】RTSP アドレス（マルチキャスト）。IP アドレスが 192.168.1.226 の場合。
第 1 ストリーム ⇒ rtsp://192.168.1.226:554/profile1?transportmode=mcast
第 2 ストリーム ⇒ rtsp://192.168.1.226:554/profile2?transportmode=mcast
第 3 ストリーム ⇒ rtsp://192.168.1.226:554/profile3?transportmode=mcast
カメラ起動時に、自動的に配信開始したい場合は、[自動スタート]をチェックします。
- [匿名ログインを許可する（ユーザー名またはパスワードは不要）] に、チェックを入れると RTSP 認証を省いて再生できます。

4.6.8 RTMP

RTMP を設定します。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート サーバー DDNS SNMP 802.1X RTSP **RTMP** UPnP Email FTP HTTPS QoS

☒ 有効 useRTMPTip

streamType ☐ 第1ストリーム ☒ 第2ストリーム ☐ 第3ストリーム

reconnection second

サーバアドレス

reconnectionStatus notConnected refresh

保存

[有効]にチェックを入れ、RTMP を有効にします。

表示	説明
streamType ストリーム形式	YouTube 配信で使用するストリームを選択します。※ 1、※ 2
Reconnection タイムアウト後に再接続 する	設定した時間以内なら再接続します。
サーバアドレス	YouTube Studio でメモしたストリーム URL/ストリームキーを貼付けます。 例：rtmp://a.rtmp.youtube.com/live2/abcd-efgh-ijkl-mnop-qrst
reconnectionStatus 接続状態	接続完了の表示になれば YouTube との接続は完了しています。 Refresh(更新)ボタンで更新します。
保存	設定を保存します。

※1:ストリーム設定は「4.2.2 映像/音声」で設定します。通信回線の速度に応じて、最適な設定を行います。ビデオ圧縮は必ず、「**H.264**」を設定する必要があります。

※2:お使いのインターネット接続で安定して映像を転送できる品質に設定します。実際に配信する動きや音声でテストを行う必要があります。設定した解像度、フレームレート、ビットレートは YouTube が自動的に検出します。

4.6.9 UPnP

UPnP 機能はポートマッピングなしのルータ経由で WAN に接続され、IE からカメラにアクセスできます。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定											
ポート	サーバー	DDNS	SNMP	802.1X	RTSP	RTMP	UPnP	Email	FTP	HTTPS	QoS
<input type="checkbox"/> 有効											
UPnP名		<input type="text"/>									
<input type="button" value="保存"/>											

UPnP の設定方法

- ① ルータが UPnP 機能に対応し、ルータで有効になっていることを確認します。
- ② ルータに対応するカメラの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイなどを設定します。
- ③ 有効にチェックを入れ、UPnP 機能を有効にします。この機能を有効にすると、LAN 経由でカメラにすばやくアクセスすることができます。
- ④ UPnP 名を入力して、保存をクリックします。

4.6.10 Email

Email に関する設定を行います。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート サーバー DDNS SNMP 802.1X RTSP RTMP UPnP **Email** FTP HTTPS QoS

送信者

送信者アドレス

ユーザー名

パスワード

サーバアドレス

安全な接続 ▼

SMTPポート デフォルト

☐ 送信間隔(S) (10-3600)

クリア テスト

受信者

受信者アドレス

追加 削除

保存

➤ 送信者

送信者の E メールアドレス、SMTP サーバなどを設定します。

送信者	
送信者アドレス	<input type="text" value="██████@gmail.com"/>
ユーザー名	<input type="text" value="██████@gmail.com"/>
パスワード	<input type="password" value="●●●●●"/>
サーバアドレス	<input type="text" value="smtp.gmail.com"/>
安全な接続	<input type="text" value="SSL"/> ▼
SMTPポート	<input type="text" value="465"/> <input type="button" value="デフォルト"/>
<input type="checkbox"/> 送信間隔(S)	<input type="text" value="60"/> (10-3600)
<input type="button" value="クリア"/> <input type="button" value="テスト"/>	

送信者の設定方法

- ① 送信者の E メールアドレスを入力します。
- ② ユーザー名はアカウント名(メールアドレスの@より前の部分)、パスワードはメールのパスワードを入力します。
- ③ サーバアドレスは SMTP サーバを入力します。
- ④ セキュリティは SSL を選択し、SMTP ポートは 465 を指定します。 で初期値に戻ります。
- ⑤ E メールを送信間隔を設定します。
送信間隔にチェックを入れ 300 秒に設定した場合、300 秒に 1 通のメールが送信されます。300 秒の間に複数検出された場合、検出時間などをまとめて 1 通で通知します。添付ファイルの静止画は最初に検出した静止画のみを添付します。
- ⑥ をクリックして、アカウントの接続テストを行います。

注 1 Yahoo や Gmail 等のフリーメールはご利用いただけません。ISP が提供するメールサービスをお使いください。

➤ 受信者

[受信者アドレス]欄に受信者のメールアドレスを入力し、**追加** をクリックしてリストに追加します。
削除する場合は、リストから削除するアドレスを選択し、**削除** をクリックしてリストから削除します。



The screenshot shows a window titled "受信者" (Recipient). Inside, there is a list of email addresses. The first address, "@hytec.co.jp", is highlighted with a blue background. Below it are "@yahoo.co.jp" and "@gmail.com". At the bottom of the window, there is a text input field labeled "受信者アドレス" (Recipient Address) and two buttons: "追加" (Add) and "削除" (Delete).

4.6.11 FTP

FTP サーバの設定を行います。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート サーバー DDNS SNMP 802.1X RTSP RTMP UPnP Email **FTP** HTTPS QoS

サーバ名	サーバアドレス	ポート	ユーザー名	パス
FTP_TEST	192.168.XXX.XXX	21	ftp_user	/

追加 変更 削除 テスト 保存

➤ FTP 追加/変更

FTP サーバを追加するには、**追加** をクリックします。変更する場合は、**変更** をクリックします。

表示	説明
サーバ名	FTP サーバの名前を入力します。
サーバアドレス	FTP サーバの IP アドレスまたはドメイン名を入力します。
パス	ファイルのアップロード先を設定します。
ポート	FTP サーバのポート番号を入力します。
ユーザー名/パスワード	FTP サーバのユーザー名とパスワードを入力します。 匿名にチェックを入れると、ユーザー名とパスワードの入力を省きます。
OK	ウィンドウを閉じます。(まだ保存されてません。)
保存	設定を保存します。

➤ テスト

テスト をクリックすると、選択している FTP サーバとの接続確認を行います。

➤ FTP 削除

削除 をクリックすると、選択している FTP サーバを削除します。

4.6.12 HTTPS

HTTPS を設定します。HTTPS は Web サイトの認証を提供し、ユーザーのプライバシーを保護します。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定		
ポート サーバー DDNS SNMP 802.1X RTSP RTMP UPnP Email FTP HTTPS QoS		
<input type="checkbox"/> 有効		
証明書のインストール	C=CN, ST=GD, L=SZ, O=embeddedsoftware	削除
属性	発行されました: C=CN, ST=GD, L=SZ, O=embeddedsoftware, OU=IPC, H=localhost, E=com.cn, 発行者: C=CN, ST=GD, L=SZ, O=embeddedsoftware, OU=IPC, H=localhost, E=com.cn, 有効期限: 2017-07-26 01:02:07 ~ 2022-07-26 01:02:07	
保存		

有効にチェックを入れて、HTTPS へのアクセスを有効にし、**保存** をクリックして設定を保存します。

Web ブラウザを使用して、「https://IP アドレス:HTTPS ポート」にアクセスします。

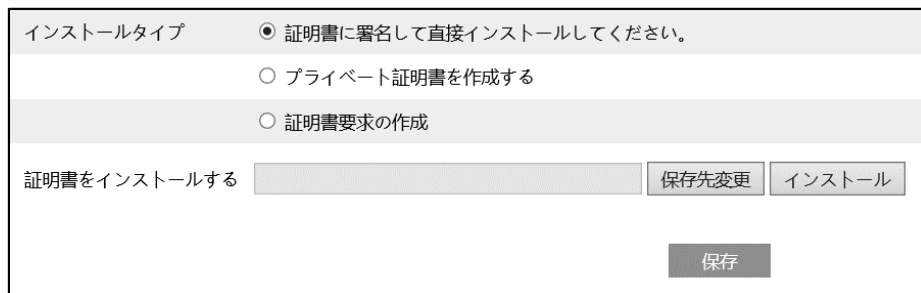
《 例 : https://192.168.226.201:443 》

デフォルトで証明書がインストールされています。

デフォルトの証明書を使用しない場合は、**削除** をクリックして証明書を削除し、プライベート証明書を作成することもできます。3 種類のインストールタイプを選択して、各タイプで設定してください。

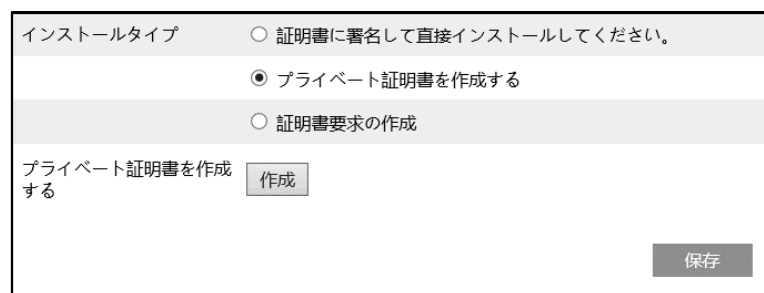
設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定		
ポート サーバー DDNS SNMP 802.1X RTSP RTMP UPnP Email FTP HTTPS QoS		
<input type="checkbox"/> 有効		
インストールタイプ	<input checked="" type="radio"/> 証明書に署名して直接インストールしてください。 <input type="radio"/> プライベート証明書を作成する <input type="radio"/> 証明書要求の作成	
証明書をインストールする		保存先変更 インストール
保存		

- 証明書に署名して、直接インストールしてください

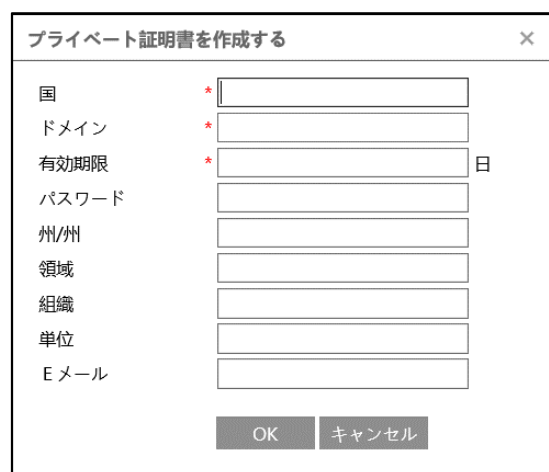


[保存先変更]ボタンをクリックして、インストールする証明書ファイルを選択してから、[インストール]ボタンをクリックして証明書をインストールします。
最後に[保存]ボタンをクリックします。

- プライベート証明書を作成する



[作成]ボタンをクリックして、プライベート証明書を作成します。国(2文字のみ利用可能)、ドメイン(NVRのIPアドレス/ドメイン)、有効期限、パスワード、州(都道府県)、領域(地域)などを入力します。[*]は、必須項目です。次に、[OK]をクリックして設定を保存します。最後に[保存]ボタンをクリックします。



➤ 証明書要求を作成

インストールタイプ

☐ 証明書に署名して直接インストールしてください。

☐ プライベート証明書を作成する

☒ 証明書要求の作成

証明書要求の作成

作成 ダウンロード 削除

作成した証明書をインストールする

参照... インストール

保存

[作成]をクリックして証明書要求を作成します。

証明書要求の作成

国 * 例:CN

ドメイン *

パスワード

州/州

領域

組織

単位

Eメール

OK キャンセル

国(2文字のみ利用可能)、ドメイン(NVRのIPアドレス/ドメイン)、パスワード、州(都道府県)、領域(地域)などを入力します。「*」は、必須項目です。次に、[OK]をクリックして設定を保存します。

そうすると、[ダウンロード]ボタンがアクティブになりますので、クリックして、証明書要求ファイルをダウンロードし、署名のために信頼された証明機関に送信します。署名された証明書を受け取った後、証明書をデバイスにインポートします。上述の[証明書に署名して、直接インストールしてください]項で証明書をインストールしてください。

また、[削除]をクリックして、作成した証明書要求ファイルを削除できます。

4.6.13 QoS

データストリームの転送に優先順位を付けることができます。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート サーバー DDNS SNMP 802.1X RTSP RTMP UPnP Email FTP HTTPS **QoS**

ビデオ/オーディオDSCP

アラームDSCP

マネージャDSCP

保存

ネットワーク遅延やネットワーク混雑を改善するために、それぞれのストリームに優先度を設定し、順番に転送を行います。数値が大きいくほど、優先度は高くなります。

表示	説明
ビデオ/オーディオ DSCP	0 ～63 の範囲でビデオ/オーディオの優先度を設定します。
アラーム DSCP	0 ～63 の範囲でアラームの優先度を設定します。
マネージャ DSCP	0 ～63 の範囲でマネージャの優先度を設定します。
保存	設定を保存します。

4.7 セキュリティ設定

ユーザー、オンラインユーザ、ブロックと許可リスト、セキュリティ管理などのサブメニューがあります。

システム設定 基本情報 日付と時間 ローカル設定 ストレージ	設定ホーム ▶ セキュリティ設定
画像設定 画質調整 映像/音声 OSD	セキュリティ設定 <ul style="list-style-type: none"> ● ユーザー ユーザーの追加、修正、削除します。(管理者アカウント: adminは削除できません。) ● オンラインユーザー オンラインのユーザーを表示します。 ▼ ブロックと許可リスト 特定のIPアドレスまたはMACアドレスからのアクセスを許可またはブロックします。 ● セキュリティ管理 不正ログインを検出した時にデバイスをロックします。
PTZコントロール PTZ設定 PTZ設定の復元 PTZ機能	
アラーム設定 モーション検出 異常 アラーム入力 アラーム接点出力 アラームサーバ smartTracking	
イベント設定 妨害検知 ラインクロス 領域に入る 領域を出る ターゲットカウント エリア侵入検知 顔の比較	
ネットワーク設定 TCP/IP ポート 追加...	
セキュリティ設定 ユーザー オンラインユーザー ブロックと許可リスト セキュリティ管理	
メンテナンス バックアップと復元 再起動 アップグレード 操作ログ	


HIC-SP200TX32 の画面です。

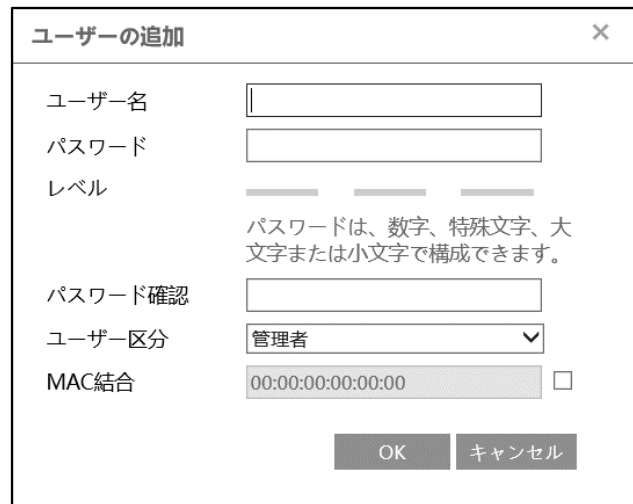
4.7.1 ユーザー

ユーザーの追加、変更、削除を行います。管理者アカウントの admin は削除できません。

設定ホーム ▶ セキュリティ設定 ▶ ユーザー				
<div>追加 変更 削除</div>				
Index	ユーザー名	ユーザー区分	MAC結合	
1	admin	管理者		

ユーザーの追加方法

- ①  をクリックすると、「ユーザーの追加」がポップアップします。



ユーザーの追加

ユーザー名

パスワード

レベル

パスワード確認

パスワードは、数字、特殊文字、大文字または小文字で構成できます。

ユーザー区分 管理者 ▼

MAC結合 ☐

OK キャンセル

- ② ユーザー名とパスワード(パスワード確認)は、1～15 文字の英数字で設定します。
- レベルは、パスワードの強度を示します。「4.7.4 **セキュリティ管理**」にあるパスワードセキュリティで設定したレベル以上の組み合わせが必要です。
- ③ ユーザー区分を選択します。
- ・ 管理者 : すべての権限を持っています。
 - ・ 上級ユーザ : 「ユーザー」、「ブロックと許可リスト」、「バックアップと復元」、「アップグレード」のメニューは表示されなくなります。それ以外は管理者と同じ権限を持っています。
 - ・ ノーマルユーザ : 「ライブ」の表示と「検索」のみ可能です。設定の変更はできません。
- ④ 決められた機器からアクセスさせる場合は、MAC 結合にチェックを入れて MAC アドレスを指定します。
- ⑤ [OK]をクリックして、ユーザを追加します。

パスワードの変更方法

- ① **変更** をクリックすると、「ユーザーの編集」がポップアップします。

ユーザーの編集

☐ パスワードの変更

ユーザー名 admin

旧パスワード

新しいパスワード

レベル

パスワードは、数字、特殊文字、大文字または小文字で構成できます。

パスワード確認

MAC結合 00:00:00:00:00:00 ☐

OK キャンセル

- ② [パスワードの変更]にチェックを入れ、新しいパスワードを入力し、OK をクリックします。
- レベルは、パスワードの強度を示します。「4.7.4 **セキュリティ管理**」にあるパスワードセキュリティで設定したレベル以上の組み合わせが必要です。
- ③ 必要に応じて MAC アドレスを変更します。
- ④ [OK]をクリックして保存します。

ユーザーの削除方法

- ① 削除するユーザーを選択します。選択されているユーザーは青くなります。
- ② **削除** をクリックすると、削除の確認がポップアップするので OK をクリックして削除します。※ユーザー名 admin は削除できません。

4.7.2 オンラインユーザ

本機にアクセスしているオンラインユーザを表示します。

管理者ユーザは、他のすべてのユーザを追い出す(キックアウト)ことができます。

設定ホーム ▶ セキュリティ設定 ▶ オンラインユーザー

Index	クライアントアドレス	ポート	ユーザー名	ユーザー区分	
1	172.20.0.98	51873	admin	管理者	キックアウト

4.7.3 ブロックと許可リスト

特定の IP アドレスまたは MAC アドレスからのアクセスを許可またはブロックします。

[アドレスフィルタリングを有効にする]にチェックを入れ、許可/ブロックの設定を行います。

IP/MAC アドレスフィルタの追加方法

- ① [次のアドレスをブロックします]または[次のアドレスを許可します]のどちらかを選択します。
 - ・ ブロック : リスト内のみブロックし、その他のデバイスは許可されます。
 - ・ 許可 : リスト内のみ許可し、その他のデバイスはブロックされます。
- ② IPv4、IPv6、MAC のどれかを選択し、アドレスを入力します。
- ③ **追加** をクリックすると、リストに表示されます。
- ④ **保存** をクリックして保存します。

IP/MAC アドレスフィルタの削除方法

- ① リストからアドレスを選択します。
- ② **削除** をクリックすると、選択しているアドレスを削除します。
- ③ **保存** をクリックして保存します。

4.7.4 セキュリティ管理

不正ログインを検出した時の対応を設定します。

➤ セキュリティサービス

[セキュリティサービス]タブを開き、不正ログインによるロック解除を防ぐことができます。

設定ホーム ▶ セキュリティ設定 ▶ セキュリティ管理	
セキュリティサービス	パスワードセキュリティ
<input checked="" type="checkbox"/> 不正ログインによるロックを有効	
保存	

[不正ログインによるロックを有効]にチェックを入れると、ログイン試行に 6 回失敗するとロックされます。

ロックから 30 分後またはカメラの再起動によって、カメラは再度ログインすることができます。

➤ パスワードセキュリティ

[パスワードセキュリティ]タブを開き、パスワードのレベルと有効期限を設定します。

設定ホーム ▶ セキュリティ設定 ▶ セキュリティ管理	
セキュリティサービス	パスワードセキュリティ
パスワードレベル	弱い ▼
有効期限	永久 ▼
保存	

パスワードレベルは、パスワード変更で利用できる文字の種類と長さを設定します。

弱い : 「英字の大文字」「英字の小文字」「数字」「記号」から 1 文字以上

中 : 「英字の大文字」「英字の小文字」「数字」「記号」から 2 種類以上を組合わせて 9 文字以上

強い : 「英字の大文字」「英字の小文字」「数字」「記号」の全種類を組合わせて 9 文字以上

有効期限 : 30 日、60 日、180 日、365 日、永久から選択します。

期限が切れたときにパスワードの変更画面がポップアップします。

4.8 メンテナンス

バックアップと復元、再起動、アップグレード、操作ログなどのサブメニューがあります。

 システム設定 基本情報 日付と時間 ローカル設定 ストレージ	設定ホーム ▶ メンテナンス
 画像設定 画質調整 映像/音声 OSD	<div data-bbox="512 501 1351 533"> メンテナンス </div> <div data-bbox="512 539 1351 680"> <ul style="list-style-type: none">  バックアップと復元 システム構成のバックアップ/復元、または工場出荷設定へのリセットを行います。  再起動 カメラを再起動します。  アップグレード カメラのソフトウェアを更新します。  操作ログ 操作ログを表示します。 </div>
 PTZコントロール PTZ設定 PTZ設定の復元 PTZ機能	
 アラーム設定 モーション検出 異常 アラーム入力 アラーム接点出力 アラームサーバ smartTracking	
 イベント設定 妨害検知 ラインクロス 領域に入る 領域を出る ターゲットカウント エリア侵入検知 顔の比較	
 ネットワーク設定 TCP/IP ポート 追加...	
 セキュリティ設定 ユーザー オンラインユーザー ブロックと許可リスト セキュリティー管理	
 メンテナンス バックアップと復元 再起動 アップグレード 操作ログ	

HIC-SP200TX32 の画面です。

4.8.1 バックアップと復元

カメラの設定情報のインポート（復元）とエクスポート（バックアップ）、工場出荷時への初期化を行います。

➤ 設定のインポート（復元）

参照をクリックして、バックアップファイルを選択します。 **設定のインポート** をクリックして、設定を復元します。

➤ 設定のエクスポート（バックアップ）

設定のエクスポート をクリックして、設定をバックアップします。

➤ 設定を初期化する

工場出荷設定に戻す をクリックして、設定を初期状態に戻します。

「設定を保持」で選択した設定項目は、初期化されず、現在の設定を保持します。

設定を初期化する

設定を保持

☐ ネットワーク設定
☐ セキュリティ設定
☐ 画像設定

工場出荷設定に戻す

4.8.2 再起動

カメラの再起動を行います。

設定ホーム ▶ メンテナンス ▶ 再起動

再起動

再起動

再起動には1～5分かかります。正常に起動するとブラウザは自動的に再接続します。

定刻自動再起動

☐ 時刻の設定

保存

➤ 再起動

再起動 をクリックすると、確認するメッセージが表示されます。**OK** をクリックするとカメラは再起動を行います。再起動には 1～5 分かかります。正常に完了すると、自動的に再接続、ログイン画面に戻ります。

再起動

再起動

再起動には1～5分かかります。正常に起動すると、ブラウザは自動的に再接続します。

➤ 定刻自動再起動

定期的に再起動を行います。

[時刻の設定]にチェックを入れると、自動的な再起動が有効になります。毎日または週に一度、決まった時間帯を指定します。

定刻自動再起動

☒ 時刻の設定

週

時間

保存

4.8.3 アップグレード

カメラのソフトウェアを更新します。

設定ホーム ▶ メンテナンス ▶ アップグレード	
ローカルアップグレード	
パス	<input type="text"/>
	<input type="button" value="保存先変更"/> <input type="button" value="アップグレード"/>

ソフトウェアのアップグレード方法

- ① [保存先変更]をクリックして、ファイルを選択します。
- ② をクリックして、ソフトウェアのアップグレードを開始します。
- ③ アップグレード終了後、カメラは自動的に再起動します。

※ アップグレード中はブラウザを閉じたり、カメラをネットワークから切断したりしないでください。

※ アップグレード中は電源を切らないでください。

※ アップグレード中は監視などの機能は動作しません。

4.8.4 操作ログ

ログの種類を選択、開始時間と終了時間を指定、**検索** をクリックすると、ログが表示されます。

設定ホーム ▶ メンテナンス ▶ 操作ログ

第一区分 第二区分

開始時間 終了時間 **検索** **エクスポート**

Index	時間	第一区分	第二区分	ユーザー名	ログインIP
1	2022-02-25 11:38:54	アラーム	Tripwire alarm		
2	2022-02-25 11:37:23	操作	ログイン	admin	172.16.2.181
3	2022-02-25 11:37:23	操作	ログアウト	admin	118.241.165.97
4	2022-02-25 11:37:14	操作	ログイン	admin	118.241.165.97
5	2022-02-25 11:37:08	操作	ログアウト	admin	172.16.2.181
6	2022-02-25 11:37:06	例外	リンク切断		
7	2022-02-25 11:36:18	操作	ログアウト	admin	125.203.230.174
8	2022-02-25 11:36:06	操作	ログアウト	admin	118.241.165.97
9	2022-02-25 11:36:05	操作	ログイン	admin	172.16.2.181
10	2022-02-25 11:35:57	操作	ログイン	admin	125.203.230.174
11	2022-02-25 11:35:56	操作	ログイン	admin	118.241.165.97
12	2022-02-25 11:35:47	操作	ログアウト	admin	172.16.2.181
13	2022-02-25 11:35:45	例外	リンク切断		
14	2022-02-25 10:52:29	操作	ログイン	admin	172.16.2.181
15	2022-02-25 10:52:26	操作	ログアウト	admin	118.238.205.63
16	2022-02-25 10:52:18	操作	ログイン	admin	118.241.165.97
17	2022-02-25 10:52:11	操作	ログアウト	admin	172.16.2.181

1 / 2 20 View 1 - 20 of 35

ログの取得方法

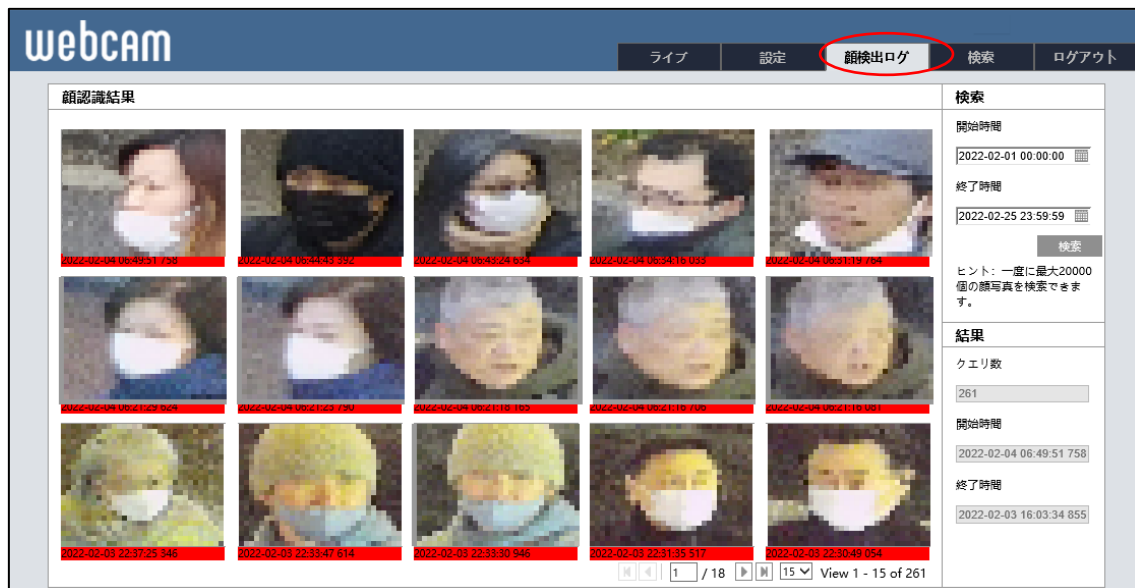
- ① 第一区分、第二区分より、取得するログの種類を選択します。
- ② 開始時間と終了時間を設定し、検索するログの時間帯を指定します。
- ③ **検索** をクリックすると、指定時間内のログを表示します。
- ④ **エクスポート** をクリックして、ログをエクスポート・保存することができます。

5. 顔検出ログ

右上の[顔検出ログ]タブを開きます。

ここでは、SD カードに保存されている写真を表示できます。

※カメラに SD カードを取付けてない場合は検索できません。



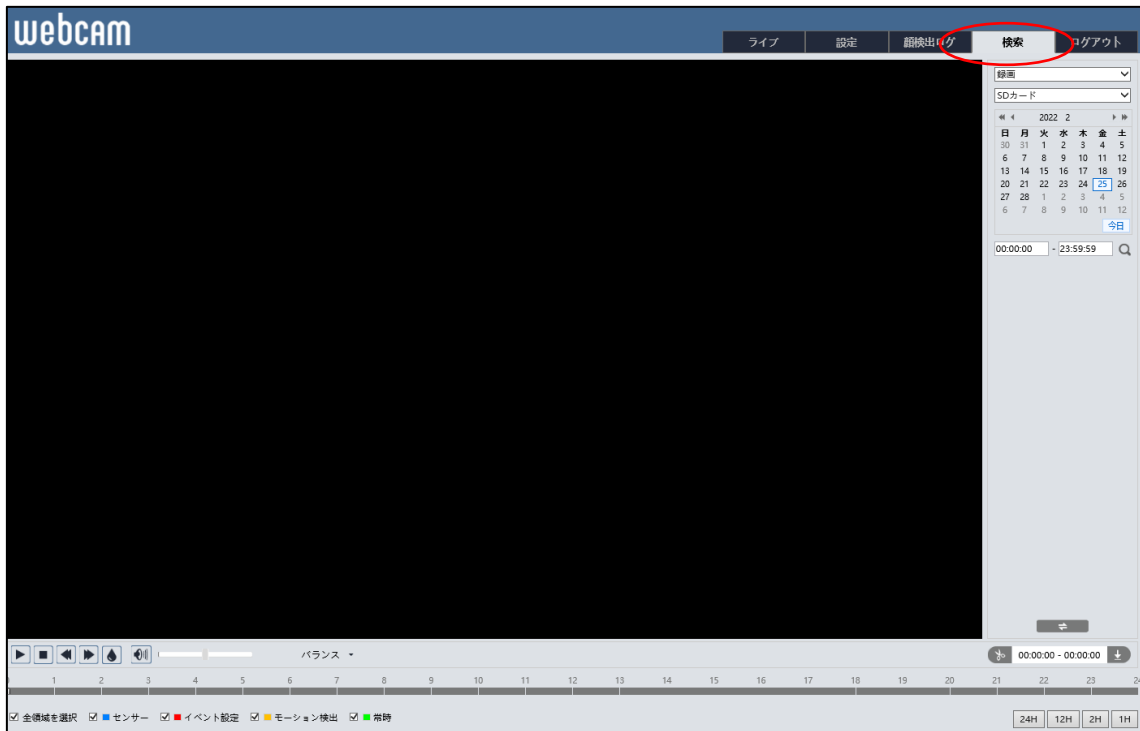
操作方法是、次の通りです。

- ① 検索したい開始時間と終了時間を入力します。
- ② [検索]ボタンをクリックします。保存されている顔画像が表示されます。
- ③ 顔画像をクリックすると顔画像の詳細を表示します。

6. 検索

右上の[検索]タブを開きます。

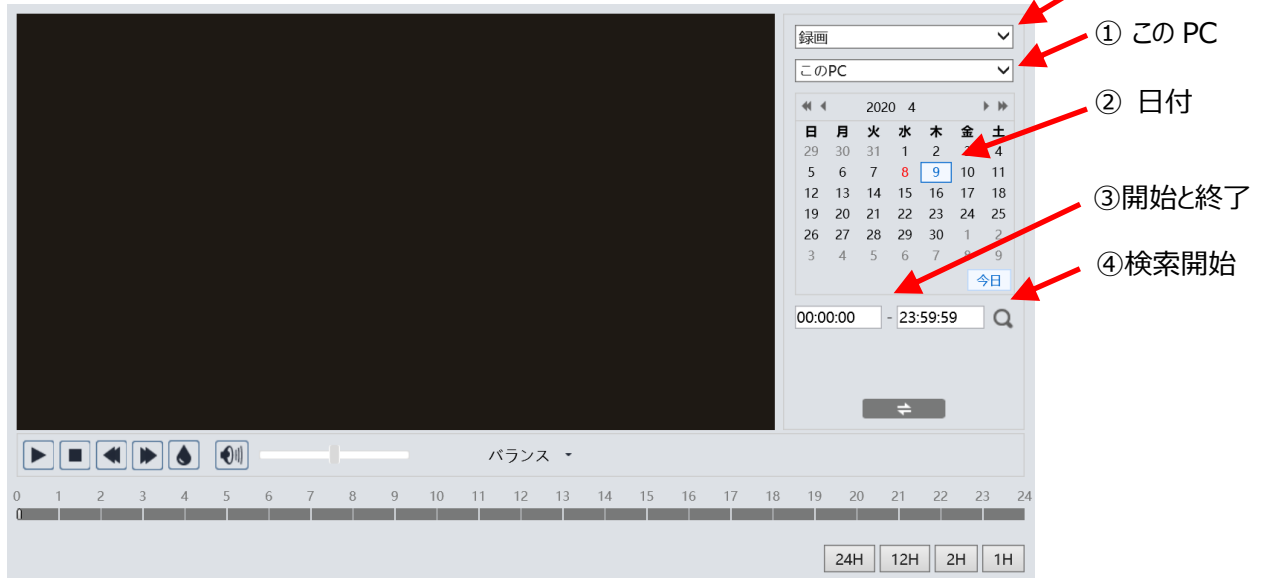
ここでは、SD カードまたはローカル PC に保存されている録画と写真を表示できます。





6.1 録画検索

6.1.1 ローカル録画（動画）

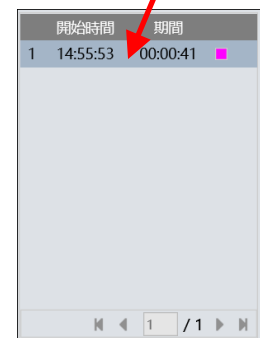
PC にローカル録画されているビデオは、ここで再生することができます。



検索方法

- ① 右上のドロップダウンメニューから、“録画”-“この PC”を選択します。
- ② 検索したい日を設定します。
※録画データがある日はカレンダーの数字が赤色になっています。
- ③ 検索時間と終了時間を設定します。
- ④  をクリックして、録画ファイルを検索します。
- ⑤ 検索後に表示する録画ファイルリスト内をダブルクリックすると再生を開始します。
- ⑥  で、検索前と検索後の画面を移動できます。
- ⑦ タイムテーブルは 24H / 12H / 2H / 1H 形式で表示できます。
(録画あり：ピンクの帯で表示しています)

ダブルクリックで再生開始



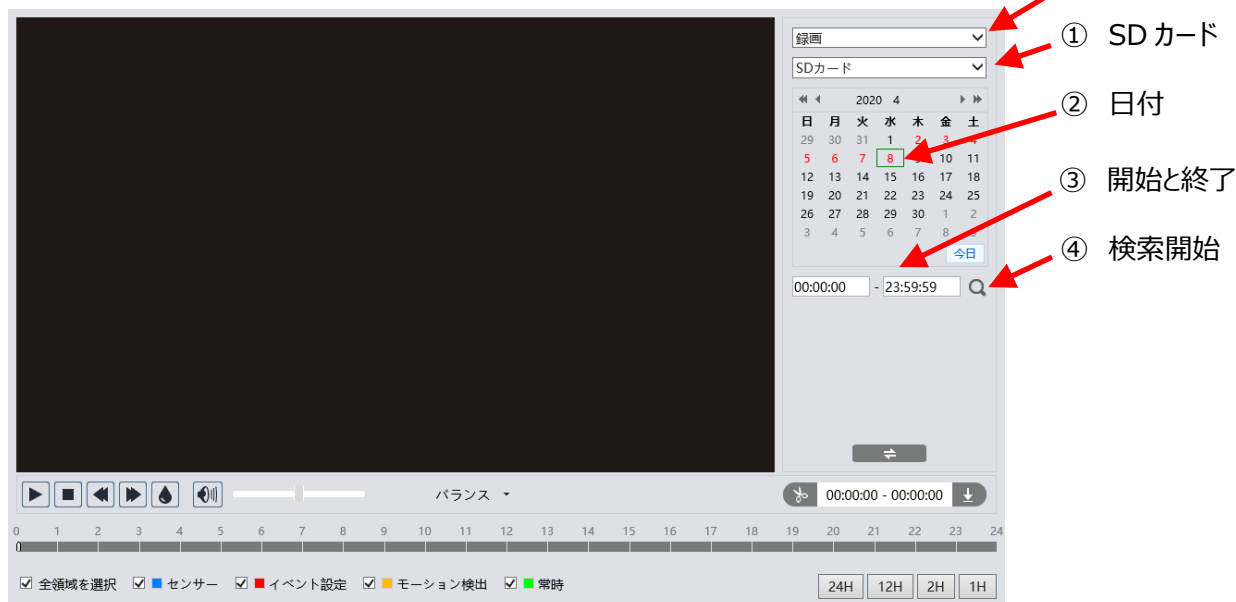
検索後に表示する録画
ファイルリスト

録画検索画面のアイコンを説明します。



アイコン	説明	アイコン	説明
	再生/一時停止ボタン		停止ボタン
	スピードダウン		スピードアップ
	電子透かし表示		スピーカ ON/OFF

6.1.2 SD カード録画（動画）

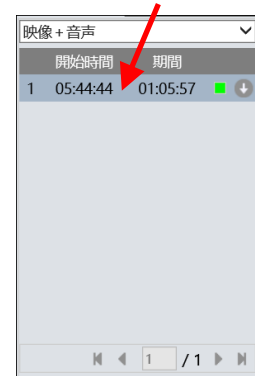
SD カードに録画されているビデオは、ここで再生することができます。



検索方法

- ① 右上のドロップダウンメニューから、“録画”-“SD カード”を選択します。
- ② 検索したい日を設定します。
※録画データがある日はカレンダーの数字が赤色になっています
- ③ 開始時間と終了時間を選択します。
- ④  をクリックして、録画ファイルを検索します。
- ⑤ ミックスストリーム(映像 + 音声)または、ビデオストリーム(映像のみ)を選択します。
- ⑥ 検索後に表示する録画ファイルリスト内のファイルをダブルクリックして再生を開始します。
- ⑦  で、検索前と検索後の画面を移動できます。
- ⑧ タイムテーブルは 24H / 12H / 2H / 1H 形式で表示できます。
センサー(青)、イベント設定(赤)、モーション検出(橙)、常時録画(緑)で色分けされています。




ダブルクリックで再生開始




検索後に表示する録画
ファイルリスト



ビデオクリップとダウンロード

- ① タイムテーブル上をクリックして、開始時間を選択します。
- ②  をクリックすると青色  に変わり、開始時間が設定されます。
- ③ 終了時間も①②と同様に行います。
- ④  をクリックして、PC にビデオファイルをダウンロードします。
- ⑤ ダウンロード中は、以下のような画面が表示されます。
 設定：PC の保存ディレクトリを指定 / パス：保存フォルダを開く
 キャンセル：ダウンロードの中止 / 開く：ビデオを再生
 リストクリア：ダウンロードリストの削除 / OFF：ダウンロード画面を閉じる

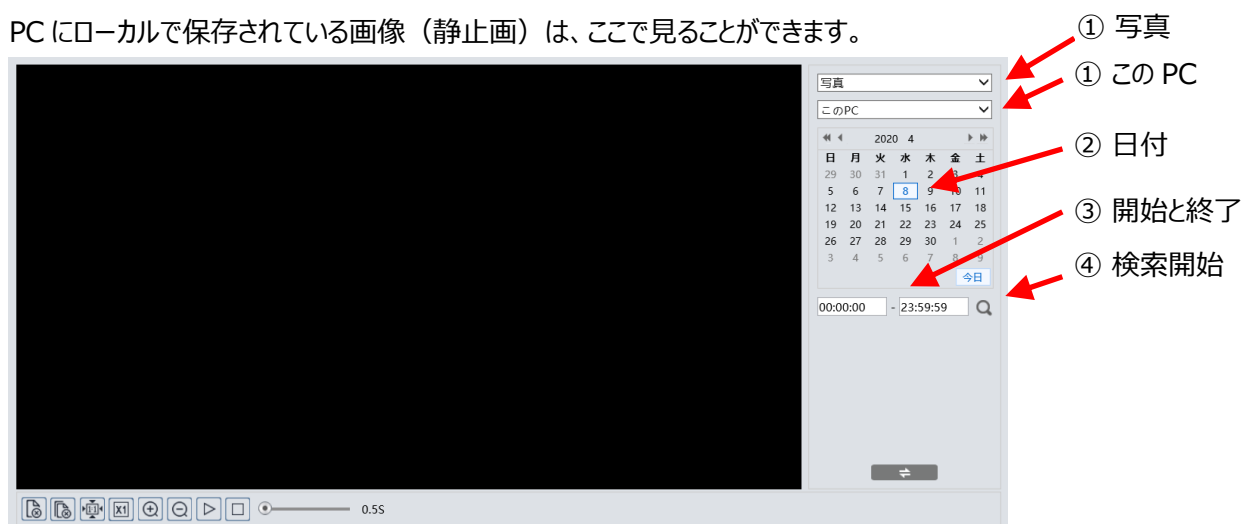
Index	進捗	録画タイプ	開始時間	終了時間	パス	操作
1	<div style="width: 10%;"></div> 10%	カット	2020-04-08 08:00:00	2020-04-08 08:10:02	NetAllIPCamera	キャンセル
<div> 設定 C:\Program Files\NetAllIPCamera <div> リストクリア OFF </div> </div>						

※ ファイル横の  で、イベントごとにダウンロードすることもできます。

6.2 画像検索

6.2.1 ローカル画像（静止画）

PC にローカルで保存されている画像（静止画）は、ここで見るすることができます。



検索方法

- ① 右上のドロップダウンメニューから、“写真”-“この PC”を選択します。
- ② 検索したい日を設定します。
※画像データがある日はカレンダーの数字が赤色になっています。
- ③ 開始時間と終了時間を選択します。
- ④ をクリックして、画像ファイルを検索します。
- ⑤ 検索後に表示する画像ファイルリスト内をダブルクリックして、保存された画像を表示します。
- ⑥ をクリックすると、検索前と検索後の画面を移動できます。

ダブルクリックで画像を表示



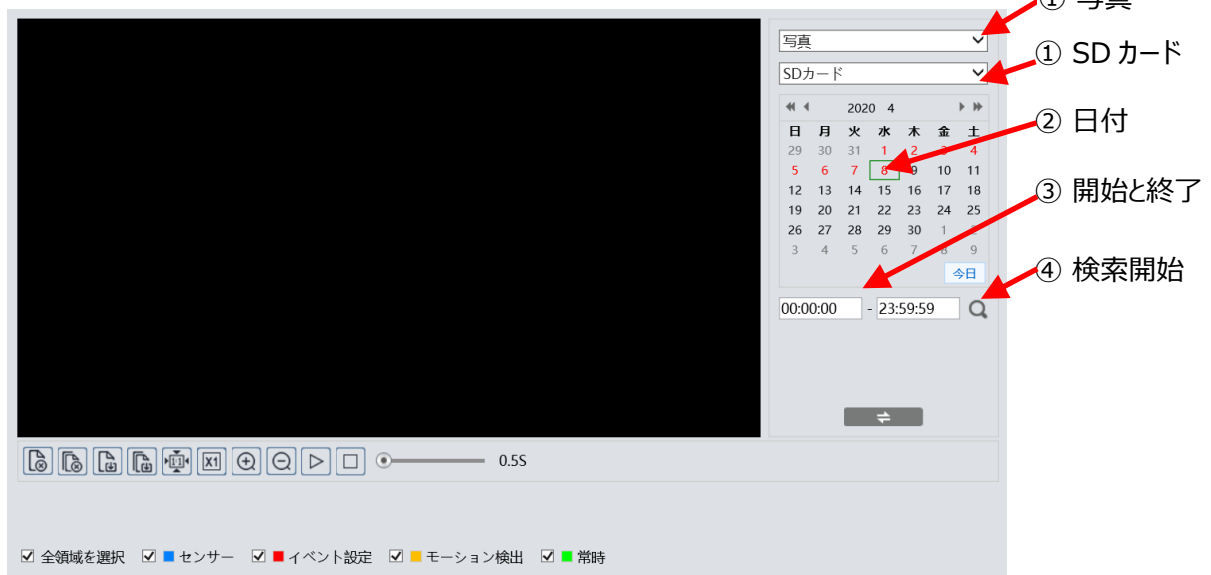
検索後に表示する画像
ファイルリスト

画像検索画面のアイコンを説明します。



アイコン	説明	アイコン	説明
	現在の画像を閉じる		すべての画像を閉じる
	現在の画像を保存		すべての画像を保存
	画面サイズに画像を調節する		実際の画像サイズ
	ズームイン/ズームアウト		スライドショー再生/一時停止
	スライドショー停止		スライドショーの再生速度

6.2.2 SD カード画像（静止画）

SD カードに保存されている画像（静止画）は、ここで見るすることができます。



検索方法

- ① 右上のドロップダウンメニューから、“写真”-“SD カード”を選択します。
- ② 検索したい日を設定します。
※画像データがある日はカレンダーの数字が赤色になっています。
- ③ 開始時間と終了時間を選択します。
- ④  をクリックして、画像ファイルを検索します。
- ⑤ 検索後に表示する画像ファイルリスト内をダブルクリックして、保存された画像を表示します。
- ⑥  をクリックすると、検索前と検索後の画面を移動できます。

ダブルクリックで画像を表示



	時間	タイプ
1	17:25:59	■
2	17:25:54	■
3	17:25:49	■
4	17:25:44	■
5	17:25:38	■
6	17:25:33	■
7	17:25:28	■
8	17:25:23	■
9	17:25:18	■
10	17:25:13	■

1 / 190

検索後に表示する画像
ファイルリスト



7. 製品仕様

製品名	HIC-SP200X25		HIC-SP200TX32	
形状	スピードドーム		スピードドーム	
カメラ部				
撮像素子	1/2.8"2MP CMOS SENSOR (SONY STARVIS)			
最低被写体照度	Color : 0.005Lux@F1.65 B/W : 0.001Lux@F1.65 AGC ON / IR ON 時 : 0Lux			
赤外線 LED	実装、照射距離 = 150m			
レンズ	4.8～120mm 光学 25 倍オートフォーカスレンズ (画角水平 57.6～2.5°)		4.5～144mm 光学 32 倍オートフォーカスレンズ (画角水平 60～2.3°)	
パン・チルト角度	パン=360°エンドレス チルト=-5～90°		パン=360°エンドレス チルト=-3～93°	
パン速度	0.1°～80°/秒 (プリセット時=80°/秒)		0.5°～80°/秒 (プリセット時=150°/秒)	
PTZ 機能	プリセット(最大 360 ヶ所) / クルーズ / クルーズグループ / トレース / タスク / ホームポジション (※注 1)			
露出調整	自動 / マニュアル (シャッター・ゲイン・絞り)			
DAY&NIGHT	自動 / 昼間 / 夜 / スケジュール			
シャッター速度	自動 / マニュアル (1/1～1/100,000)			
ホワイトバランス	自動 / 屋内 / 屋外 / マニュアル			
DNR (ノイズ除去)	OFF / ON (LEVEL 0～255)			
WDR 機能	120dB、自動 / マニュアル (LEVEL0～255)			
逆光補正(BLC)	OFF / BLC (エリア : 自動 / 上 / 下 / 左 / 右 / 中央) / HLC			
画像鮮明化	自動 / マニュアル (LEVEL0～10)			
その他の機能	方位表示、光学ズームポジション表示、OSD (タイトル表示 / 時刻表示)、画像反転 (左右 / 上下)、SD カード録画、スマート IR			
スマート機能				
基本	モーション検知、妨害検知 異常検出 (ネットワーク接続、IP 競合、SD カードフル、SD カードエラー)			
顔検出	最大 15 人/秒、顔比較機能対応 (顔 DB 登録対応)			

スマート検出		ライン越え、エリア侵入、エリア退出、ターゲットカウント、エリア内活動					
スマートトラッキング		手動トラッキング、自動トラッキング					
アラーム関係		SD カード録画、SD カード静止画保存、アラーム接点出力、FTP アップロード、E メール通知、ローカル録画、ローカル静止画保存					
DORI (※注 2)		TELE (120mm)	D : 検出	O : 観察	TELE (144mm)	D : 検出	O : 観察
		画素数	25pix/m	63pix/m	画素数	25pix/m	63pix/m
		距離	1600m	635m	距離	1950m	775m
		TELE (120mm)	R : 認識	I : 識別	TELE (144mm)	R : 認識	I : 識別
		画素数	125pix/m	250pix/m	画素数	125pix/m	250pix/m
		距離	320m	160m	距離	390m	195m
ネットワーク部							
画像圧縮方式		H.265 / H.264 / MJPEG					
音声圧縮		—			G711A/μ		
画像サイズ	第 1 ストリム	1920×1080 / 1280×720					
	第 2 ストリム	1280×720 / 704×480 / 352×240					
	第 3 ストリム	704×480 / 480×240 / 352×240					
フレームレート		1～30fps					
ビットレート		CBR/VBR（最大ビットレート設定：128kbps～4Mbps）					
プロトコル		UDP, IPv4, IPv6, DHCP, NTP, RTSP, RTP, RTCP, RTMP, ICMP, IGMP, FTP, PPPoE, DDNS, SNMP, 802.1X, UPnP, HTTP, HTTPS, QoS					
インタフェース規格		ONVIF（PROFILE S）					
同時アクセス数		6					
その他機能		オンラインユーザ表示、IP アドレスフィルタ、MAC アドレスフィルタ、パスワード保護、不正ログインロック、Edge/Chrome/FireFox 接続（※注 3）、CMS/VMS 接続、モバイルアプリ接続					
外部インタフェース							
SD カードスロット		Micro SD / SDHC / SDXC（最大 256GB サポート）					
イーサネット		RJ-45（10/100BASE-T）					
アラーム IN/OUT		—			入力：1 系統 / 出力：1 系統 ※無電圧接点制御 接点容量：AC125V 1 A 以下 DC24V 1 A 以下		

音声	—	入力：1 系統（LINE） 出力：1 系統
電源入力コネクタ	DC+12V	DC+24V または AC24V
一般		
電源	DC12V（±10%）、 PoE+（802.3 at. Class 3） AC アダプタ（DC12V 出力）付属	DC24V（±10%）、AC24V、 PoE+（802.3 at. Class 3） AC アダプタ（DC24V 出力）付属
消費電力（最大）	22W（DC12V/1.83A）	30W（DC24V/1.25A）
動作温度	-30℃～+55℃	-30℃～+65℃
動作湿度	0～90%RH（結露なきこと）	
寸法	(Φ)173 x (H)228mm	(Φ)208 x (H)294mm
防塵・防水構造	IP66	
耐衝撃構造	未対応	
重量	2.1kg	3.8kg
製品保証期間	1 年間	

※注 1：クルーズ、トレースで常時運用される場合は、定期的なメンテナンスが必要です。

※注 2：撮像素子の仕様と EN62676-4:2015 で示された基準に基づいて算出された値です。

※注 3：Edge/Chrome/FireFox 接続では、SD カード録画のダウンロードはできません。

8. 困ったときには

本製品の使用中に何らかのトラブルが発生したときの対処方法について説明いたします。

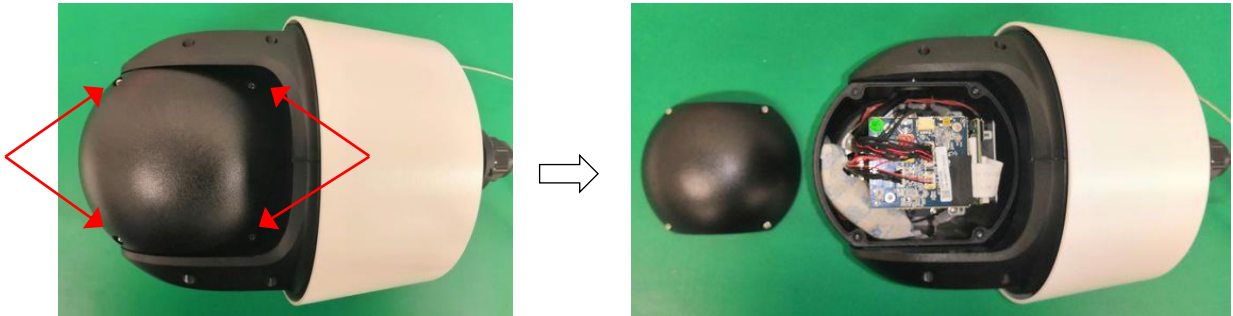
パスワードを忘れたときの対処方法

- デバイスを出荷時のデフォルト設定にリセットします。

※ デフォルト IP : 192.168.226.201 / ユーザー名 : admin / パスワード : 123456

カメラのリセットボタンを押して工場出荷状態に戻す方法（HIC-SP200X25 の場合）

- ① +2 番のドライバで黒いカバーを外す。ネジは 4 か所あります。



- ② リセットスイッチを 10 秒以上長押しする。



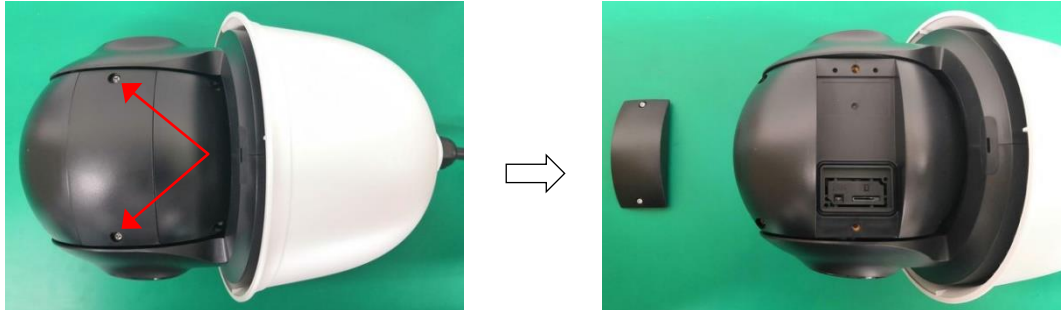
10 秒以上長押しする。
※強く押しすぎないように注意



- ③ カメラが再起動して初期値に戻ります。※再起動するとき回転動作を始めるので注意が必要です。
- ④ 黒いカバーを元通りに取付けます。

カメラのリセットボタンを押して工場出荷状態に戻す方法（HIC-SP200TX32 の場合）

- ① +2 番のドライバで黒いカバーを外す。ネジは 2 か所あります。



- ② リセットスイッチを 10 秒以上長押しする。



10 秒以上長押しする。
※強く押しすぎないように注意

- ③ カメラが再起動して初期値に戻ります。※再起動するとき回転動作を始めるので注意が必要です。
- ④ 黒いカバーを元通りに取付けます。

本機から YouTube Live 配信設定手順

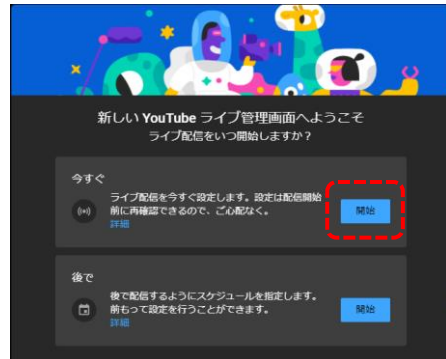
- (1) YouTube を開いて Google アカウントでログインします。



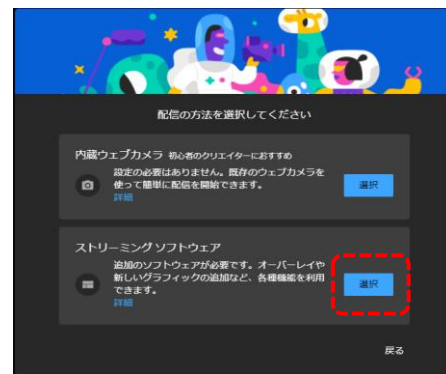
- (2) をクリックして、「ライブ配信を開始」をクリックします。 ※チャンネルの確認をまだ行っていない場合は、画面の指示に沿ってチャンネルの確認を完了させます。ライブ配信が最初に有効になるまで、最大 24 時間かかることがあります。



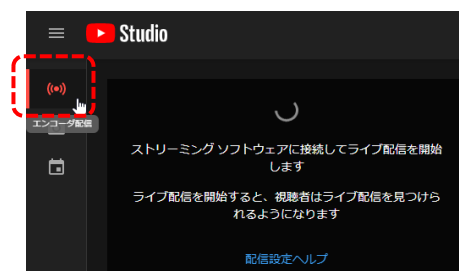
- (3) 「新しい YouTube ライブ管理画面へようこそ」が表示されたら、今すぐ「開始」をクリックします。



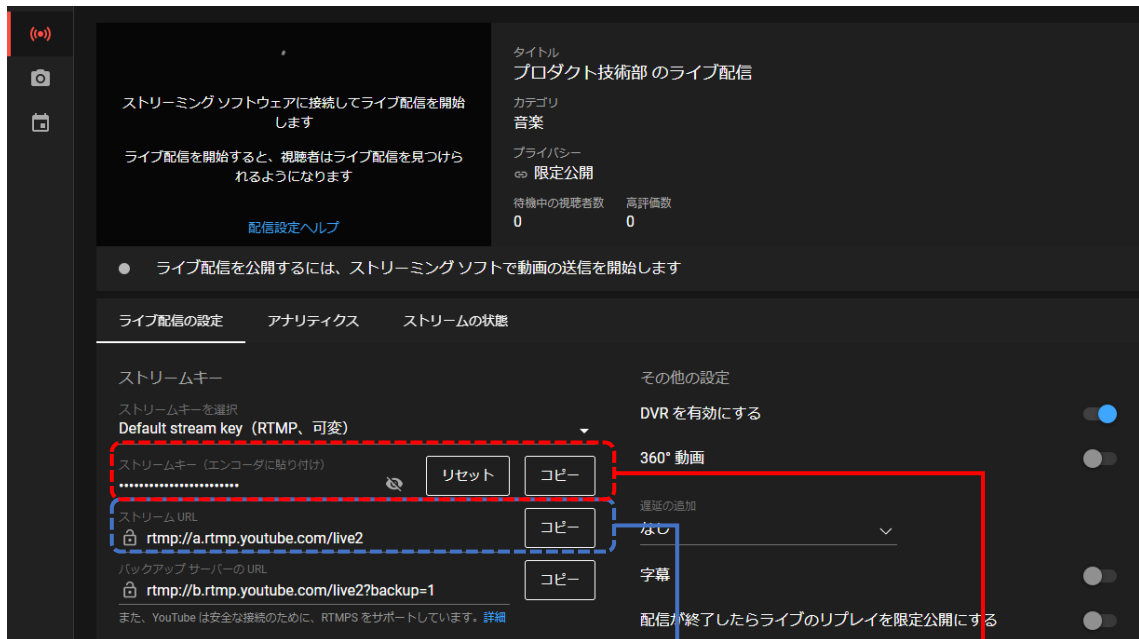
- (4) 「配信方法を選択してください」が表示されたら、「ストリーミングソフトウェア」を選択します。



- (5) YouTube Studio の画面が開くので、エンコード配信ボタンをクリックします。



(6) エンコーダ配信の画面にて、ストリーム URL とストリームキーをコピーします。



rtmp://a.rtmp.youtube.com/live2/**abcd-efgh-ijkl-mnop-qrst**
後ほど使用しますので、ストリーム URL とストリームキーは/で区切って、
メモ帳などに記録しておいてください。

(7) カメラに YouTube 配信に使用するストリームを設定します。

ストリーム設定は「4.2.2_映像/音声」で設定します。通信回線の速度に応じて、最適な設定を行います。ビデオ圧縮は必ず、「**H.264**」を設定する必要があります。

設定ホーム ▶ 画像設定 ▶ 映像/音声									
映像 音声									
Index	ストリーム名	解像度	フレームレート	ビットレート	ビットレート	ビデオ品質	Iフレーム間隔	ビデオ圧縮	プロファイル
1	第1ストリーム	1920x1080	30	CBR	3072	中	120	H264	High Profile
2	第2ストリーム	704x480	30	CBR	768	中	120	H264	High Profile
3	第3ストリーム	352x240	30	CBR	512	中	120	H264	High Profile

- (8) カメラのネットワーク設定 (RTMP) に YouTube Studio でメモしたストリーム URL/ストリームキーを設定します。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート サーバー ONVIF DDNS SNMP 802.1X RTSP **RTMP** UPnP Email FTP HTTP POST HTTPS QoS

☒ 有効 (H264のみをサポート)

ストリーム形式 ☒ 第1ストリーム ☐ 第2ストリーム ☐ 第3ストリーム

タイムアウト後に再接続する 30 秒

サーバアドレス example: rtmp://127.0.0.1:1935/live/liv

接続状態 接続されていません 更新 保存

rtmp://a.rtmp.youtube.com/live2/**abcd-efgh-ijkl-mnop-qrst**
 Youtube Studio でメモしたストリーム URL/ストリームキーを貼り付ける。

「接続完了」の表示になれば YouTube との接続は完了です。

- (9) カメラからの RTMP 接続が正常に行われている場合、ライブ配信が開始され、以下のような画面となります。ライブ配信を終了したい場合は、画面右上の“**ライブ配信を終了**” ボタンをクリックします。

編集ボタンをクリックすることで、動画のタイトル、概要欄の編集、また、公開範囲の設定等が行えます。

画像を右クリックすると
・動画の URL/・埋め込みコード
がコピーできます。

ボタンをクリックすると、動画リンクを取得出来ます。

設定を編集

詳細
カスタマイズ

タイトル (必須) ①
HICカメラのライブ配信

説明 ②
このライブ配信について視聴者に詳しく説明しましょう

公開設定
③ 限定公開

制限

キャンセル 保存

・限定公開 (リンクを知っている人だけが見れる)
・非公開
・公開 (誰でも見られる)
が選択出来ます。

ライブ配信の共有

HICカメラのライブ配信

リンクの共有

WhatsApp Facebook Twitter Email カカオス... Reddit

動画リンク
<https://youtu.be/MKh4bYBFCUw>

動画のリンクをコピー
閉じる

動画リンクをコピー

本体の電源が入らない

以下の点を確認してください。

- 電源コンセントには、電源が供給されているか。
- 電源には、適切な電圧が供給されているか。
- 正しいポートに、電圧が供給されているか。

RJ-45 ポートでリンクが確立しない

以下の点を確認してください。

- 接続先の機器の電源は入っているか。
- 各コネクタとケーブルが正しく接続されているか。

IE ブラウザ経由でデバイスを接続できない

以下の点を確認してください。

- ネットワークが正しく接続されていることを確認してください。
- IP が利用できない可能性(IP の競合など)があります。有効な IP にリセットしてください。
- Web ポート番号が改定されました。 管理者に連絡して、正しいポート番号を取得してください。

※ 上記の 3 つの理由以外の場合、IP-Tool でデフォルト設定に戻します。

デフォルト IP : 192.168.226.201 / サブネットマスク : 255.255.255.0

- Edge (IE モード) で接続できるか。

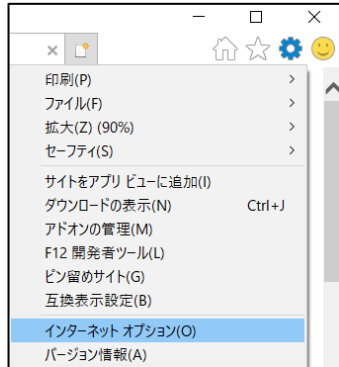
IP-Tool でデバイスを見つけれない

- コンピュータのウイルス対策ソフトウェアが原因である可能性があります。終了して、デバイスを再度検索してください。

IE が ActiveX コントロールをダウンロードできない

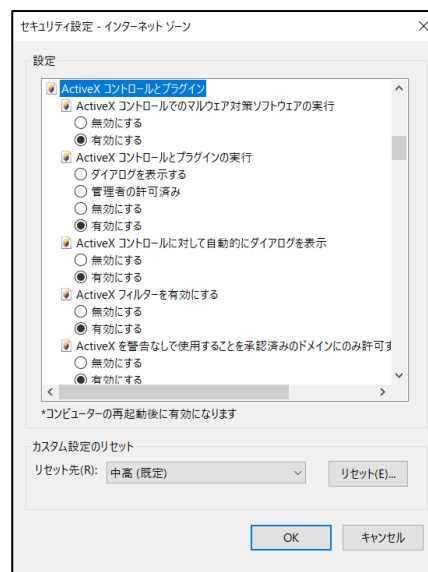
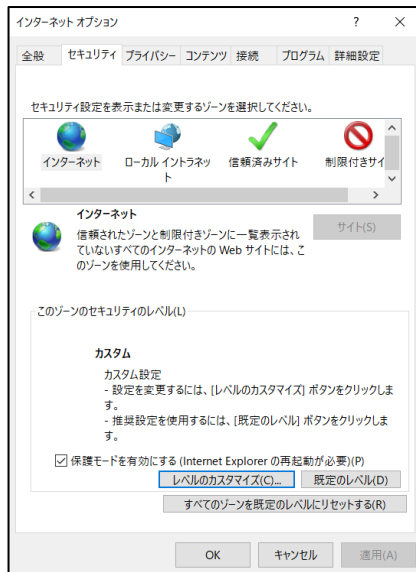
- IE ブラウザが ActiveX をブロックしている可能性があります。以下のように試してください。

- ① IE ブラウザを開きます。右上のツール  → インターネットオプションをクリックします。



- ② [セキュリティ]タブの[レベルのカスタマイズ]を選択します。(左図)

- ③ 「ActiveX コントロールとプラグイン」下の、すべてのサブオプションを有効にします。(右図)



- ④ OK をクリックして、設定を終了します。

- 他のプラグインまたは ActiveX がアンチウイルスブロックされています。アンインストールするか閉じてください。

9. 製品保証

- ◆ 故障かなと思われた場合には、弊社カスタマサポートまでご連絡ください。
 - 1) 修理を依頼される前に今一度、この取扱説明書をご確認ください。
 - 2) 本製品の保証期間内の自然故障につきましては無償修理させていただきます
 - 3) 故障の内容により、修理ではなく同等品との交換にさせて頂く事があります。
 - 4) 弊社への送料はお客様の負担とさせていただきますのでご了承ください。

初期不良保証期間：

ご購入日より **3ヶ月間**（弊社での状態確認作業後、交換機器発送による対応）

製品保証期間：

《本体》ご購入日より **1年間**（お預かりによる修理、または交換対応）

- ◆ 保証期間内であっても、以下の場合は有償修理とさせていただきます。
（修理できない場合もあります）
 - 1) 使用上の誤り、お客様による修理や改造による故障、損傷
 - 2) 自然災害、公害、異常電圧その他外部に起因する故障、損傷
 - 3) 本製品に水漏れ・結露などによる腐食が発見された場合
- ◆ 保証期間を過ぎますと有償修理となりますのでご注意ください。
- ◆ 一部の機器は、設定を本体内に記録する機能を有しております。これらの機器は修理時に設定を初期化しますので、お客様が行った設定内容は失われます。恐れ入りますが、修理をご依頼頂く前に、設定内容をお客様にてお控えください。
- ◆ 本製品に起因する損害や機会の損失については補償致しません。
- ◆ 修理期間中における代替品の貸し出しは、基本的に行っておりません。別途、有償サポート契約にて対応させて頂いております。有償サポートにつきましてはお買い上げの販売店にご相談ください。
- ◆ 本製品の保証は日本国内での使用においてのみ有効です。

製品に関するご質問・お問い合わせ先

ハイテクインター株式会社 カスタマサポート

受付時間： 平日（土日祝日、年末年始、当社休業日を除く） 9:00～17:00

TEL： 0570-060030

問合せフォーム：

https://hytec.co.jp/contact/technical_support_form.html

